

「昭島市地域福祉計画」策定に向けた
地域福祉に関する市民アンケート
報告書

平成30年3月

昭島市

目次

1. アンケート調査の概要.....	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の方法及び結果	1
3) 設問内容	2
2. 調査結果の概要	4
1) 回答者の属性	4
2) 地域での日常生活について	7
3) 地域活動や地域での問題・課題について	11
4) 福祉に関して自分やご近所の方が困ったときの対応について	20
5) 市の福祉に関する取組について	27
3. 単純集計表	29
4. 調査票	61

1. アンケート調査の概要

1) 調査目的

市内在住者の地域福祉に関連する意識等を把握し、「昭島市地域福祉計画」を策定するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

2) 調査方法及び結果

①調査対象者及び調査期間

対象人数	市内在住者 3,000 名
抽出方法	平成 29 年 9 月 27 日現在に住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の市民を対象に、無作為抽出を行った。但し、同時期に実施が予定されている市民意識調査の対象者は除外した。
調査期間	平成 29 年 9 月 28 日（木）～10 月 16 日（月）

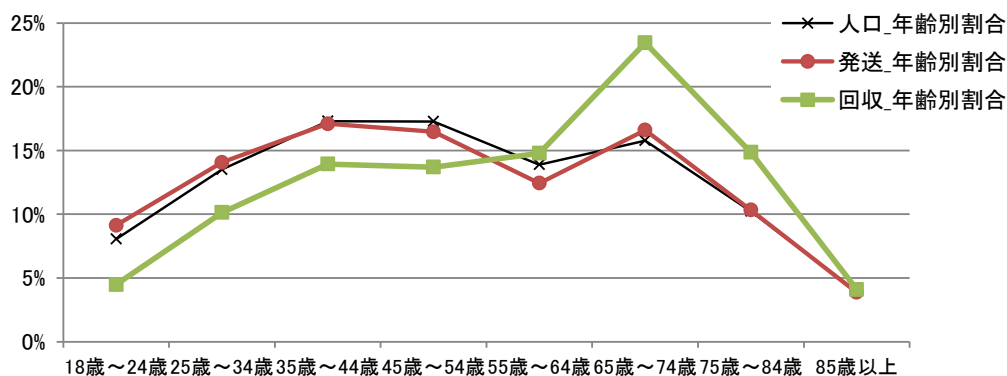
②配布・回収方法

郵送にて配布・回収を行なった。また、若年層の回収率を向上させるため、アンケート調査票に QR コードを印刷し、WEB（インターネット）による回答を併用した。

③回収率

	票数	%
配布数	3,000	—
回答数	1,292	43.1%
内：郵送	(1,217)	(94.2%)
内：web 回答	(75)	(5.8%)

■人口・発送・回収における年齢別割合



※年齢別回答率算出のための年齢別人口は平成 29 年9月1日現在の数値を使用した

3) 設問内容

設問は次のとおりとなっている。

問 1: あなたの性別について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 2: あなたの年齢について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 3: あなたの職業について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 4: あなたが同居する家族の構成について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 5: 昭島市での居住年数について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 6: 昭島市での今後の定住意向について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 7: 普段、買物や散歩、通勤通学を含め、外出はどの程度していますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 8: 外出先としてよく行く場所はどこですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 9: 市内を移動する時によく利用する交通手段はなんですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 10: あなたは、外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 11: 【問 10 で「2.外出を諦めたことがある」と回答の方】外出を諦めたのはどのような理由ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 13.1: ご近所づきあいで、次のような方はいますか。下記の A-D でそれぞれ当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。／A.親しく交流する人、B.世間話をするくらいの交流のある人、C.顔を合わせれば挨拶するくらいの人、D.交流は無いが顔を見れば近所に住んでいると分かる人
問 14.1: ご近所の方との今後のおつきあいについて、どのようにお考えですか。下記の A-D でそれぞれ当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。／A.親しく交流する人、B.世間話をするくらいの交流のある人、C.顔を合わせれば挨拶するくらいの人、D.交流は無いが顔を見れば近所に住んでいると分かる人
問 15: ご近所の方とのおつきあいは必要だと思いますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 16: 【問 15 で「1.必要だと思う」、「2.多少は必要だと思う」と回答の方】どのような時にご近所とのおつきあいが必要だと感じますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 17: あなたは地域で何らかの団体等に所属していますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 18: あなたの住んでいる地域では、現在どのような問題があると感じていますか。当てはまる選択肢 3 つ以内に○を付けてください。
問 19: 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 20: あなたは地域の人々がお互いの支え合いを進めるためには、何が必要だと思いますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

問 21: 現在、あなたやご家族は、福祉に関する困りごとに直面していますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 22: 【問 21 で「2. 直面している(困っている)」と回答の方】現在直面している福祉に関する困りごとの内容は何ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けて下さい。
問 23: あなたは、あなた自身や家族に福祉に関する困りごとが起きた場合、誰に相談しますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 24-A.1: 昭島市には、さまざまな分野の困りごとの相談窓口があることをご存知でしたか。「A. 認知度」について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 24-B.1: 【問 24-A.1 で「1. 知っている」と回答の方】昭島市には、さまざまな分野の困りごと相談窓口があることをご存知でしたか。「B. 利用の有無」について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 24-C.1: 【問 24-B.1 で「1. 利用した」と回答の方】昭島市には、さまざまな分野の困りごと相談窓口があることをご存知でしたか。「C. 利用時の満足度」について、当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 25: 福祉に関する相談をしようとするとき、困ったこと、困りそうなことは何ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 26: あなたは今までに、ご近所の方が困っている事に気づかれたことはありますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 27: 【問 26 で「1. ある」と回答の方】ご近所の方が困っていることをどのようにして知りましたか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 28: ご近所の方が困りごとを抱えていることがわかった場合、あなたはどうしますか。当てはまる選択肢 3 つ以内に○を付けてください。
問 29: ご近所の方からお手伝いをお願いされた場合、あなたが手伝えると思う範囲について当てはまるものは何ですか。当てはまる選択肢 3 つ以内に○を付けてください。
問 30: ご近所の方からお手伝いをお願いされた場合、あなたが手伝えると思う頻度について当てはまるものは何ですか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 31: あなたは、災害が発生した時に一人で避難できますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 32: 災害が発生した時に、ご近所にお住まいで地域の介助や手助け等の支援を必要とする方のためにあなたがしてあげられることはありますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 33: 災害時に支援を必要とする人への支援策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。
問 34: 地域福祉に関してご意見等がありましたら、下記にご記入ください。
問 35-A.1: 市が取り組んでいる下記の 1～14 の施策の「A. 認知度」について、それぞれ当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。
問 35-B.1: 市が取り組んでいる下記の 1～14 の施策の「B. 関心度」について、それぞれ当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。

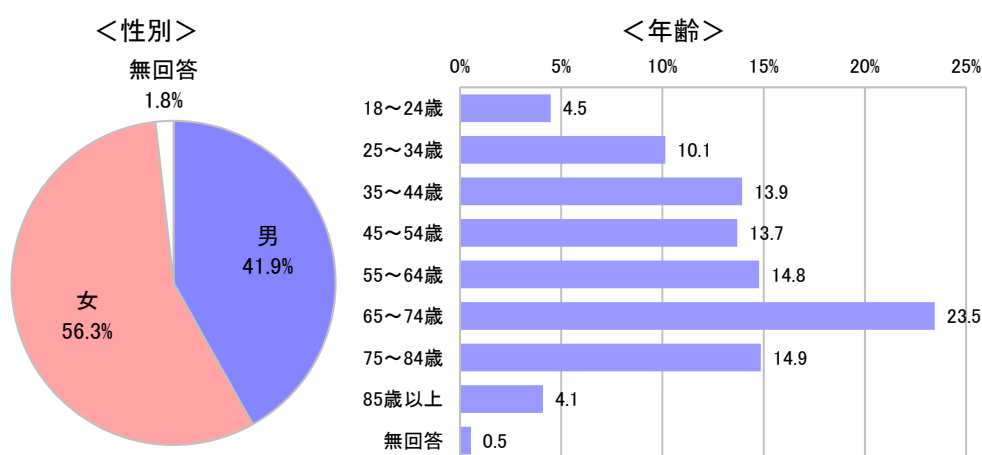
2. 調査結果の概要

1) 回答者の属性

①年齢・性別

回答者の年齢別の属性については、65～74歳が最も回答が多く、23.5%となっており、その他の年齢層は18～24歳、85歳以上を除き、概ね10～15%となっている。性別の属性については、男性4割、女性6割と、男性の回答率が女性より低い。

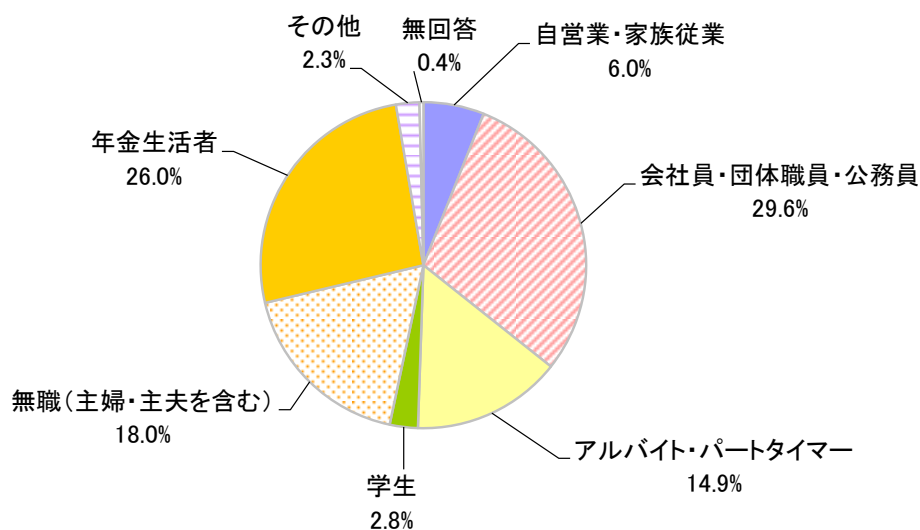
■問1・2 回答者の年齢・性別【単一回答】(n=1,292)



②職業

自営業・会社員・アルバイトなどの稼働層と、学生や年金生活者等の無職の層がそれぞれ概ね半数となった。

■問3 回答者の職業【単一回答】(n=1,292)

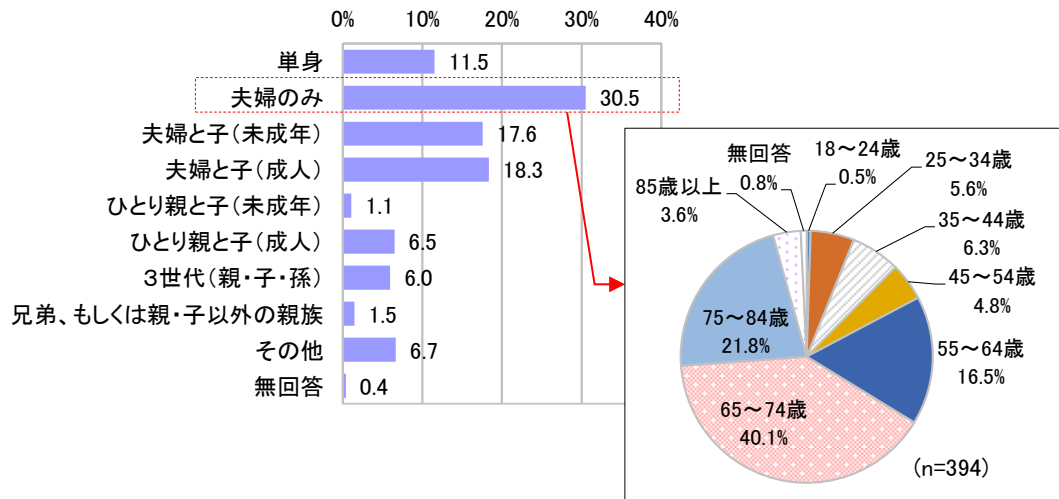


③家族構成

夫婦のみ世帯が30.5%で最も多く、ついで夫婦と子（成人）世帯18.3%、夫婦と子（未成年）17.6%の順となっている。

夫婦のみ世帯の年齢層を見ると65～74歳が40.1%で最も多く、ついで75～84歳21.8%となっており、夫婦のみ世帯の6割が高齢者世帯の回答となっている。

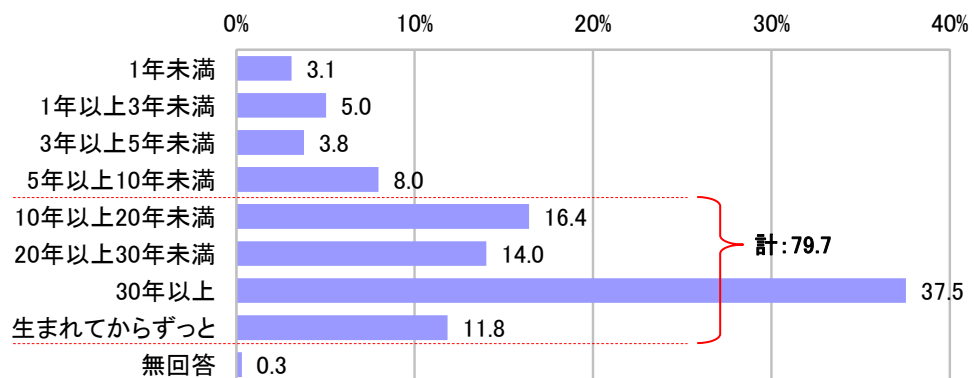
■問4 回答者の家族構成(単一回答) (n=1,292)



④居住年数

30年以上が37.5%で最も多く、ついで10年以上20年未満16.4%、20年以上30年未満が14.0%で、居住年数10年以上が8割となっている。

■問5 定住年数・定住意向(単一回答) (n=1,292)



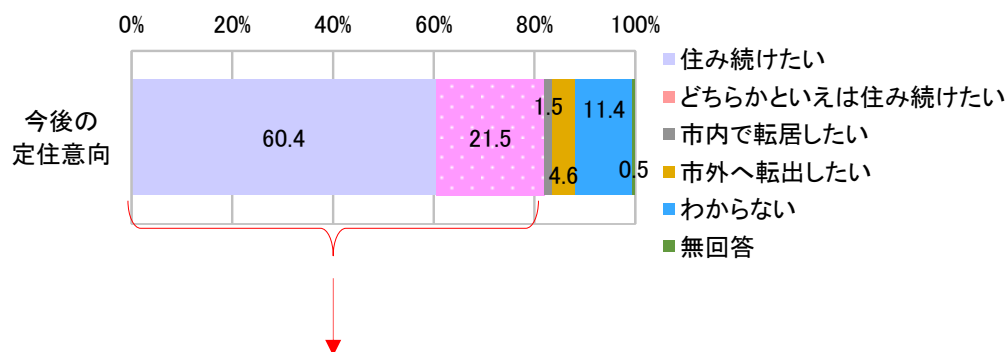
※端数処理の都合上、足し上げた数字と合計値が合わない場合がある

⑤今後の定住意向

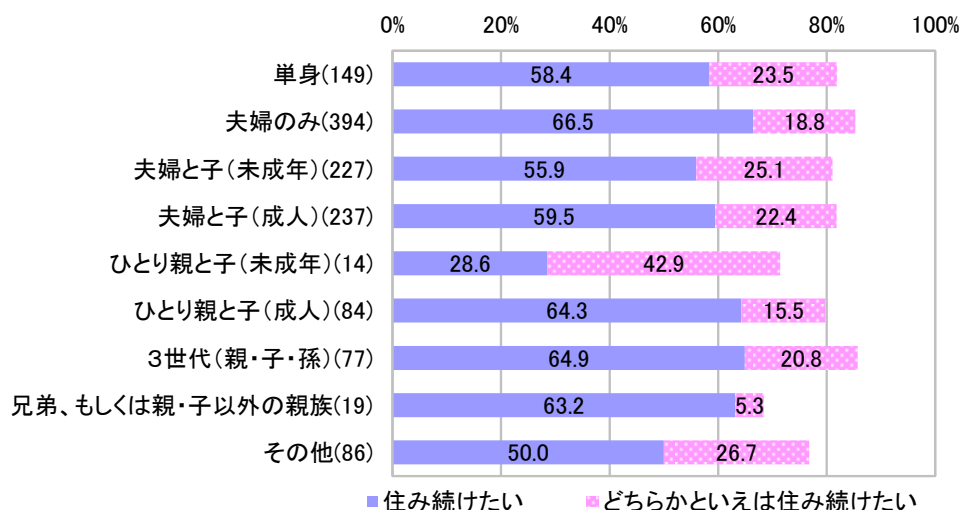
「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「市内で転居したい」の計が 83.4% となっており、市内での定住意向が高いことが伺える。

家族構成別に定住意向を見ると、ひとり親と子（未成年）世帯を除く全ての世帯の型で「住み続けたい」が 5 割を超えている。また、ひとり親と子（未成年）においても「どちらかといえば住み続けたい」が 42.9% となっている。

■問6 今後の定住意向(単一回答)(n=1,292)



＜家族構成別「住み続けたい」及び「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合＞



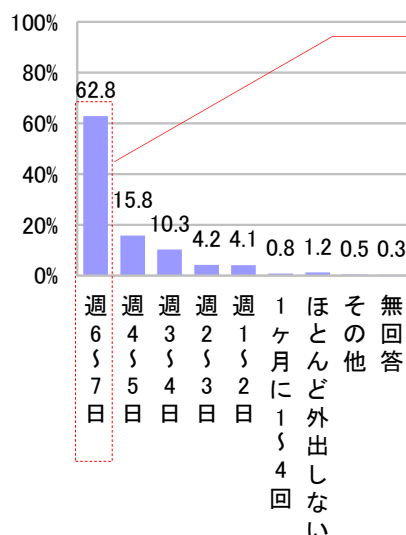
※各項目の () 内の数値は各グループ別の回答者数。以下同様

2) 地域での日常生活について

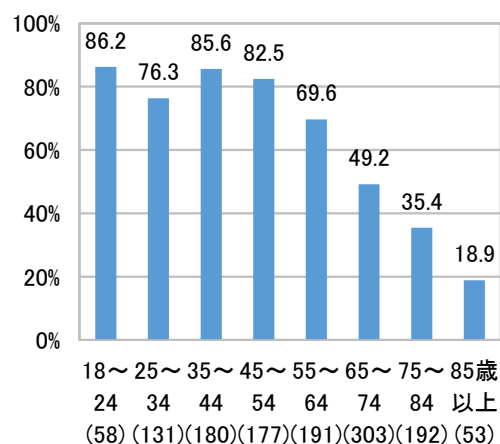
①外出頻度

「週6～7日」が最も多く62.8%、ついで「週4～5日」の15.8%となっている。年齢別に外出頻度を見ると、54歳までの年齢層の8割から9割が「週6～7日」と回答している。35歳以上は年齢が上がるごとに外出回数が減少している。

■問7 外出頻度【単一回答】(n=1,292)



＜年齢別の「週6～7日」と回答した割合＞

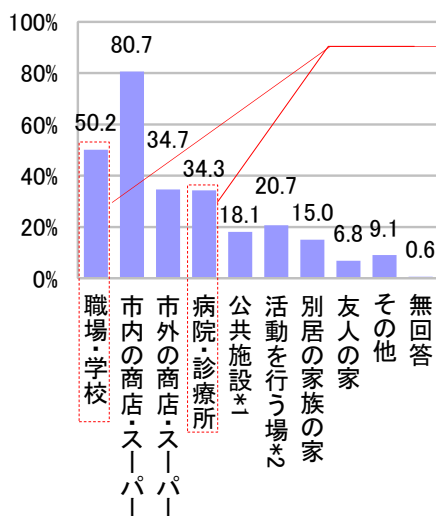


②外出先

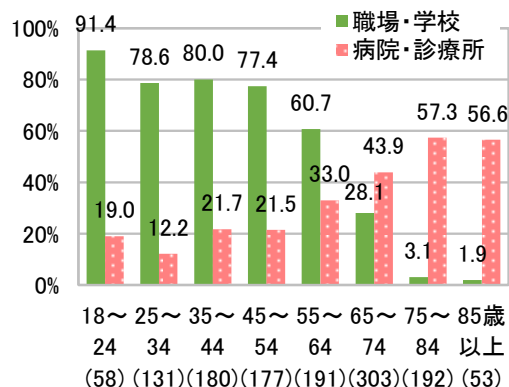
「市内の商店・スーパー」が最も多く80.7%、ついで「職場・学校」の50.2%となっている。

年齢別に外出先を見ると、64歳以下は「職場・学校」の割合が、65歳以上は「病院・診療所」の割合が高くなっている。

■問8 外出先【複数回答】(n=1,292)



＜年齢別の「職場・学校」及び「病院・診療所」と回答した割合＞



〔実際の選択肢内容〕

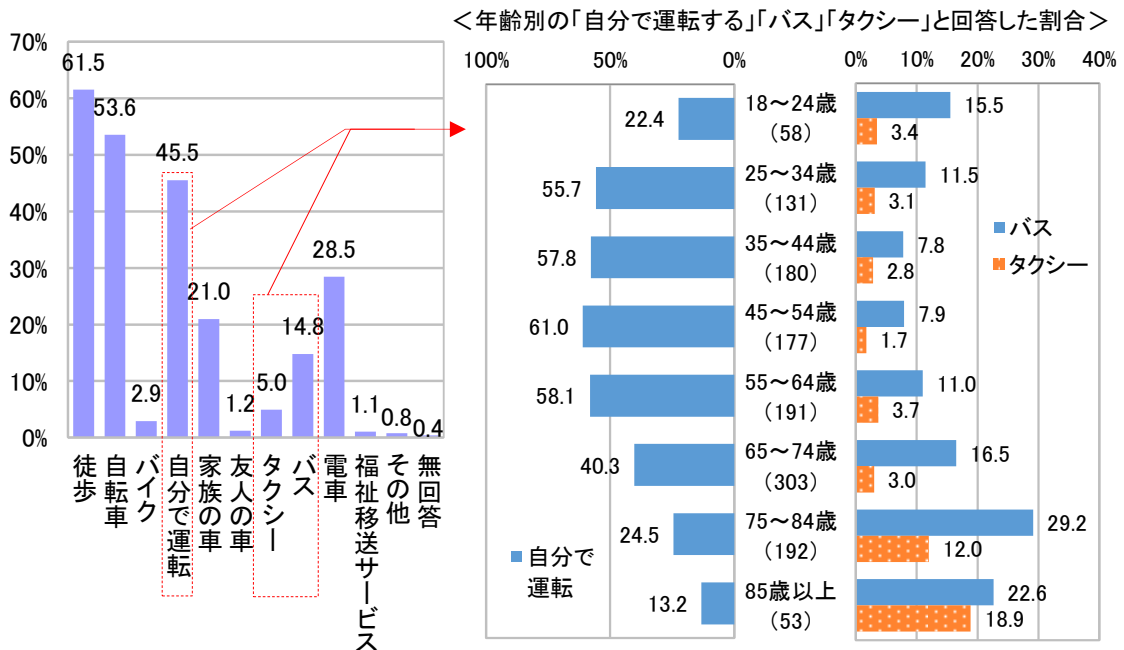
*1 「図書館やスポーツセンターなどの公共施設」 / *2 「公共施設以外で趣味等の活動を行う場」

③市内を移動する時の交通手段

「徒歩」が61.5%で最も多く、ついで「自転車」が53.6%、「自家用車（自分で運転する）」45.5%となっている。

年齢別に移動手段を見ると、「自家用車（自分で運転する）」は25～64歳の年齢層で5割を超えるが、65歳以上は年齢が高くなるにつれ割合が減少し、「バス」や「タクシー」、「自家用車（家族の車にのせてもらう）」の割合が高くなっている。「福祉移送サービス」は85歳以上のみ1割の人が選択する他は2%未満となっている。

■問9 市内を移動する時の交通手段【複数回答】(n=1,292)

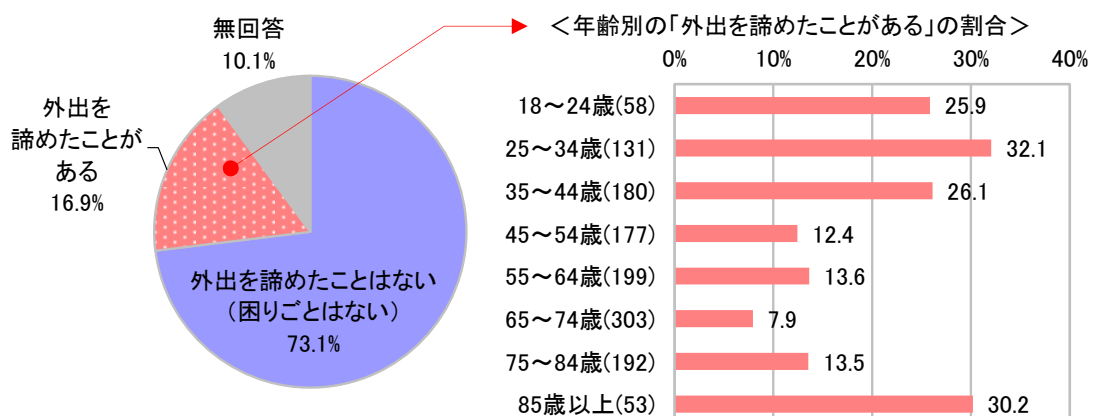


④外出を諦めた割合とその理由

外出をしたいと思っても困りごとがあるために諦めたことがある人は16.9%となっている。

年齢別に諦めたことがある人の割合を見ると、25～34歳の年齢層が32.1%で最も多く、ついで85歳以上の30.2%、35～44歳の26.1%となっている。

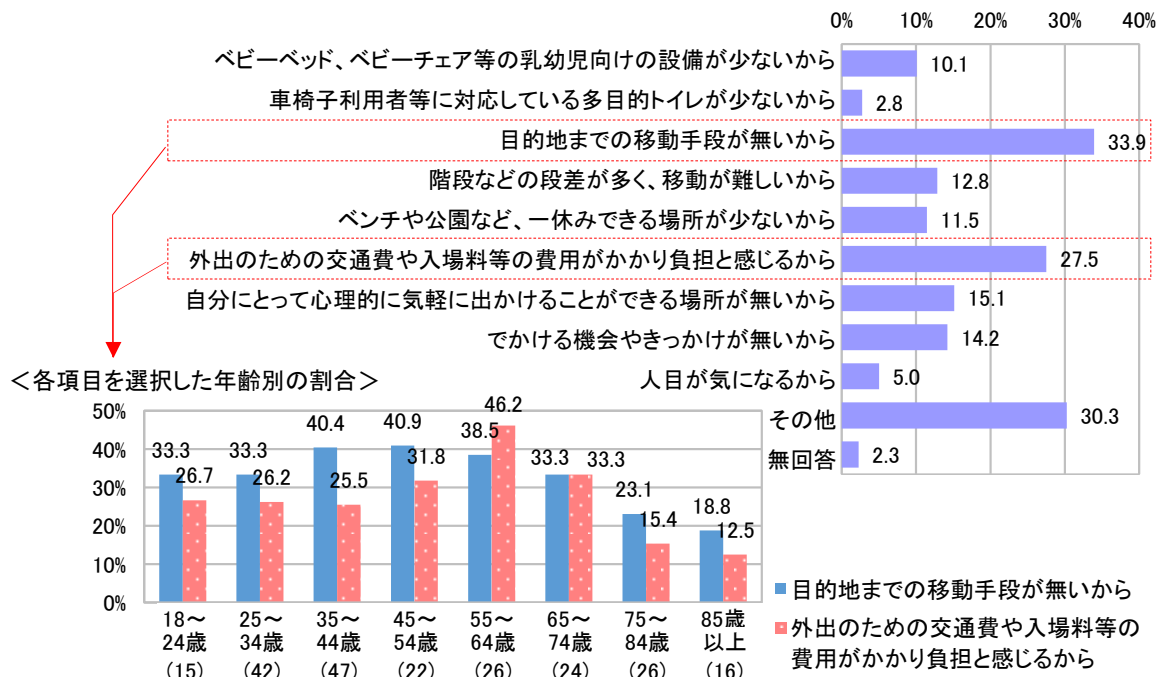
■問10 外出を諦めた経験【単一回答】(n=1,292)



外出を諦めた理由を見ると、「目的地までの移動手段が無いから」が 33.9%で最も多く、ついで「その他」30.3%、「外出のための交通費や入場料等の費用がかかり負担に感じるから」が 27.5%となっている。

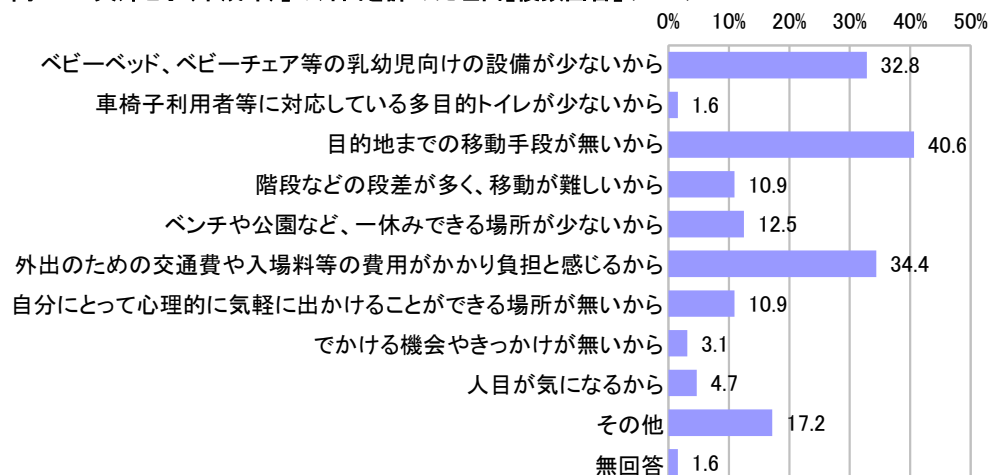
年齢別に見ると、「目的地までの移動手段が無いから」は 74 歳以下のすべての年齢層で 3～4 割となっており、75 歳以上は 2 割前後となっている。「外出のための交通費や入場料等の費用がかかり負担に感じるから」は、55～64 歳の年齢層の 5 割が選択しており、ついで 65～74 歳、45～54 歳の 3 割の順となっている。

■問 11 外出を諦めた理由【複数回答】(n=218)



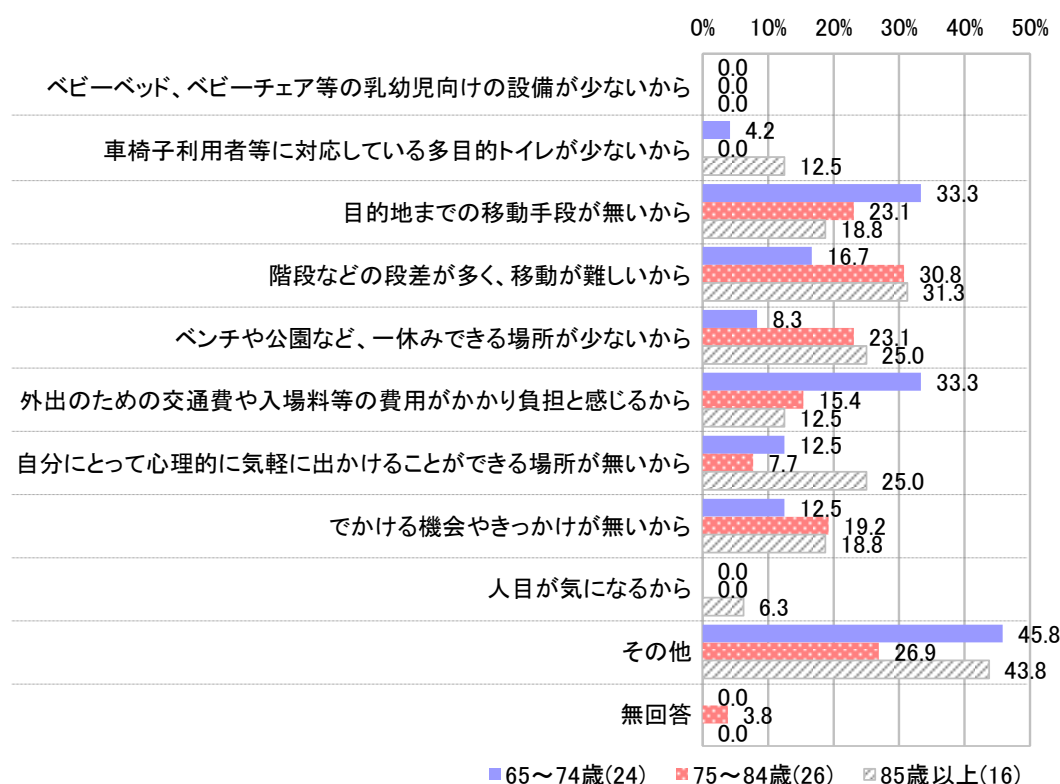
また、夫婦と子（未成年）世帯の外出を諦めた理由を見ると、「目的地までの移動手段が無いから（40.6%）」「外出のための交通費や入場料等の費用がかかり負担とを感じるから（34.4%）」の次に「ベビーベッド、ベビーチェア等の乳幼児向けの設備が少ないから（32.8%）」が理由として挙げられている。

■問 11 「夫婦と子（未成年）」の外出を諦めた理由【複数回答】(n=64)



高齢者（65歳以上）の外出を諦めた理由を見ると、75歳以上の年齢層で「階段などの段差が多く、移動が難しいから」「ベンチや公園など、一休みできる場所が少ないから」の割合が2～3割を占めるようになる。

■問 11 高齢者の外出を諦めた理由【複数回答】



「その他」を回答した人の理由として、家族の都合（子どもの世話や障害、介護等）、回答者の体調不良、天候が悪いときに外出ができないといった答えがあった。

⑤外出を諦めた具体的な場所

昭和記念公園や多摩動物公園、サマーランド等の公園・アミューズメント系施設、近所のスーパーやモリタウンや立川駅周辺の商業施設等といった具体的な施設の他に、家族での外食、友人等との交流の時間を過ごす場所（喫茶店、レストラン等）、家族旅行や温泉への宿泊といった遠出を諦めたという回答があった。

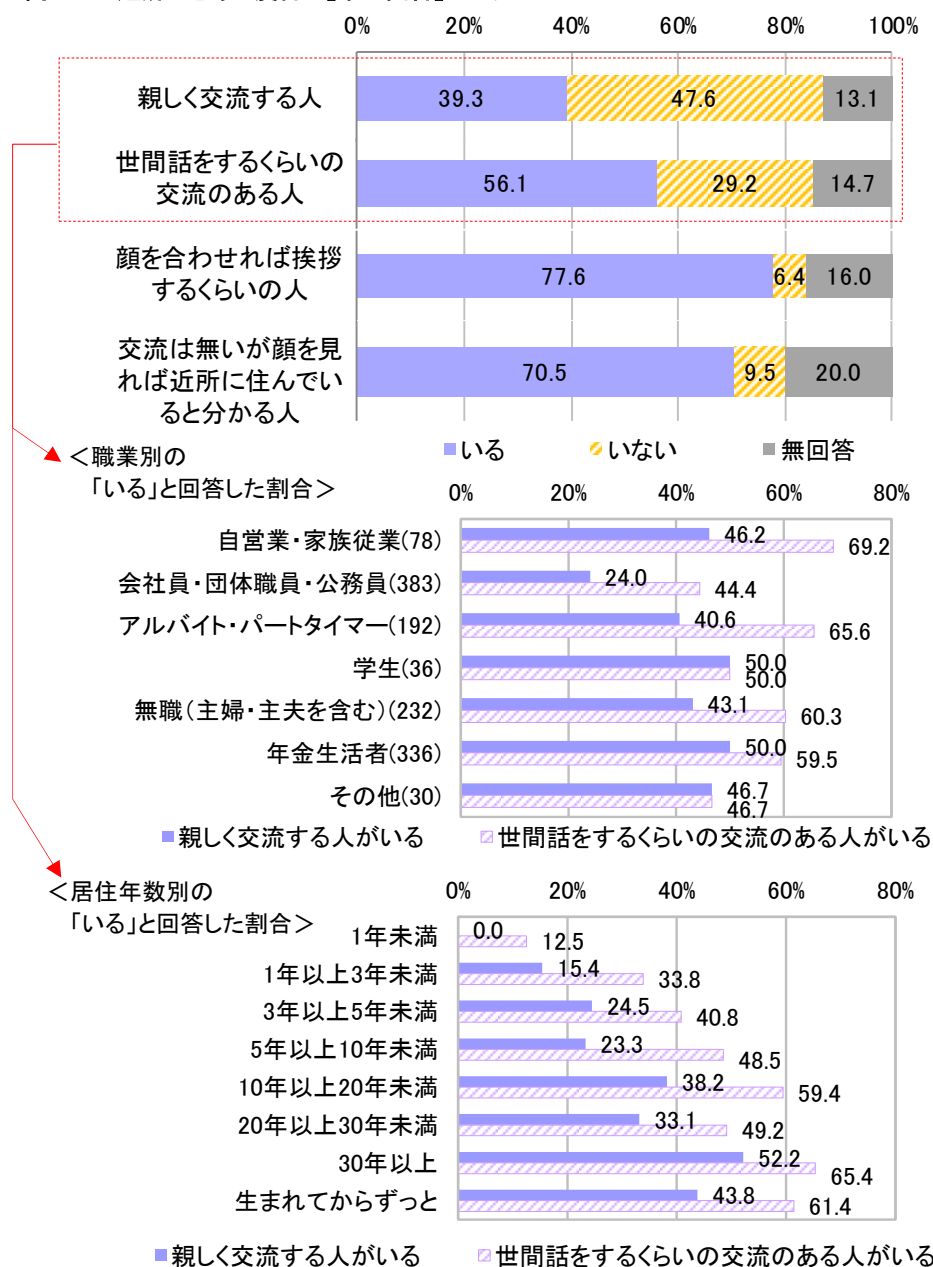
3) 地域活動や地域での問題・課題について

① ご近所づきあい※¹

ご近所との交流の度合いを見ると、親しく交流する人がいる割合は 39.3%、世間話をするくらいの交流のある人がいる割合は 56.1%、顔を合わせれば挨拶をするくらいの人がある割合は 77.6%、交流は無いが顔を見れば近所に住んでいることが分かる人が 70.5% となっている。

職業別に見ると、会社員・団体職員・公務員の「親しく交流する人がいる」「世間話をするくらいの交流のある人がいる」割合が他の職業と比較し低くなっている。また、居住年数が長くなるに従い「世間話をするくらいの交流のある人がいる」「親しく交流する人がいる」割合が高くなる傾向にある。

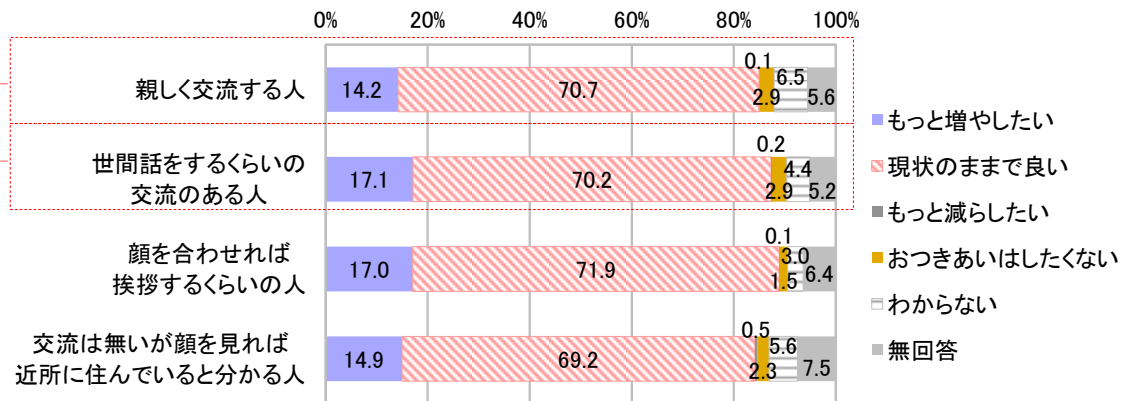
■問 13 ご近所づきあい度合い【単一回答】(n=1,292)



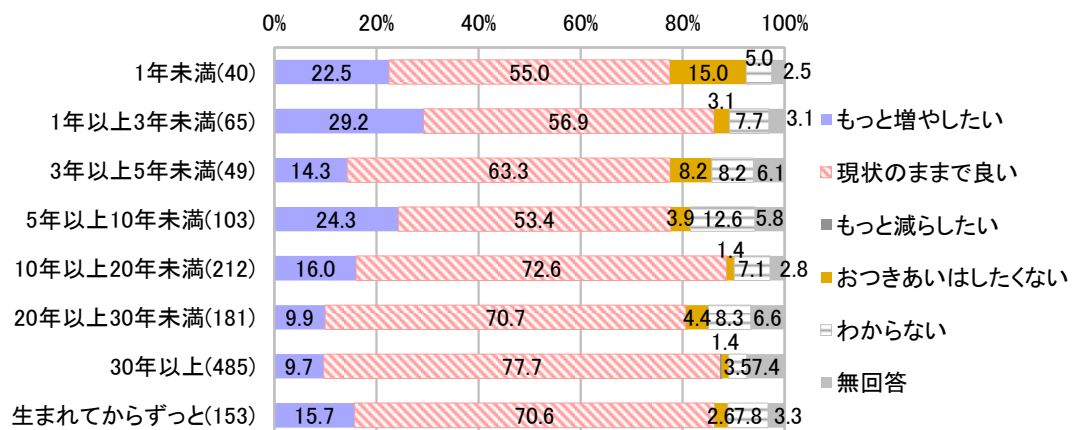
¹ 本報告書における「ご近所づきあい」の範囲は、おおよそ自治会・町内会程度の範囲を想定している。

交流の度合い別に今後のおつきあいを見ると、現状維持が多く7割となっているが、どの度合いにおいても2割弱の人はもっと増やしたいと回答している。居住年数が1年以上3年未満の層が「親しく交流する人」「世間話をするくらいの交流のある人」を増やしたいと回答した割合が高く、居住年数が高くなるにつれ現状維持の割合が増える傾向がある。

■問 14 ご近所の方との今後のおつきあいについて【単一回答】(n=1,292)

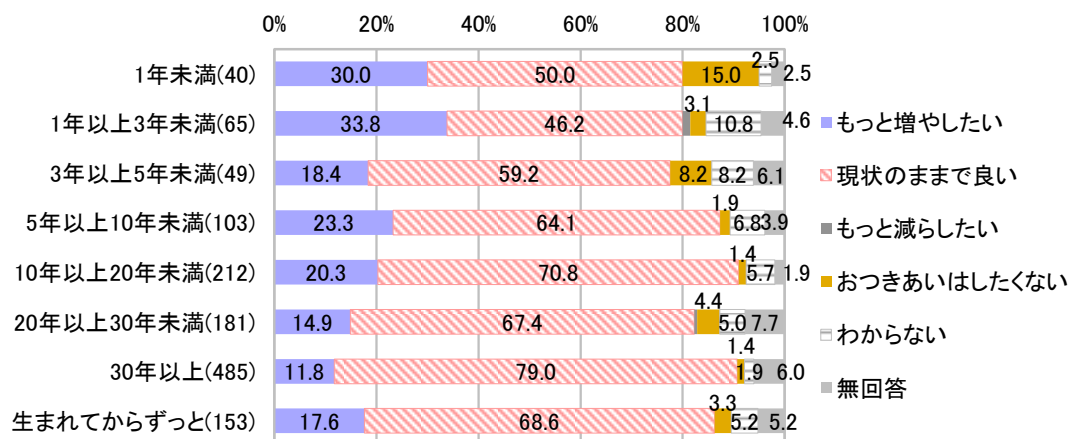


<居住年数別の「親しく交流する人」の今後のおつきあいについて>



※「もっと減らしたい」は30年以上が0.2%で、他はすべて0.0%

<居住年数別の「世間話をするくらいの交流のある人」の今後のおつきあいについて>

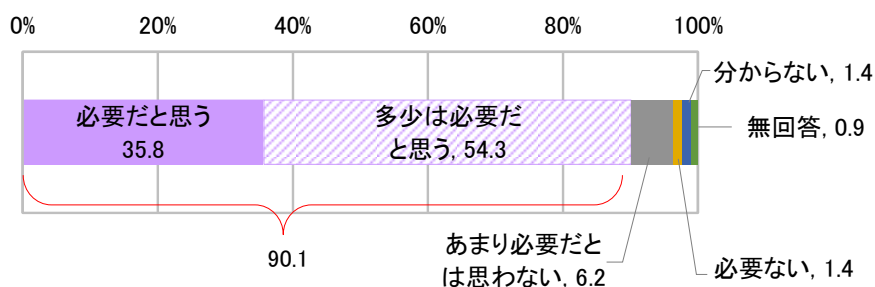


※「もっと減らしたい」は1年以上3年未満が1.5%、20年以上30年未満が0.6%で、他はすべて0.0%

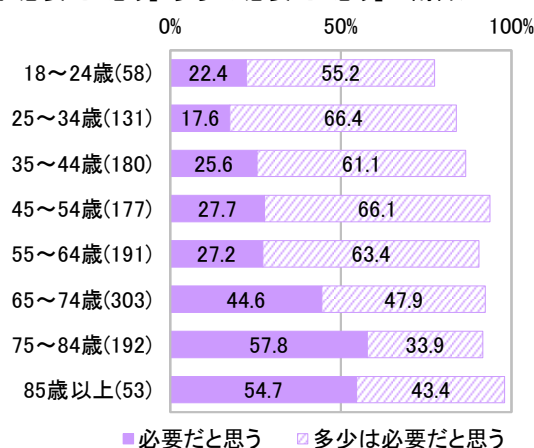
②ご近所づきあいの必要性

ご近所づきあいについては、「必要だと思う」「多少必要だと思う」の計で9割となっている。回答者の年齢、居住年数が上がるとともに「必要だと思う」の割合が高くなっている。職業別に見ると「会社員・団体職員・公務員」「学生」「アルバイト・パートタイマー」が「必要だと思う」割合が低く「多少必要だと思う」割合が高い。家族構成別にみると「ひとり親と子（未成年）」が同様に
ご近所づきあいの優先順位は若干低い。

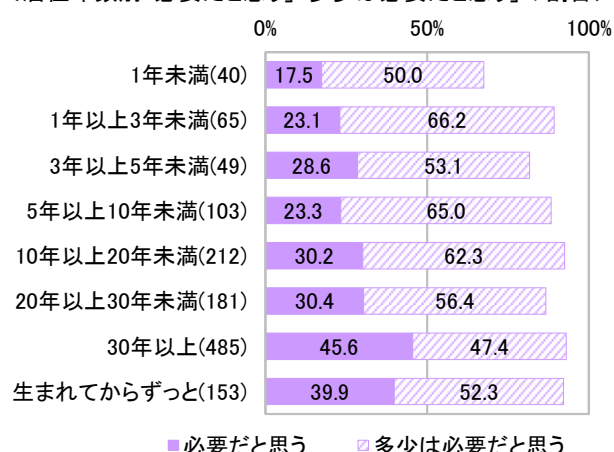
■問 15 ご近所づきあいの必要性【単一回答】(n=1,292)



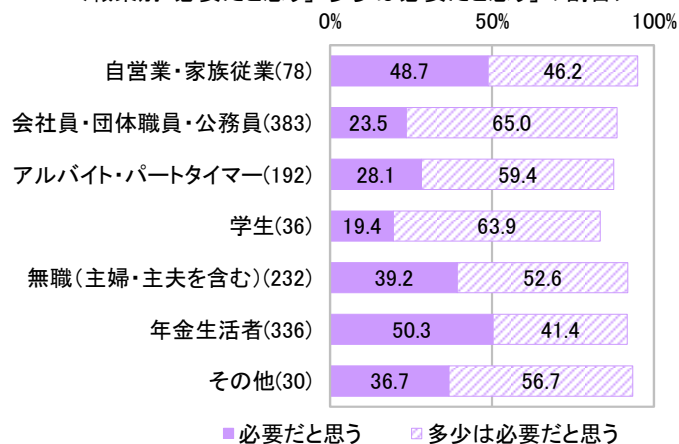
<年齢別「必要だと思う」「多少は必要だと思う」の割合>



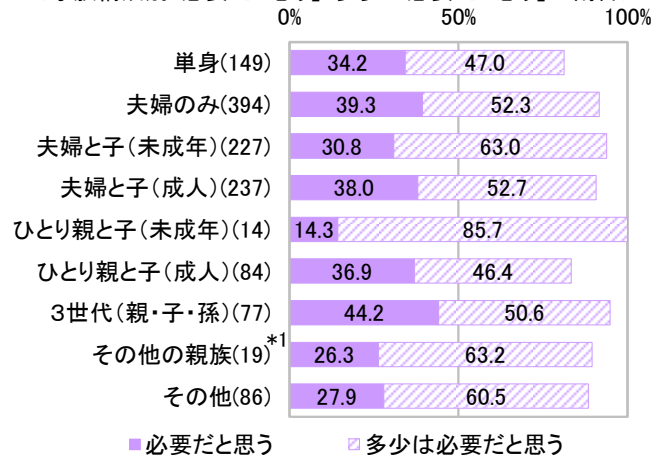
<居住年数別「必要だと思う」「多少は必要だと思う」の割合>



<職業別「必要だと思う」「多少は必要だと思う」の割合>



<家族構成別「必要だと思う」「多少は必要だと思う」の割合>



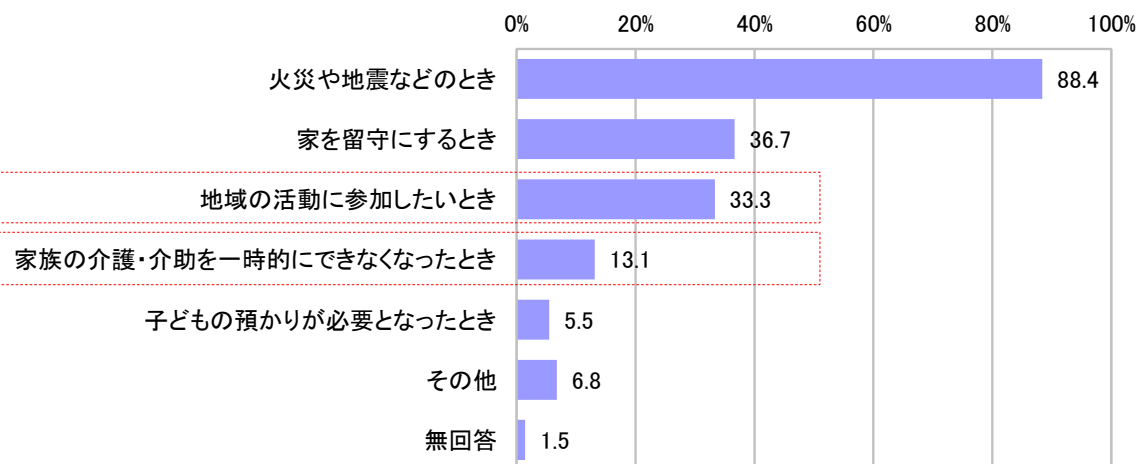
【実際の選択肢内容】 *1 「兄弟、もしくは親・子以外の親族」

ご近所づきあいが必要だと思う理由を見ると、火事や地震などのときが88.4%で最も多く、ついで家を留守にするとき36.7%、地域の活動に参加したいとき33.3%となっている。

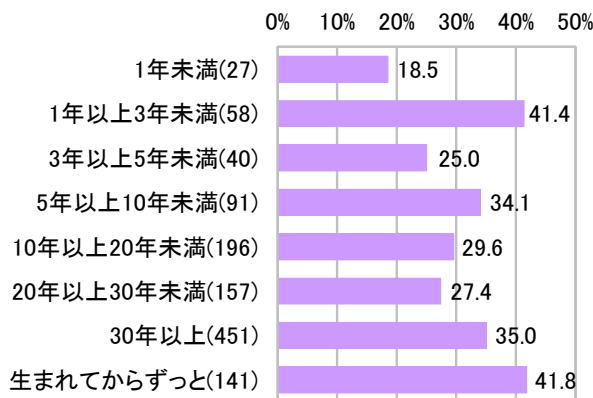
「地域の活動に参加したいとき」と回答した層は、居住年数が1年以上3年未満の4割、年齢別の65～74歳の4割が目立つ。

また、「子どもの預かりが必要となったとき」については、回答数は少ないものの年齢層別の25～34歳の14.5%、35～44歳の17.9%が選択している。また、家族類型別の夫婦と子（未成年）の19.2%が選択しており、一定のニーズがあると考えられる。

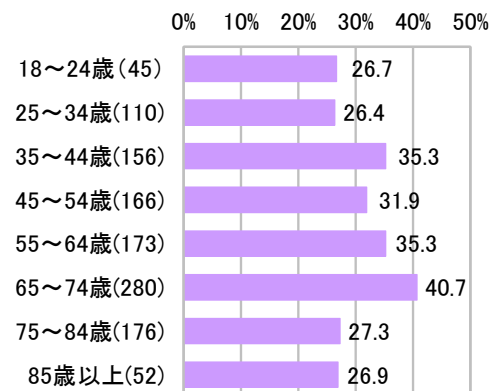
■問 16 ご近所づきあいが必要だと思う理由【複数回答】(n=1,164)



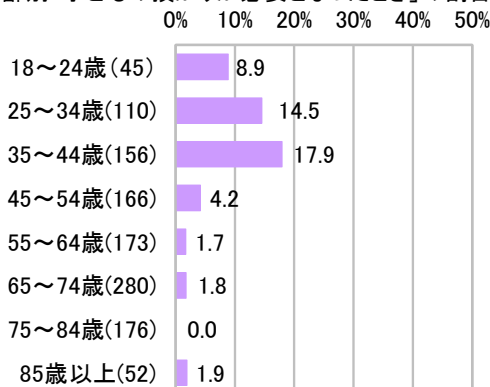
＜居住年数別「地域の活動に参加したいとき」の割合＞



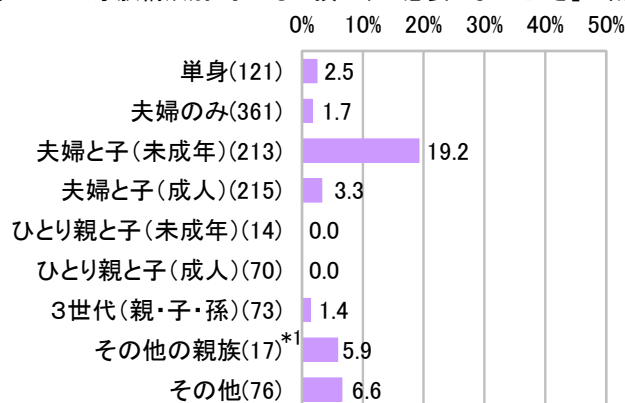
＜年齢別「地域の活動に参加したいとき」の割合＞



＜年齢別「子どもの預かりが必要となったとき」の割合＞



＜家族構成別「子どもの預かりが必要となったとき」の割合＞



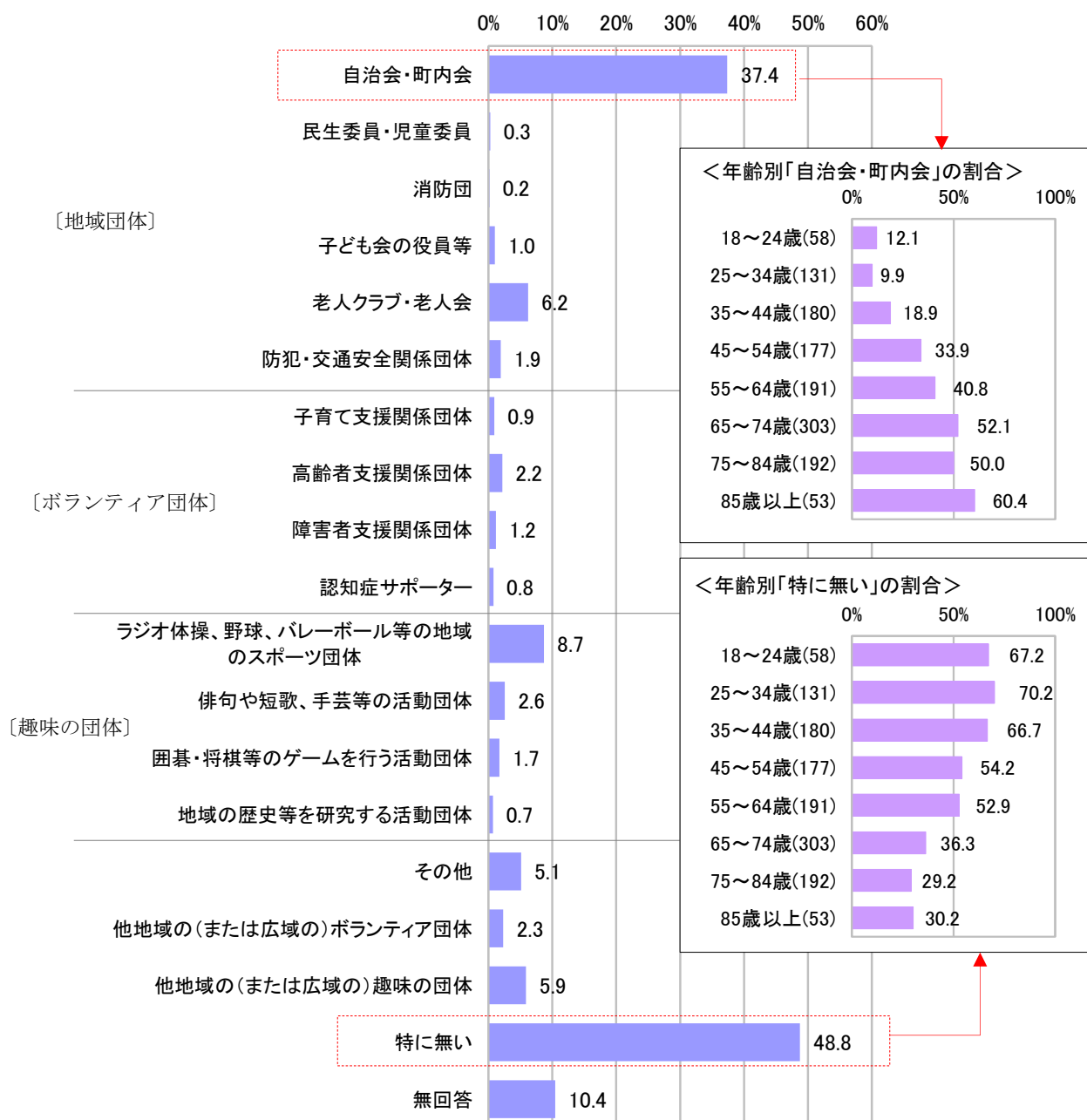
〔実際の選択肢内容〕 *1 「兄弟、もしくは親・子以外の親族」

③地域活動やボランティア活動への参加について

現在地域活動やボランティア活動をしていない層が 48.8%で最も多く、ついで自治会・町内会への参加が 37.4%となっている。自治会・町内会への参加割合は市で把握している自治会・町内会の加入世帯数の割合と概ね一致している。

「特に無い」と回答した層は、年齢層でみると 18～44 歳までの層でそれぞれ 7 割が選択している。「自治会・町内会」と回答した層は、年齢別で見ると年齢が上がるほど回答者の割合が増加している。

■問 17 所属している地域団体等【複数回答】(n=1,292)



④地域の問題について

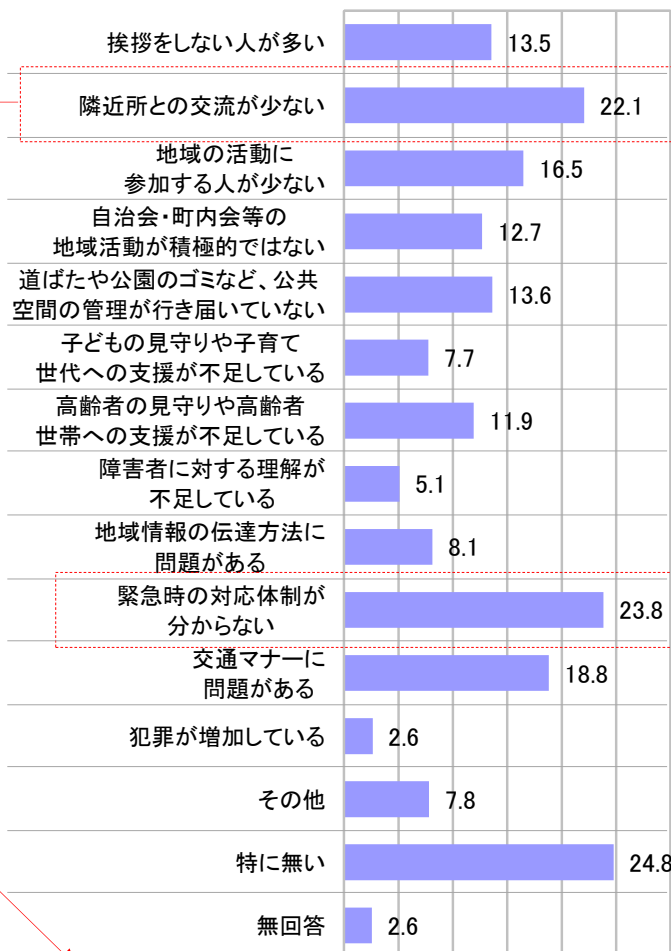
「特に無い」が24.8%で最も多く、ついで「緊急時の対応体制が分からない」23.8%、「隣近所との交流が少ない」22.1%となっている。

「緊急時の対応体制が分からない」と回答した層は、居住年数が1年未満である層、職業が学生である層、家族構成がひとり親と子（未成年）である層で比較的高くなっており、これらの層はご近所づきあいの必要性の「必要だと思う」の回答率が低い層と一致していることから、今後、ご近所づきあいの機会が減り、更なる孤立化を起こしやすい層であると考えられる。

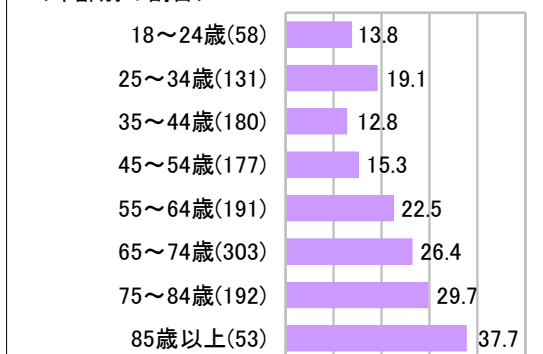
「隣近所との交流が少ない」と回答した層は、年齢が上がるとともに割合も高くなる傾向が見られる。

■問 18 地域の問題【複数回答】(n=1,292)

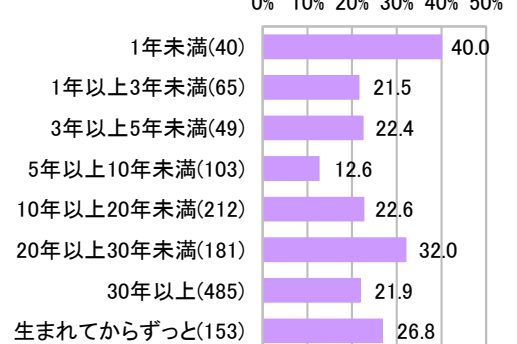
0% 5% 10% 15% 20% 25% 30%



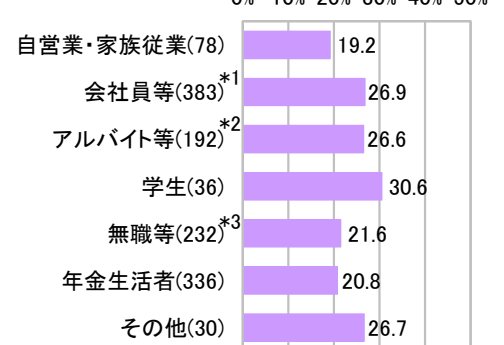
＜年齢別の割合＞ 0% 10% 20% 30% 40% 50%



＜居住年数別の割合＞ 0% 10% 20% 30% 40% 50%



＜職業別の割合＞ 0% 10% 20% 30% 40% 50%



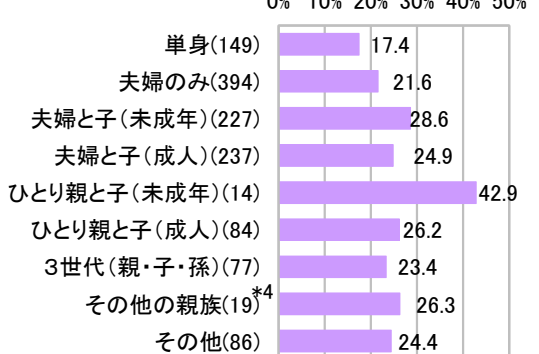
〔実際の選択肢内容〕

*1 会社員・団体職員・公務員

*2 アルバイト・パートタイマー

*3 無職(主婦・主夫を含む)

＜家族構成別の割合＞ 0% 10% 20% 30% 40% 50%



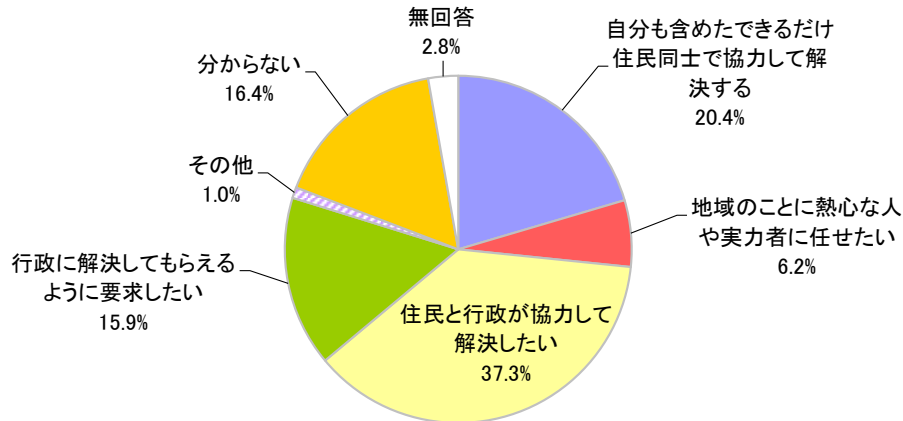
〔実際の選択肢内容〕

*4 兄弟、もしくは親・子以外の親族

⑤日常生活での問題の解決方法

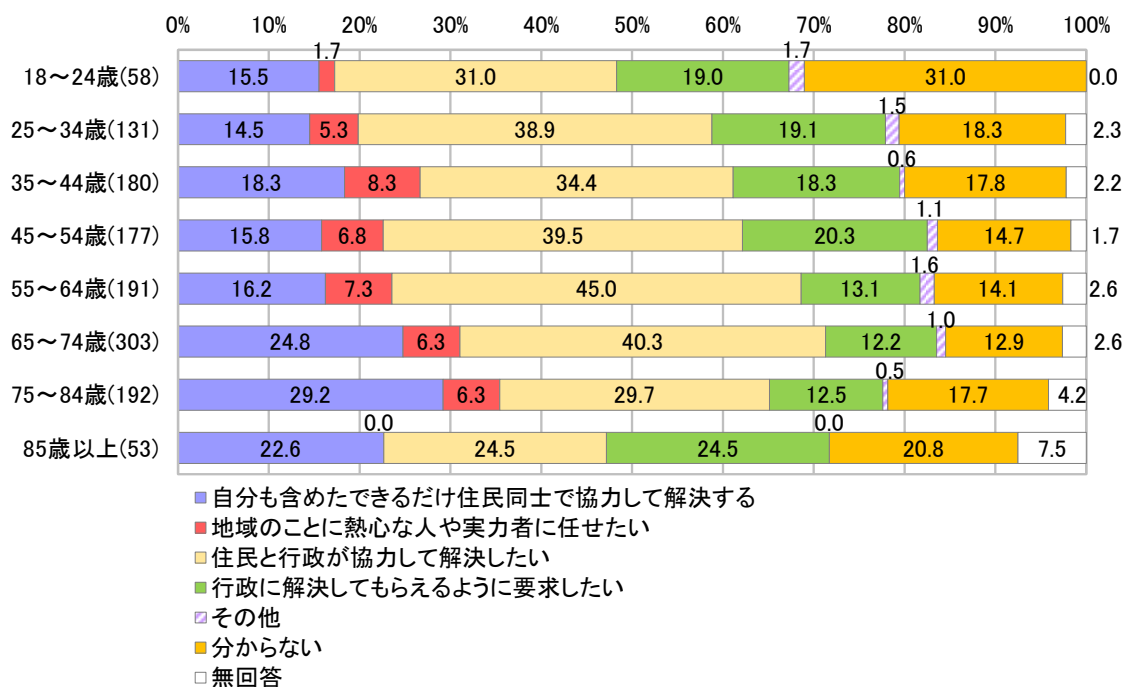
「住民と行政が協力して解決したい」が37.3%で最も多く、ついで「自分も含めたできるだけ住民同士で協力して解決したい」20.4%、「行政に解決してもらえるように要求したい」15.9%の順となっており、「住民と行政が協力して解決したい」「自分も含めたできるだけ住民同士で協力して解決したい」を合わせて当事者意識のある回答者の割合が6割となっている。

■問 19 日常生活での問題の解決方法【単一回答】(n=1,292)



年齢層別に見ると、「自分も含めたできるだけ住民同士で協力して解決したい」は65歳以上で回答者の割合が増加し、「住民と行政が協力して解決したい」は55～74歳の層でそれぞれ4割の回答があるとともに、54歳以下もそれぞれ3割の回答がある。「行政に解決してもらえるように要求したい」は35歳～44歳を除く54歳以下の年齢層で「自分も含めたできるだけ住民同士で協力して解決する」よりも割合が高く、55歳以上では逆転している。このことから若年層の行政に頼る傾向が伺える。

■問 19 日常生活での問題の解決方法の年齢別割合【単一回答】

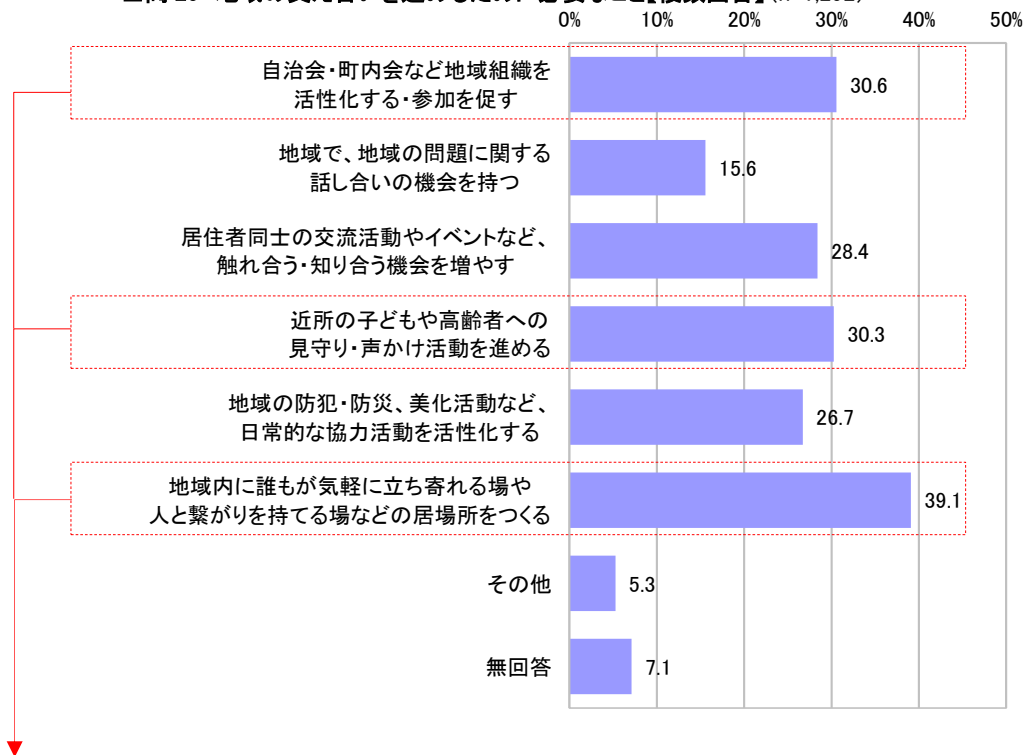


⑥地域の支え合いを進めるために必要なこと

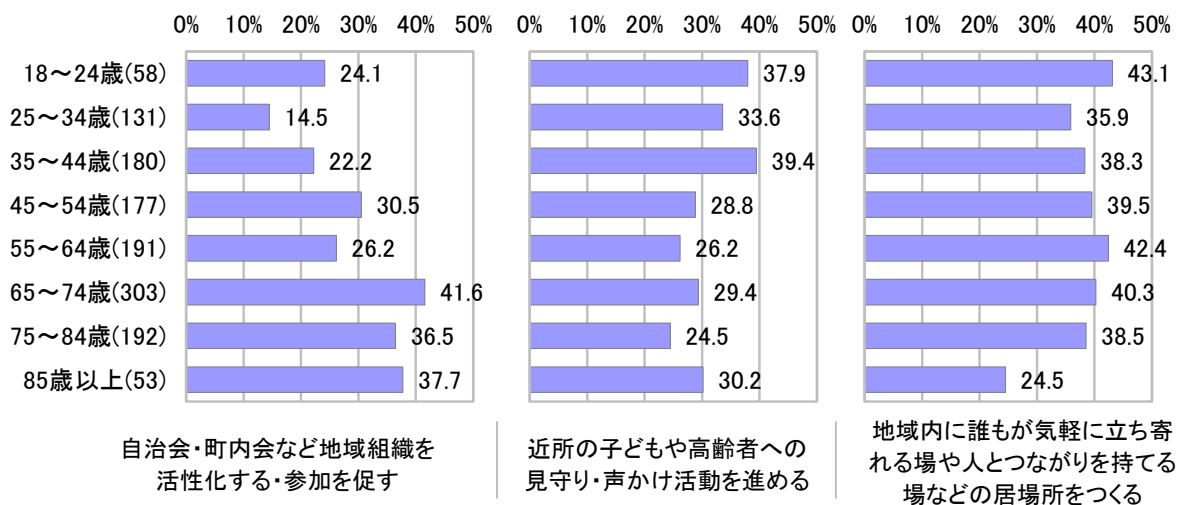
「地域内に誰もが気軽に立ち寄れる場や人と繋がりを持てる場などの居場所をつくる」が最も多く 39.1%、ついで「自治会・町内会など地域組織を活性化する・参加を促す」30.6%、「近所の子どもや高齢者への見守り・声かけ活動を進める」30.3%となっている。

年齢層別に見ると、「自治会・町内会など地域組織を活性化する・参加を促す」は 65 歳以上の各年齢層で割合が高く、「地域内に誰もが気軽に立ち寄れる場や人と繋がりを持てる場などの居場所をつくる」は 55～74 歳と 18～24 歳の年齢層で割合が高い。「近所の子どもや高齢者への見守り・声かけ活動を進める」は 44 歳以下の各年齢層で割合が高い。

■問 20 地域の支え合いを進めるために必要なこと【複数回答】(n=1,292)

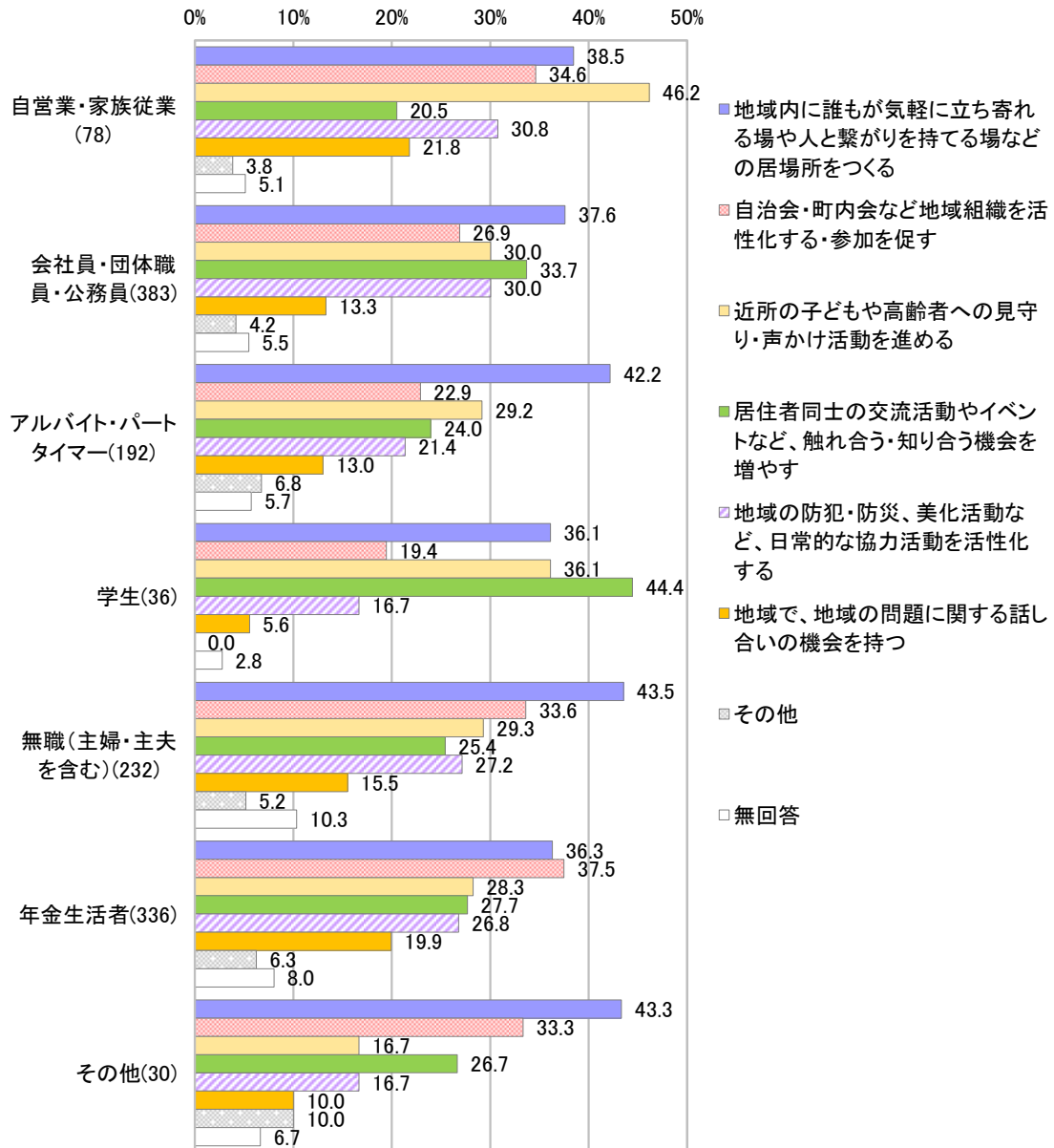


<各項目を選択した年齢別の割合>



また、地域との関わりが比較的低いと予想される「会社員・団体職員・公務員」・「学生」の層は「地域内に誰もが気軽に立ち寄れる場や人と繋がりを持てる場などの居場所をつくる」「居住者同士の交流活動やイベントなど、触れ合う・知り合う機会を増やす」で回答が多かった。

■問 20 地域の支え合いを進めるために必要なことの職業別割合【複数回答】



これらのことから、年齢や職業等の属性ごとにアプローチの手法を変えることや、気軽に立ち寄れる場づくりや声かけ等、負担の少ない機会から支え合いをすすめることが必要であると伺える。

4) 福祉に関して自分やご近所の方が困ったときの対応について

①自分や家族が困っていること

現在困りごとに直面している人は10.0%となっている。

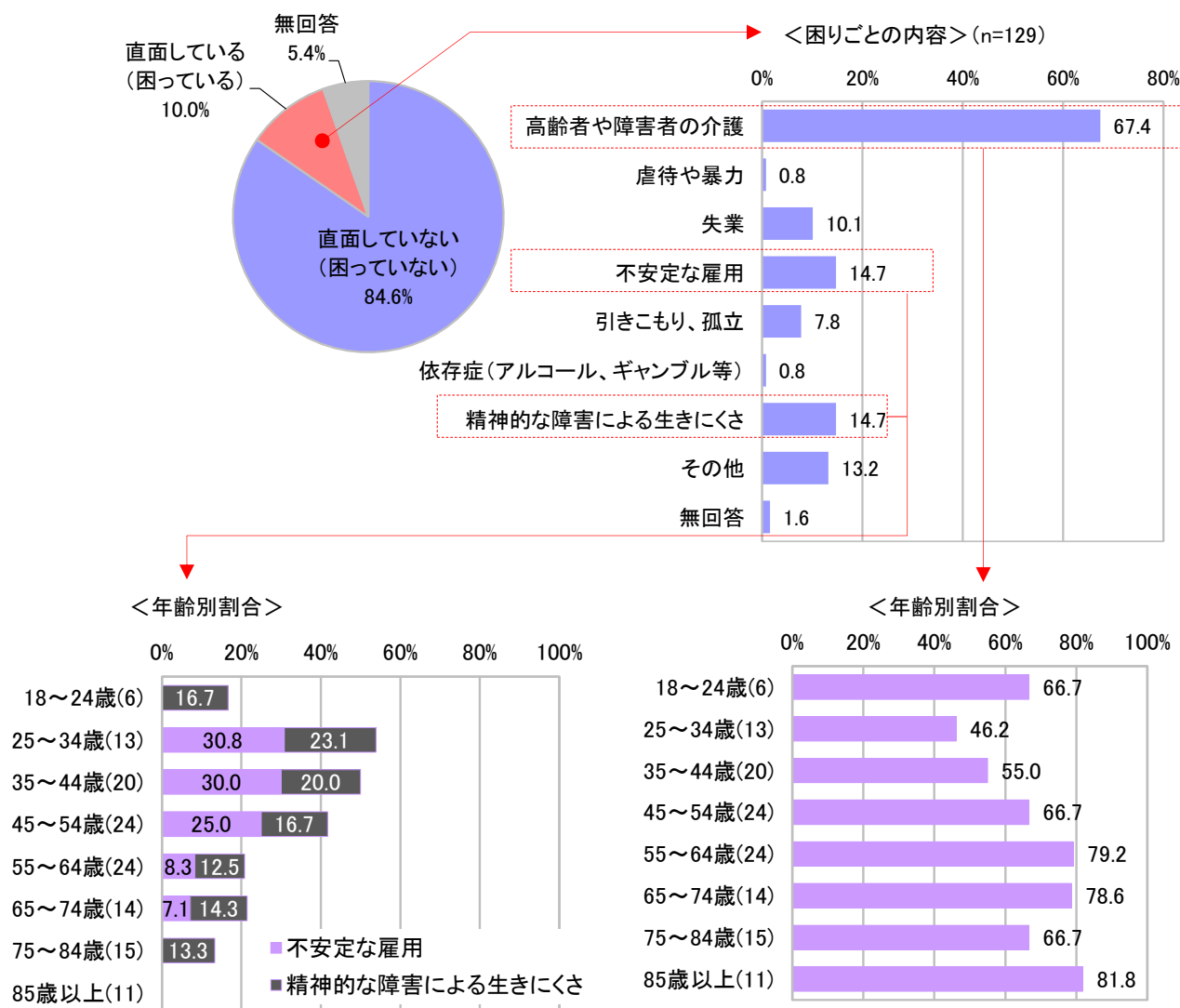
これらの回答者の困りごとの内容を見ると、「高齢者や障害者の介護」が67.4%で最も多く、ついで「不安定な雇用」、「精神的な障害による生きにくさ」がそれぞれ14.7%となっている。

「高齢者や障害者の介護」は年齢別で見ると、最も割合が低い25～34歳で5割、55～74歳の年齢層の8割が選択している。

「不安定な雇用」や「精神的な障害による生きにくさ」は、25～54歳と比較的若い年齢層において高い割合となっている。

どの層においても介護の問題を抱え、高齢になるほどにその率が増える。

■問 21 困りごとについて【単一回答】(n=1,292)



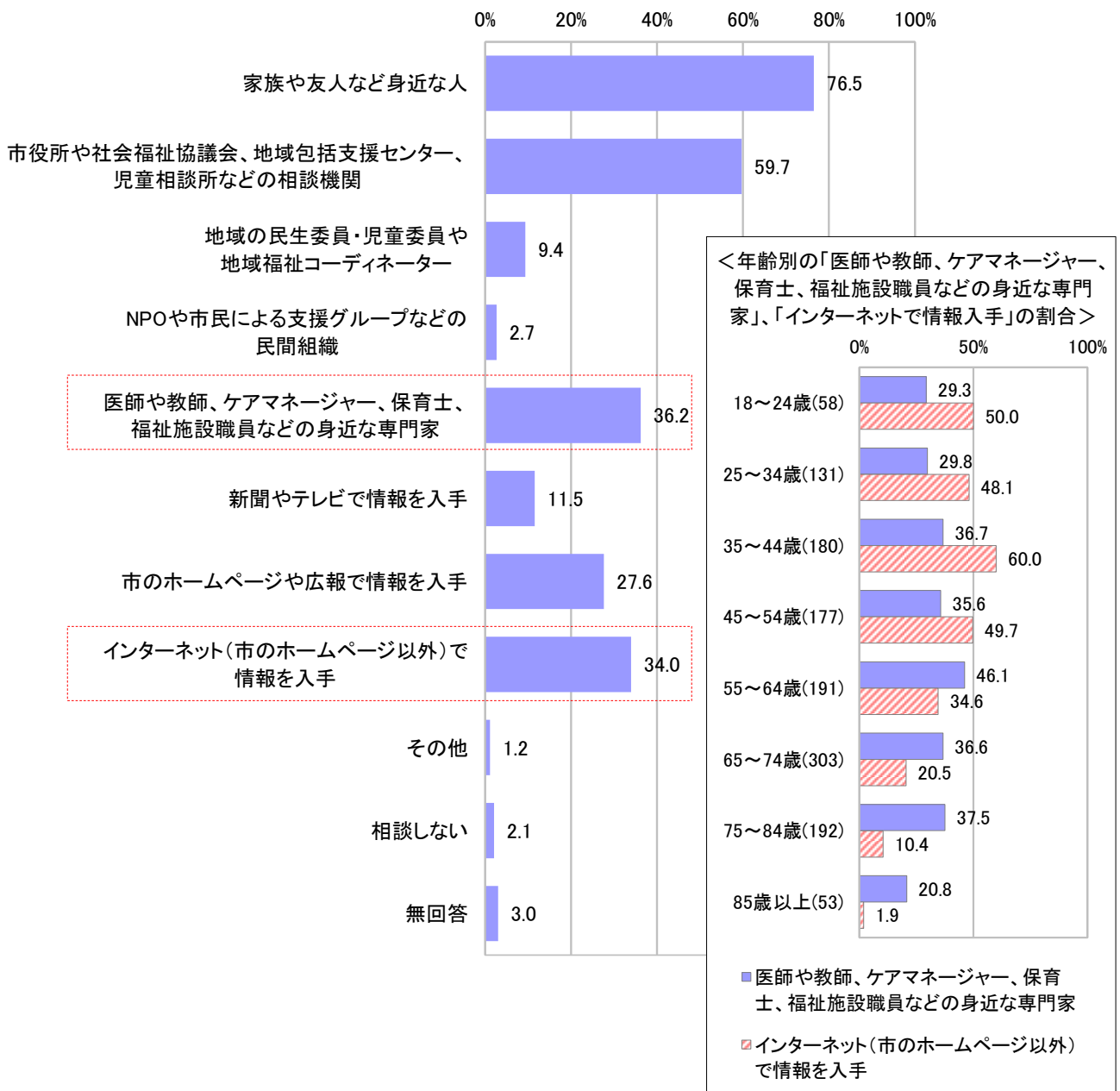
②自分や家族が困ったときの相談先

自分や家族が困ったときの相談先としては、「家族や友人等の身近な人」が76.5%で最も多く、ついで「市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所などの相談機関」59.7%、「医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員などの身近な専門家」36.2%となっている。

年齢別で見ると、25～44歳は「家族や友人等の身近な人」について「市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所などの相談機関」、「インターネット」が多い一方、65～84歳は「家族や友人等の身近な人」「市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所などの相談機関」について「医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員などの身近な専門家」が多くなっており、少し傾向が異なる。

相談先としては、身近な人や、所在が明らかでわかりやすい人や組織を選ぶことが多いことが伺える。

■問 23 相談先【複数回答】(n=1,292)



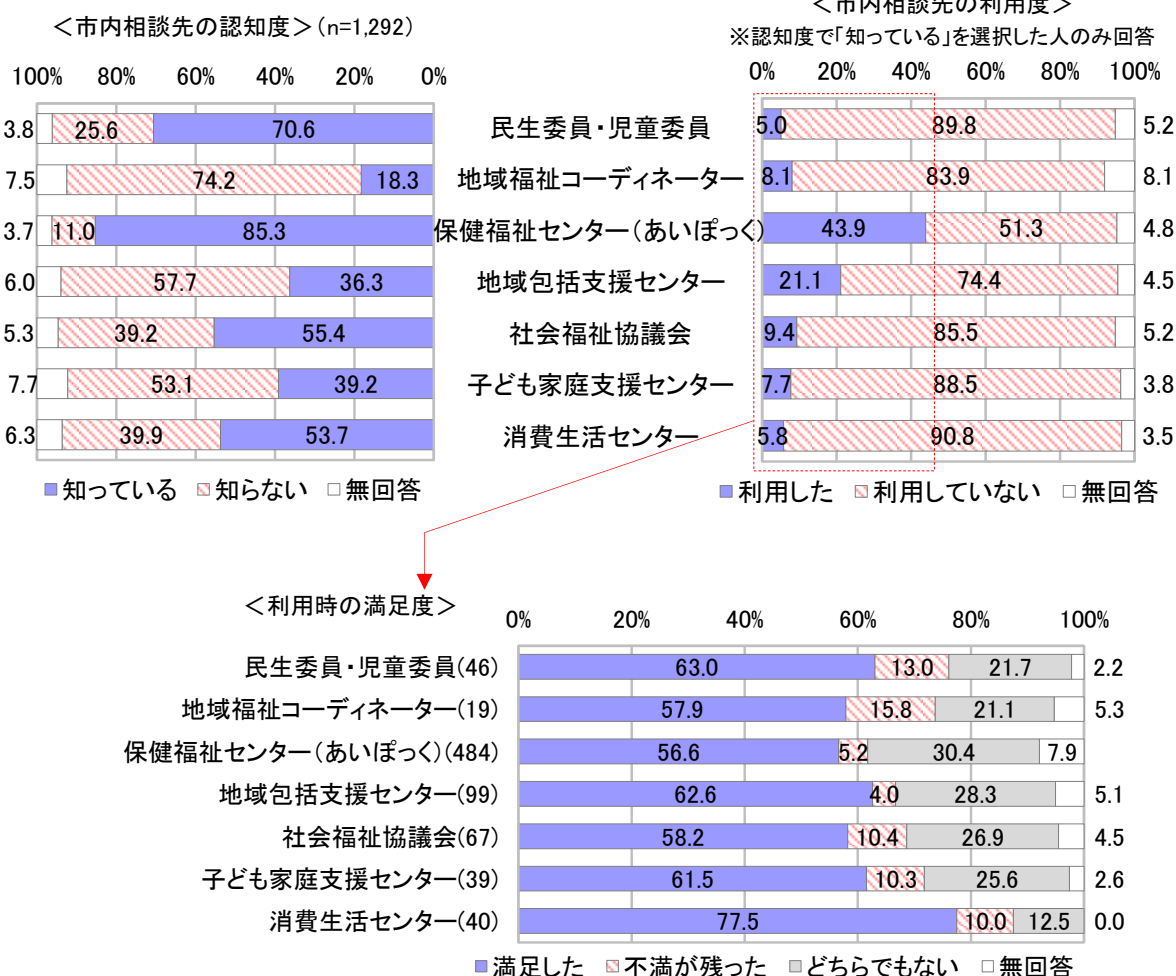
③市内の相談先の認知度及び利用度

相談窓口の認知度は保健福祉センター（あいぽっく）が最も高く 85.3%、ついで民生委員・児童委員 70.6%、社会福祉協議会 55.4%となっている。

これらの相談先を利用した人の割合は、保健福祉センター（あいぽっく）が 43.9%で最も多く、ついで地域包括支援センター21.1%、社会福祉協議会 9.4%となっており、保健福祉センター（あいぽっく）以外は認知度は高いものの、実際の利用度は低い。

各施設の利用者の満足度を見ると、どの施設も満足したが5割を超えている。不満が残った理由として対応した職員の態度の悪さや、対応策への不満足が挙げられている。

■問 24 市内の相談先【各項目に対し単一回答】

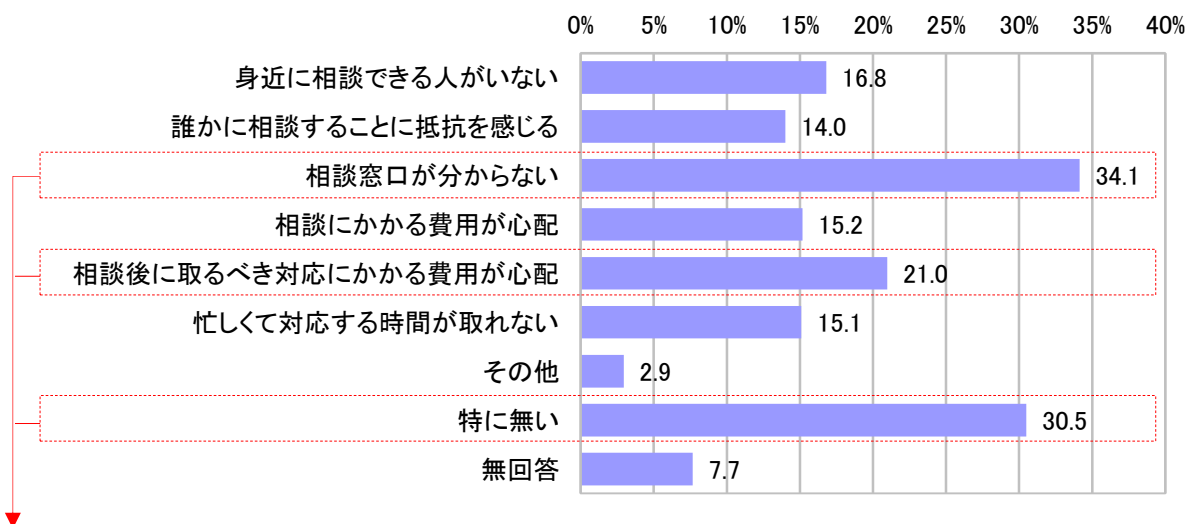


④福祉に関する相談をする際の懸念

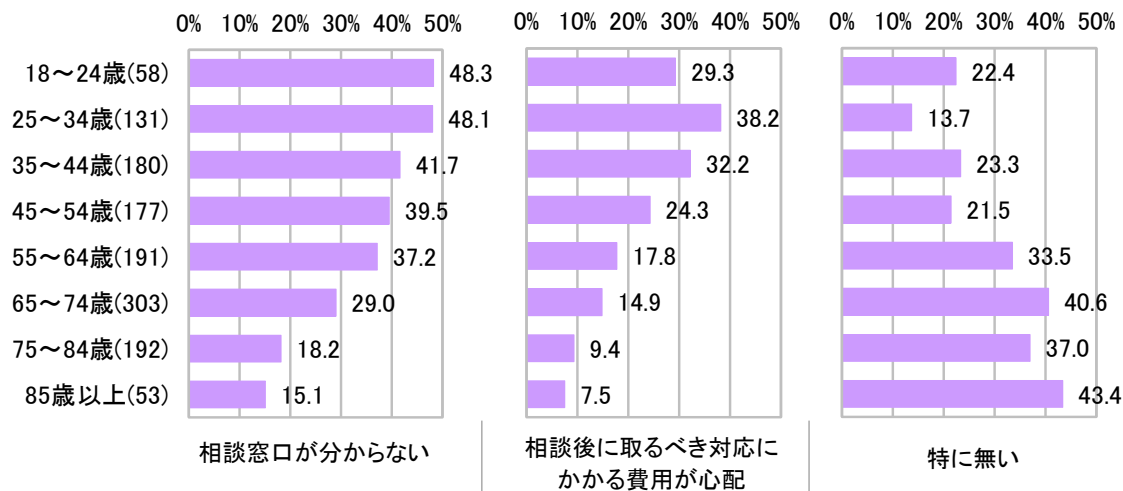
福祉に関する相談をする際に困ったことや困りそうなことを見ると、「相談窓口がわからない」が34.1%で最も多く、ついで「特に無い」30.5%、「相談後に取りべき対応にかかる費用が心配」21.0%となっている。

「相談窓口がわからない」「相談後に取りべき対応にかかる費用が心配」は年齢層で見ると、年齢が若いほうが割合が高くなる傾向にある。また「特に無い」は年齢層が高いほうが割合が高くなる傾向が見られた。

■問 25 福祉に関する相談をする際の懸念【複数回答】(n=1,292)



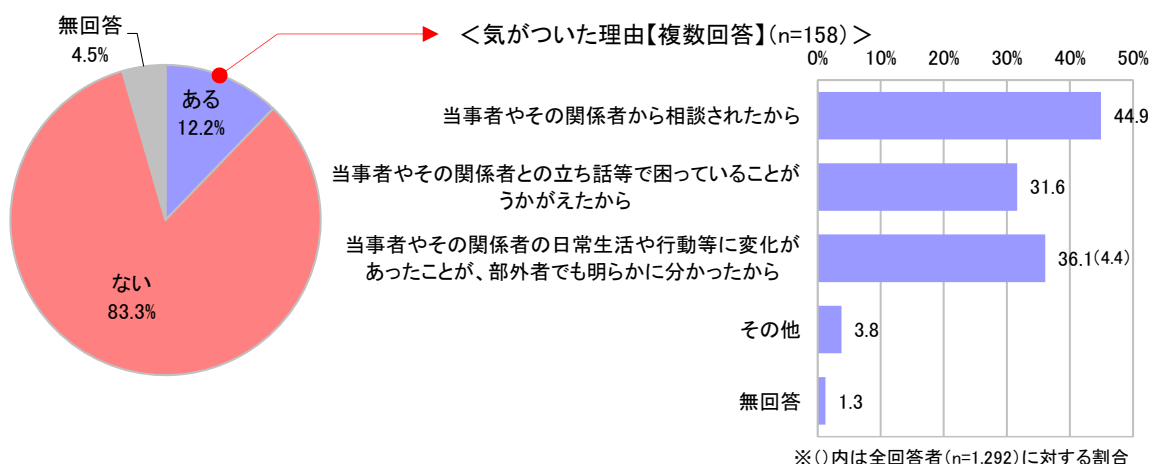
<各項目を選択した年齢別割合>



⑤ ご近所の方の困りごとへの気づき

ご近所の方が困っていることに気がついた人の割合は全体で 12.2%となっている。気がついた理由は、「当事者やその関係者から相談されたから」が 44.9%で最も多く、ついで「当事者やその関係者の日常生活や行動等に変化があったことが、部外者でも明らかに分かったから」36.1%、「当事者やその関係者との立ち話等で困っていることがうかがえたから」31.6%となっている。行動の変化で周囲が察することができたのは回答者全体の 4.4%と少ない。

■問 26 ご近所の方の困りごとへの気づき【単一回答】(n=1,292)

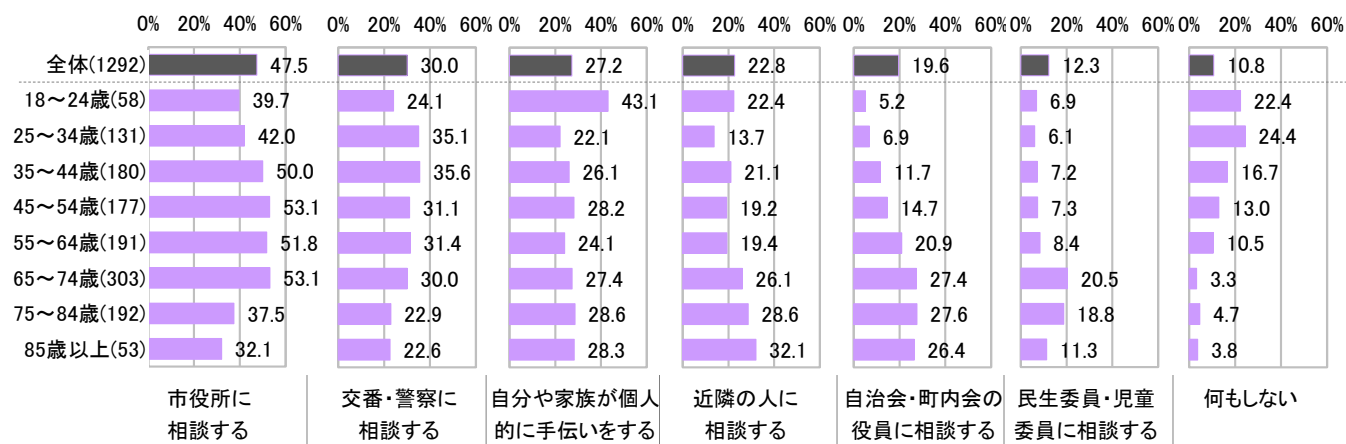


⑥ ご近所の方の困りごとへの対応

ご近所の方が困っていることに気がついた人の行動としては、「市役所に相談する」が 47.5%で最も多く、ついで「交番・警察に相談する」30.0%、「自分や家族が個人的に手伝いをする」27.2%となっており、「何もしない」は 10.8%であった。

年齢層別に行動を見ると、高齢者は「近隣の人に相談する」「自治会・町内会役員に相談する」「民生委員に相談する」傾向が強く、35～74歳の年齢層は「市役所に相談する」傾向があり、34歳以下の年齢層は「何もしない」傾向が強い。

■問 28 ご近所の方の困りごとへの対応【複数回答】



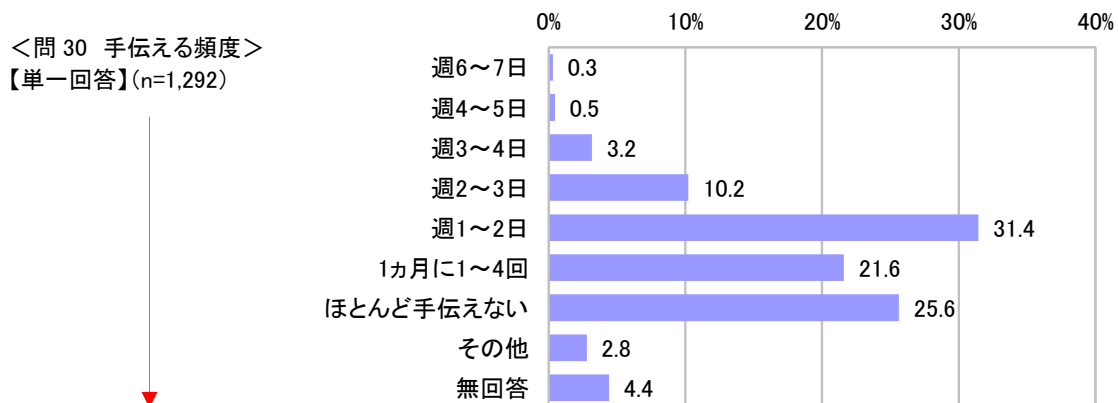
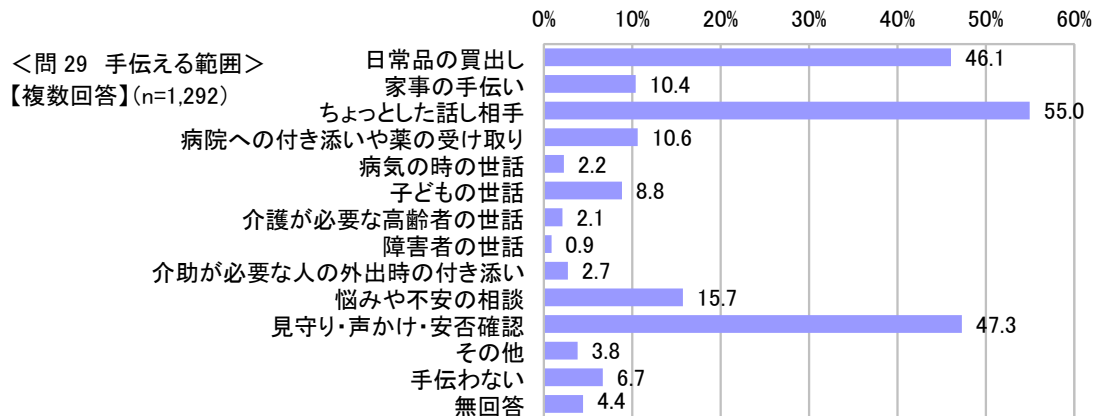
ご近所の方から手伝いを依頼されたときに手伝える範囲としては、「ちょっ

とした話し相手」が 55.0%で最も多く、ついで「見守り・声かけ・安否確認」の 47.3%、「日常品の買い出し」46.1%の順となっている。

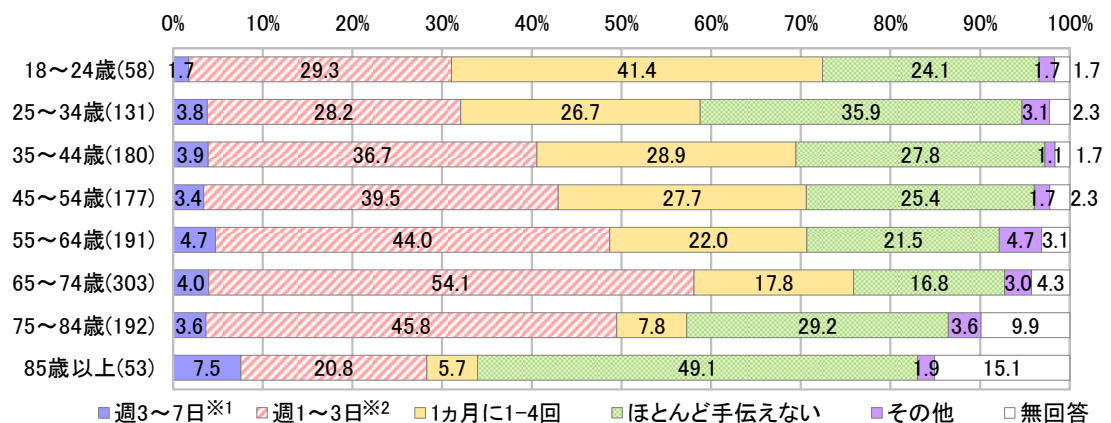
また手伝いの頻度は、「週 1～2 日」が最も多く 31.4%、ついで「ほとんど手伝えない」が 25.6%、「1 ヶ月に 1～4 回」が 21.6%となっている。

頻度別の年齢層の割合を見ると、週 1～3 日は 65～74 歳の割合が、1 ヶ月に 1～4 回は 18～24 歳の割合が最も高く、「ほとんど手伝えない」は、85 歳以上が最も高くなっている一方で、65～74 歳が最も低くなっている。

これらのことから、ご近所の方への困りごとの対応は年齢層により若干傾向が異なっており、高齢者は援助の意向が若年層より強く伺える。



＜年齢別割合＞



※1 週 3～7 日は「週 3～4 日」「週 4～5 日」「週 6～7 日」の合計

※2 週 1～3 日は「週 1～2 日」「週 2～3 日」の合計

⑦災害への対応について

災害発生時に一人で避難できない人が 9.9%となっている。また、一人で避難できない人のうち、助けてくれる家族や近所の人がない人が 21.9%となっている。

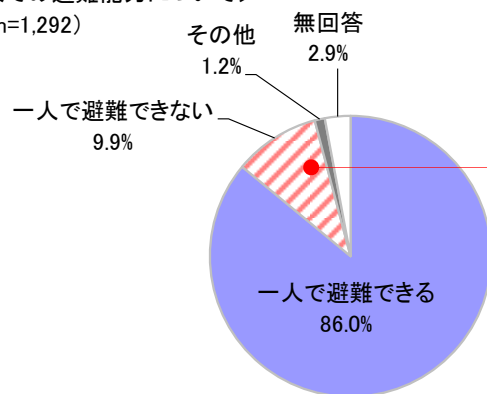
災害発生時に、「ご近所にお住まいで地域の介助や手助け等の支援を必要とする方のためにあなたがしてあげられること」を見ると、「安否確認・声かけ」が最も多く 77.9%、ついで「安全な場所への避難・誘導」が 48.4%、「相談・話し相手」が 30.6%となっている。

災害時に支援を必要とする人への支援策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思うかを見ると、「災害時に支援を必要とする人の把握」が 67.8%で最も多く、ついで「高齢者や乳幼児などの要援護者向けの物資」44.9%、「防災マップの整備」41.2%となっている。

■災害への対応

<問 31 一人での避難能力について>

【単一回答】(n=1,292)



<「一人で避難できない(n=128)」の内訳>

周りに助けてくれる家族
や近所の人はいない

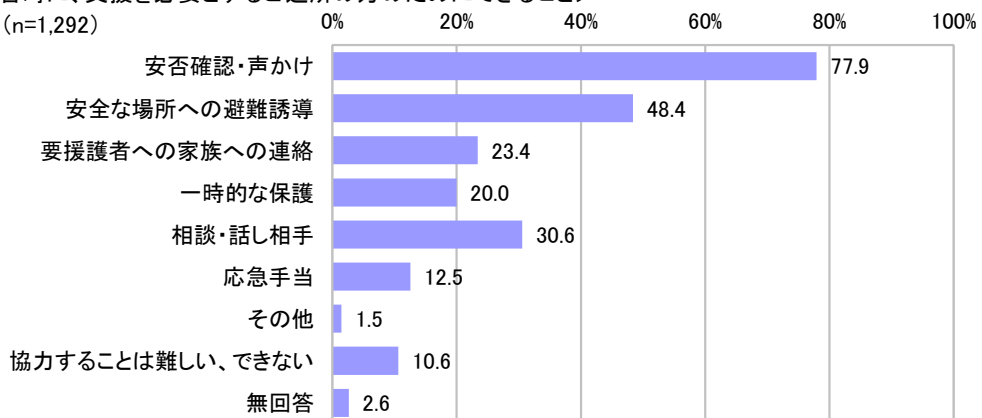
21.9%

但し、家族や近所の人
が支援してくれる予定だ

78.1%

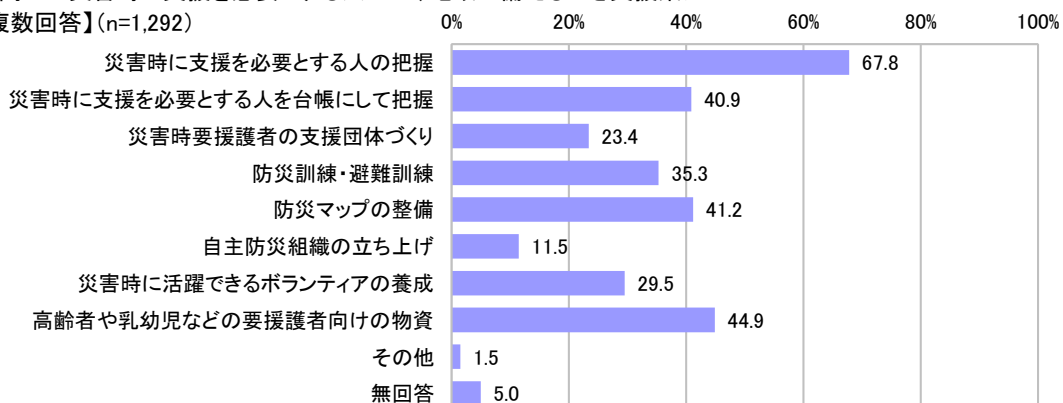
<問 32 災害時に、支援を必要とするご近所の方のためにできること>

【複数回答】(n=1,292)



<問 33 災害時に支援を必要とする人への、地域で備えるべき支援策>

【複数回答】(n=1,292)



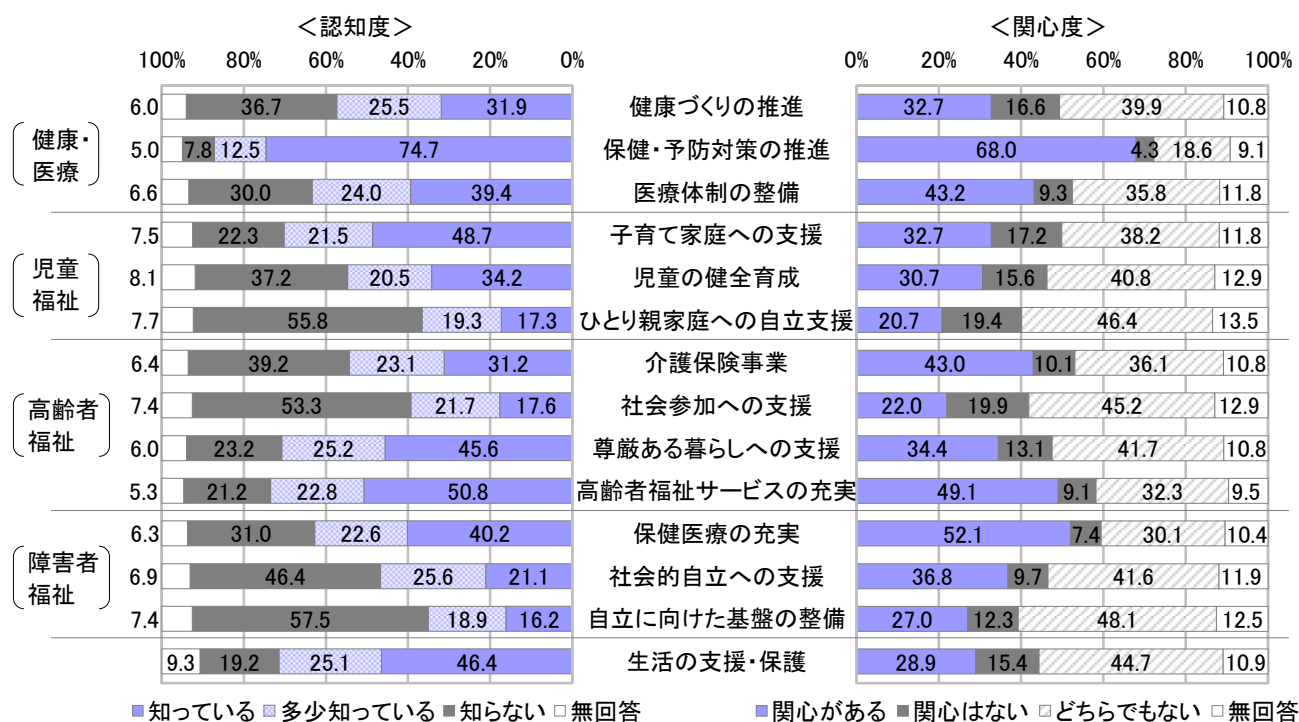
5) 市の福祉に関する取組について

①市の福祉に関する施策の認知度について

「知っている」「多少知っている」を合わせた施策の認知度は、[健康・医療] 保健・予防対策の推進 87.2%が最も高く、ついで[高齢者福祉] 高齢者福祉サービスの充実 73.6%、生活の支援・保護 71.5%の順となっている。

施策に対する関心度は、[健康・医療] 保健・予防対策の推進 68.0%が最も高く、ついで[障害者福祉] 保健医療の充実 52.1%、[高齢者福祉] 高齢者福祉サービスの充実 49.1%の順となっている。

■問 35 市の福祉に関する施策の認知度及び関心度【単一回答】(n=1,292)



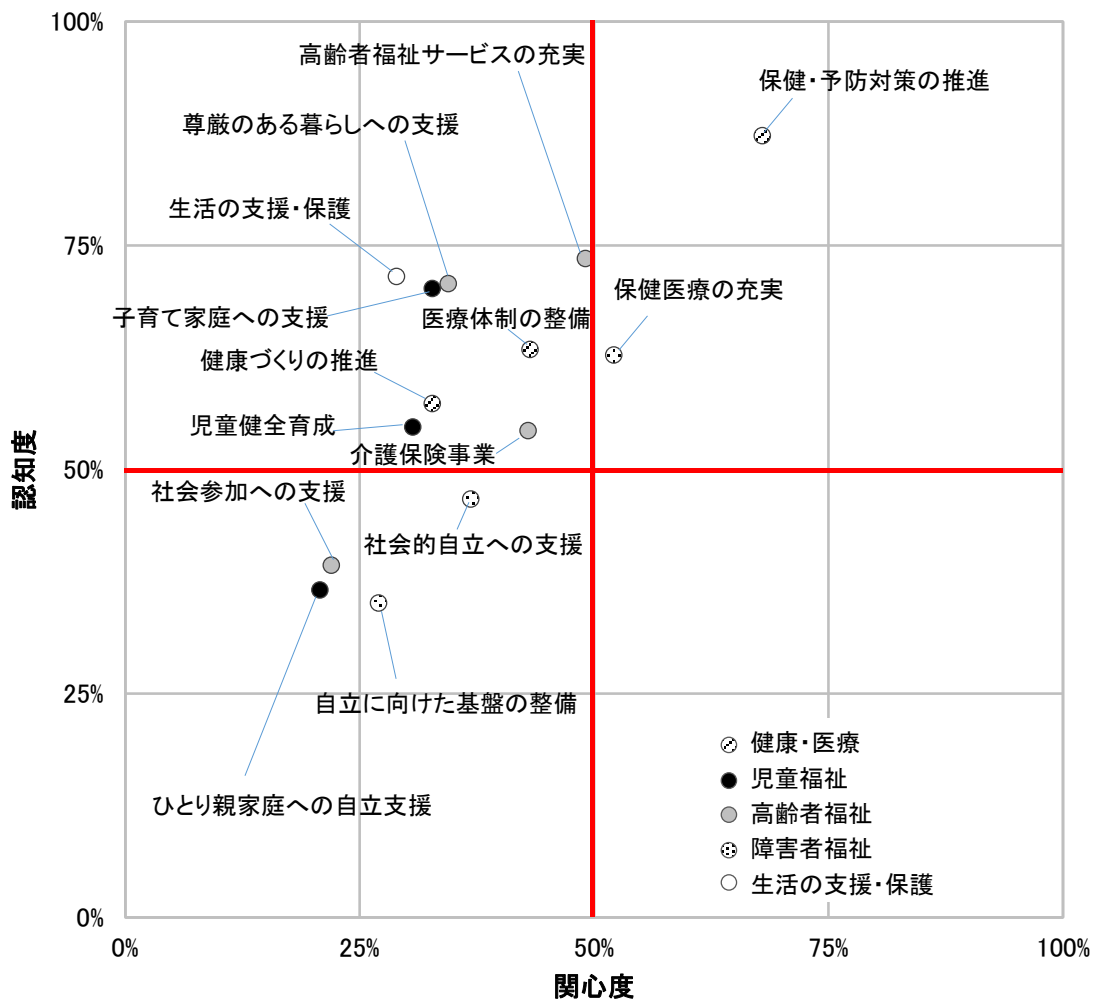
②市の福祉に関する施策展開の方向性について

今回認知度及び関心度を調査した 14 分野の施策のうち、認知度及び関心度がそれぞれ 50%を超える施策は、〔健康・医療〕保健・予防対策の推進、〔障害者福祉〕保健医療の充実の 2 施策のみとなっている。

認知度は 50%を超えるものの関心度が 50%未満の施策は 8 施策となっており、これらの施策は施策内容の周知が課題となると考えられる。

認知度及び関心度の両方が 50%未満である施策は 4 施策となっている。このうち 3 施策（〔児童福祉〕ひとり親家庭への自立支援、〔障害者福祉〕自立に向けた基盤の整備、〔障害者福祉〕社会的自立への支援）は施策対象となる市民の範囲が他の施策と比較し狭いことから、認知度及び関心度が低くなっていることが推測される。これらの施策については施策の存在の周知が課題となると考えられる。

■認知度と関心度を軸にした施策の散布図



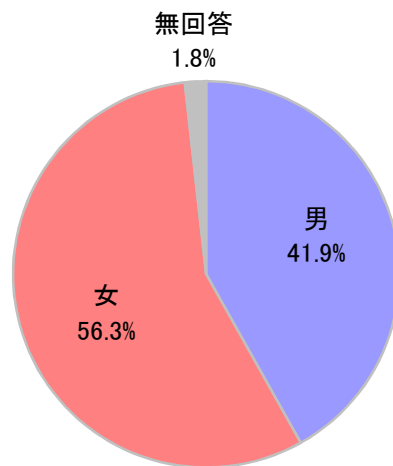
※認知度は「知っている」「多少知っている」の合計値で表示した。関心度は「関心がある」の数値で表示した

3. 単純集計表

問1: あなたの性別について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	男	541	41.9
2	女	728	56.3
	無回答	23	1.8

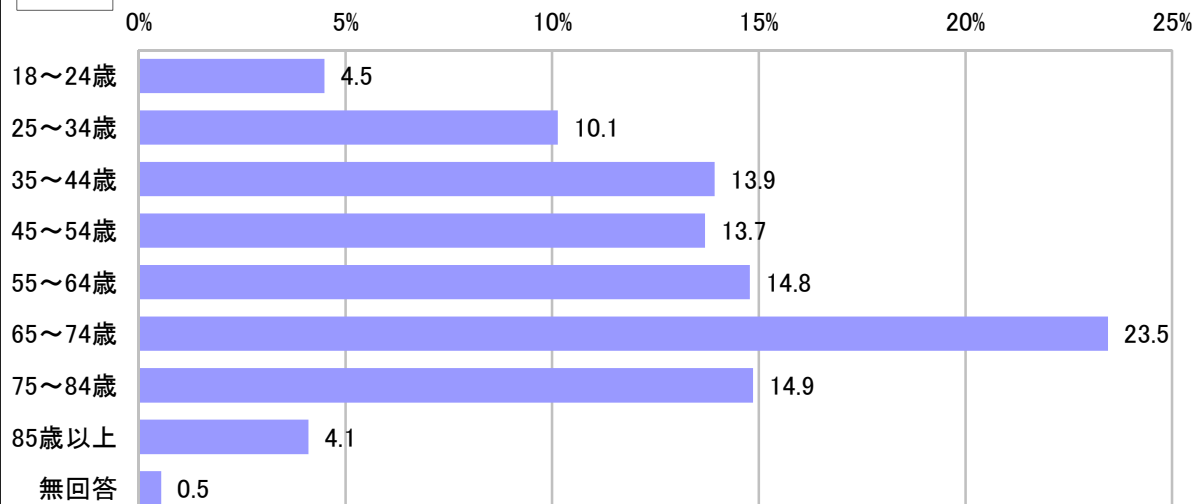
n=1292



問2: あなたの年齢について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

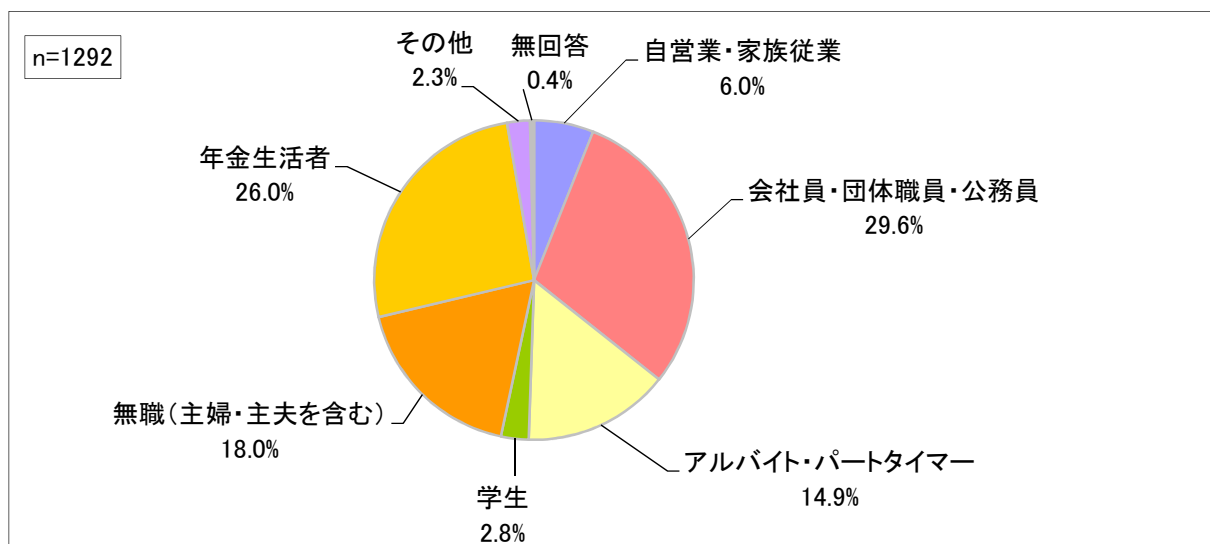
		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	18～24歳	58	4.5
2	25～34歳	131	10.1
3	35～44歳	180	13.9
4	45～54歳	177	13.7
5	55～64歳	191	14.8
6	65～74歳	303	23.5
7	75～84歳	192	14.9
8	85歳以上	53	4.1
	無回答	7	0.5

n=1292



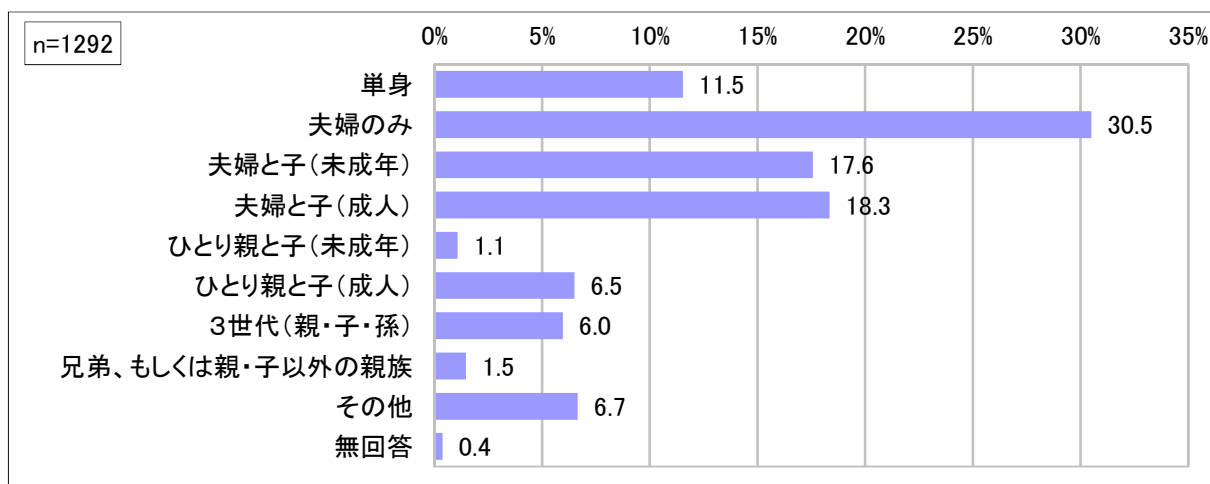
問3: あなたの職業について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

	回答数	%
全体	1292	100.0
1 自営業・家族従業	78	6.0
2 会社員・団体職員・公務員	383	29.6
3 アルバイト・パートタイマー	192	14.9
4 学生	36	2.8
5 無職(主婦・主夫を含む)	232	18.0
6 年金生活者	336	26.0
7 その他	30	2.3
無回答	5	0.4



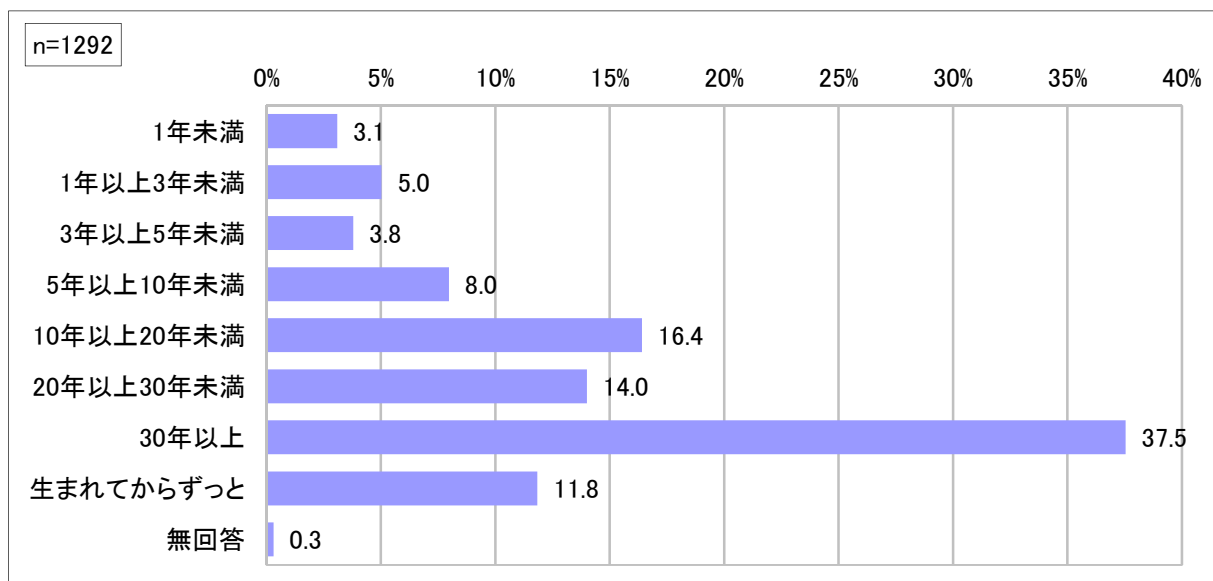
問4: あなたが同居する家族の構成について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

	回答数	%
全体	1292	100.0
1 単身	149	11.5
2 夫婦のみ	394	30.5
3 夫婦と子(未成年)	227	17.6
4 夫婦と子(成人)	237	18.3
5 ひとり親と子(未成年)	14	1.1
6 ひとり親と子(成人)	84	6.5
7 3世代(親・子・孫)	77	6.0
8 兄弟、もしくは親・子以外の親族	19	1.5
9 その他	86	6.7
無回答	5	0.4



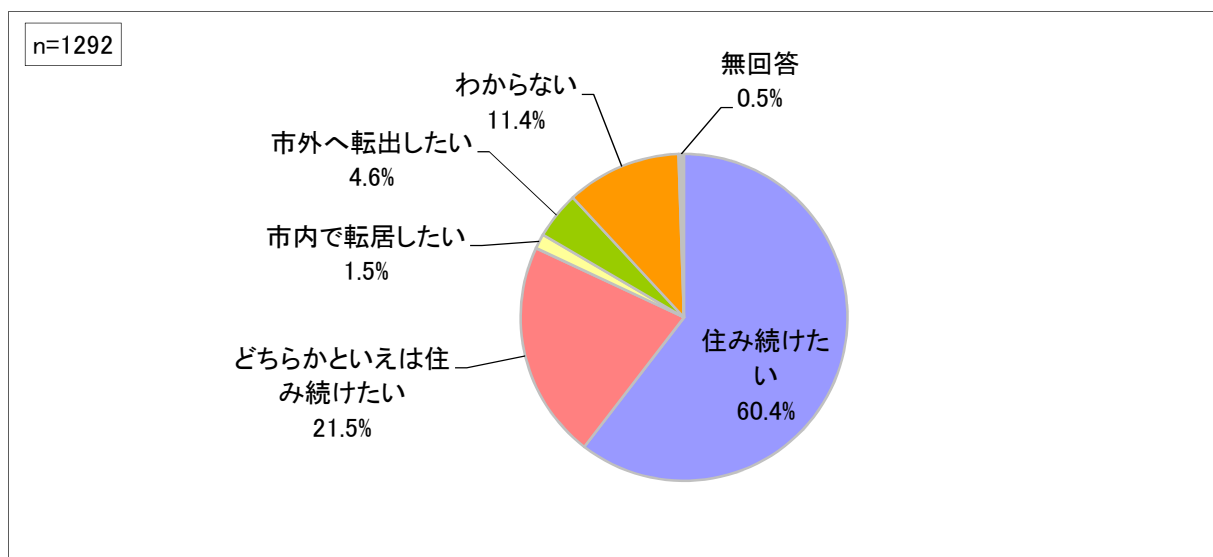
問5:昭島市での居住年数について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	1年未満	40	3.1
2	1年以上3年未満	65	5.0
3	3年以上5年未満	49	3.8
4	5年以上10年未満	103	8.0
5	10年以上20年未満	212	16.4
6	20年以上30年未満	181	14.0
7	30年以上	485	37.5
8	生まれてからずっと	153	11.8
	無回答	4	0.3



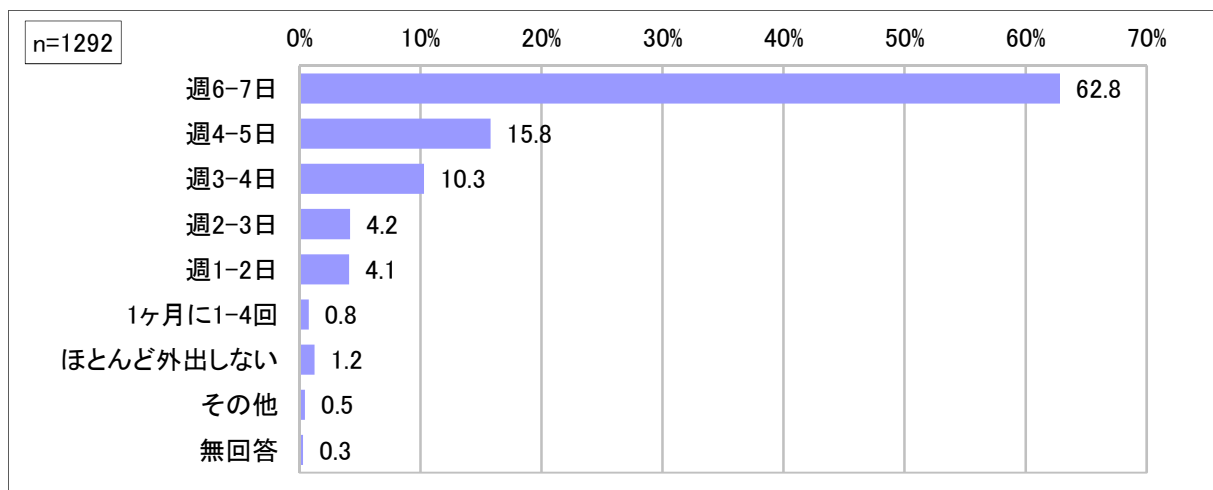
問6:昭島市での今後の定住意向について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	住み続けたい	781	60.4
2	どちらかといえば住み続けたい	278	21.5
3	市内で転居したい	19	1.5
4	市外へ転出したい	60	4.6
5	わからない	147	11.4
	無回答	7	0.5



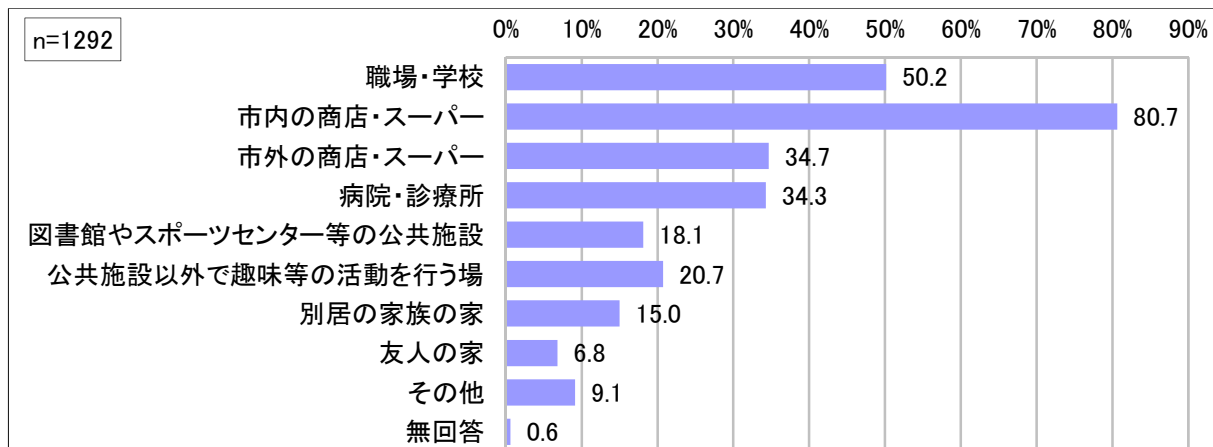
問7: 普段、買物や散歩、通勤通学を含め、外出はどの程度していますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

	回答数	%
全体	1292	100.0
1 週6-7日	812	62.8
2 週4-5日	204	15.8
3 週3-4日	133	10.3
4 週2-3日	54	4.2
5 週1-2日	53	4.1
6 1ヶ月に1-4回	10	0.8
7 ほとんど外出しない	16	1.2
8 その他	6	0.5
無回答	4	0.3



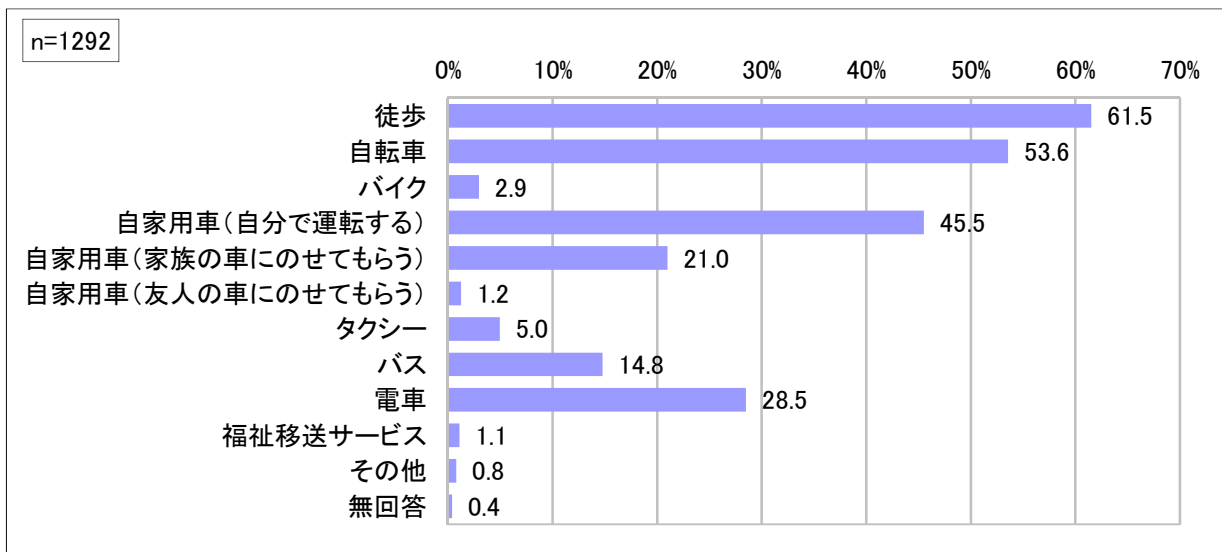
問8: 外出先としてよく行く場所はどこですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

	回答数	%
全体	1292	100.0
1 職場・学校	648	50.2
2 市内の商店・スーパー	1042	80.7
3 市外の商店・スーパー	448	34.7
4 病院・診療所	443	34.3
5 図書館やスポーツセンター等の公共施設	234	18.1
6 公共施設以外で趣味等の活動を行う場	268	20.7
7 別居の家族の家	194	15.0
8 友人の家	88	6.8
9 その他	118	9.1
無回答	8	0.6



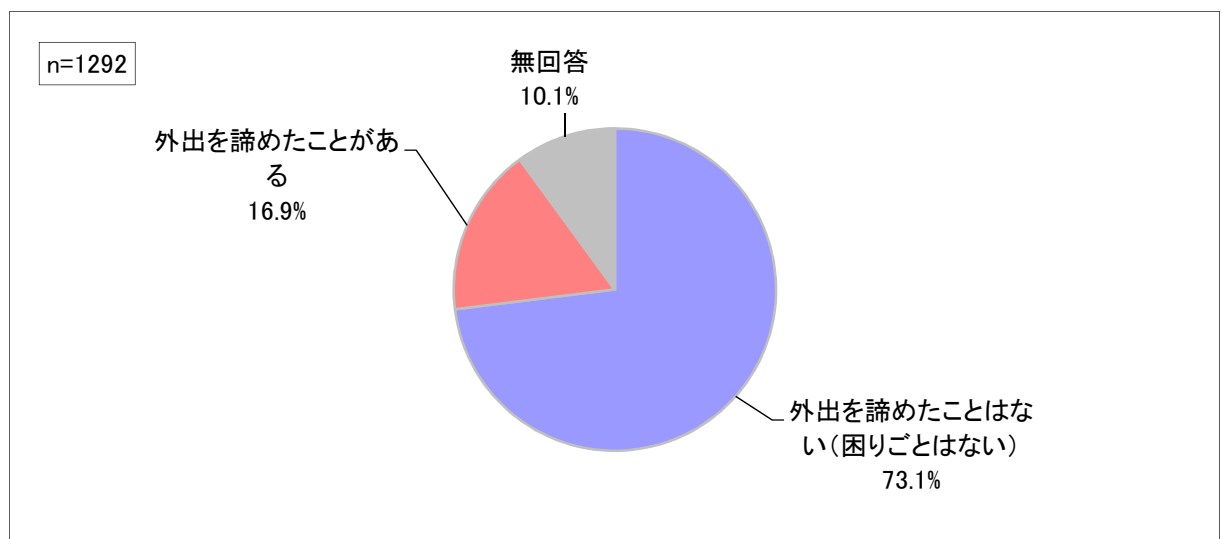
問9: 市内を移動する時によく利用する交通手段はなんですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	徒歩	795	61.5
2	自転車	692	53.6
3	バイク	38	2.9
4	自家用車(自分で運転する)	588	45.5
5	自家用車(家族の車にのせてもらう)	271	21.0
6	自家用車(友人の車にのせてもらう)	16	1.2
7	タクシー	64	5.0
8	バス	191	14.8
9	電車	368	28.5
10	福祉移送サービス	14	1.1
11	その他	10	0.8
	無回答	5	0.4



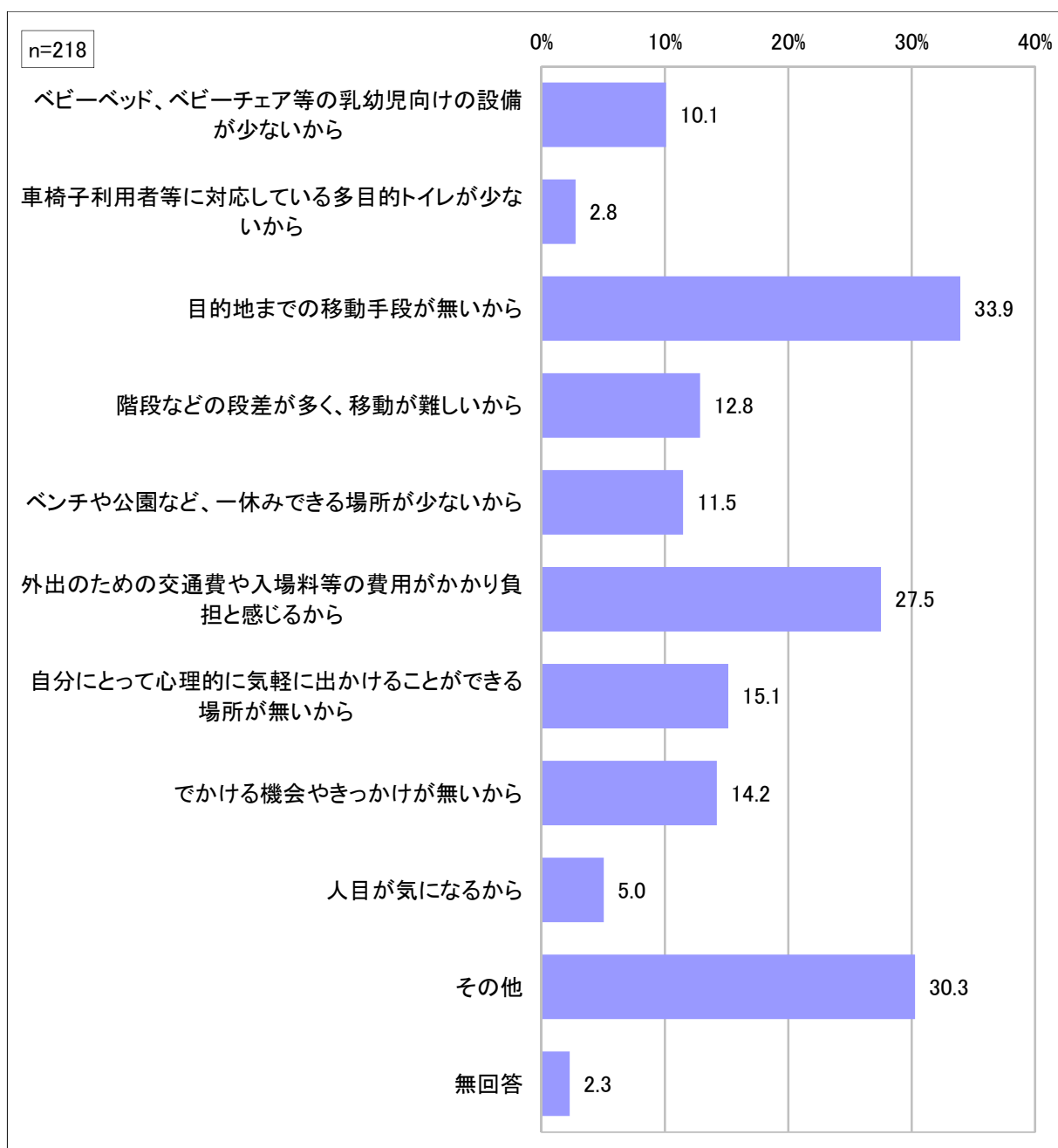
問10: あなたは、外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	外出を諦めたことはない(困りごとはない)	944	73.1
2	外出を諦めたことがある	218	16.9
	無回答	130	10.1



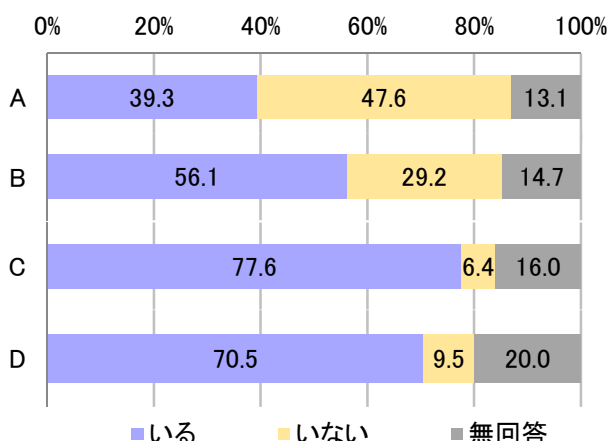
問11:【問10で「2.外出を諦めたことがある」と回答の方】外出を諦めたのはどのような理由ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	218	100.0
1	ベビーベッド、ベビーチェア等の乳幼児向けの設備が少ないから	22	10.1
2	車椅子利用者等に対応している多目的トイレが少ないから	6	2.8
3	目的地までの移動手段が無いから	74	33.9
4	階段などの段差が多く、移動が難しいから	28	12.8
5	ベンチや公園など、一休みできる場所が少ないから	25	11.5
6	外出のための交通費や入場料等の費用がかかり負担とを感じるから	60	27.5
7	自分にとって心理的に気軽に外に出かけることができる場所が無いから	33	15.1
8	でかける機会やきっかけが無いから	31	14.2
9	人目が気になるから	11	5.0
10	その他	66	30.3
	無回答	5	2.3



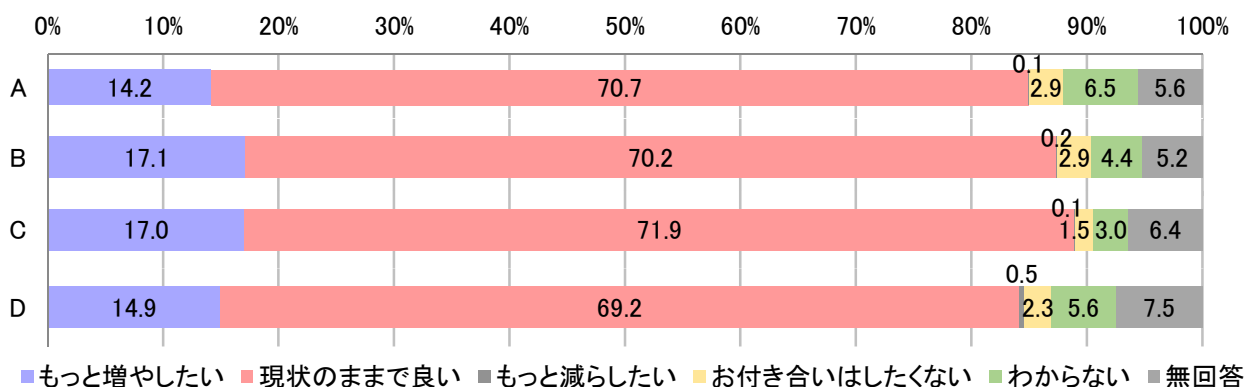
問13.1:ご近所づきあいで、次のような方はいますか。下記のA-Dでそれぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

全体			回答数	%
			1292	100.0
A.親しく交流する人	1	いる	508	39.3
	2	いない	615	47.6
		無回答	169	13.1
B.世間話をするくらいの交流のある人	1	いる	725	56.1
	2	いない	377	29.2
		無回答	190	14.7
C.顔を合わせれば挨拶するくらいの人	1	いる	1002	77.6
	2	いない	83	6.4
		無回答	207	16.0
D.交流は無いが顔を見れば近所に住んでいると分かる人	1	いる	911	70.5
	2	いない	123	9.5
		無回答	258	20.0



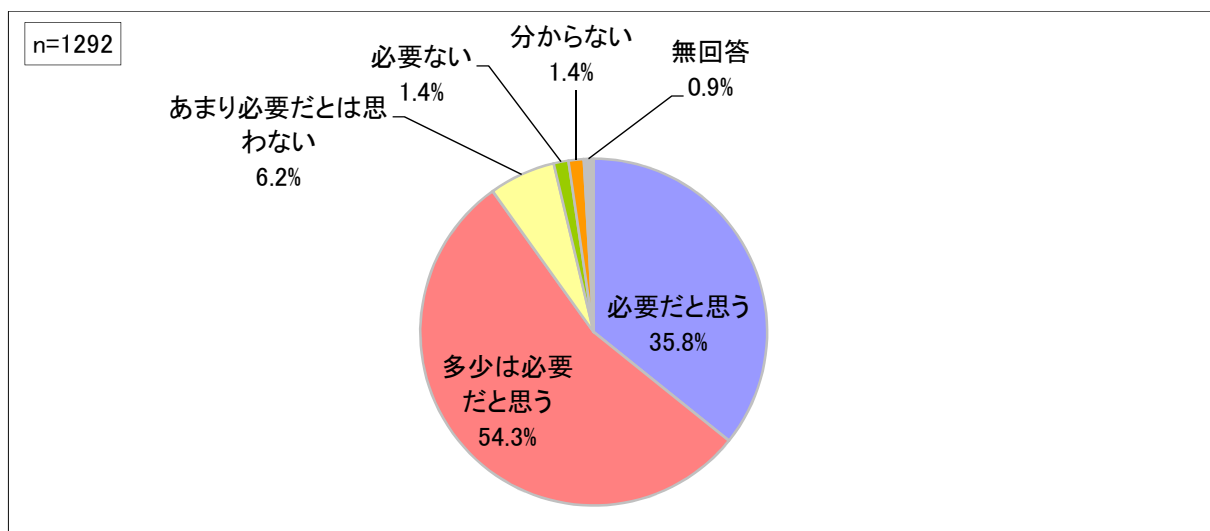
問14.1:ご近所の方との今後のおつきあいについて、どのようにお考えですか。下記のA-Dでそれぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

全体			回答数	%
			1292	100.0
A.親しく交流する人	1	もっと増やしたい	183	14.2
	2	現状のままで良い	914	70.7
	3	もっと減らしたい	1	0.1
	4	お付き合いはしたくない	38	2.9
	5	わからない	84	6.5
		無回答	72	5.6
B.世間話をするくらいの交流のある人	1	もっと増やしたい	221	17.1
	2	現状のままで良い	907	70.2
	3	もっと減らしたい	2	0.2
	4	お付き合いはしたくない	38	2.9
	5	わからない	57	4.4
		無回答	67	5.2
C.顔を合わせれば挨拶するくらいの人	1	もっと増やしたい	220	17.0
	2	現状のままで良い	929	71.9
	3	もっと減らしたい	1	0.1
	4	お付き合いはしたくない	20	1.5
	5	わからない	39	3.0
		無回答	83	6.4
D.交流は無いが顔を見れば近所に住んでいると分かる人	1	もっと増やしたい	193	14.9
	2	現状のままで良い	894	69.2
	3	もっと減らしたい	6	0.5
	4	お付き合いはしたくない	30	2.3
	5	わからない	72	5.6
		無回答	97	7.5



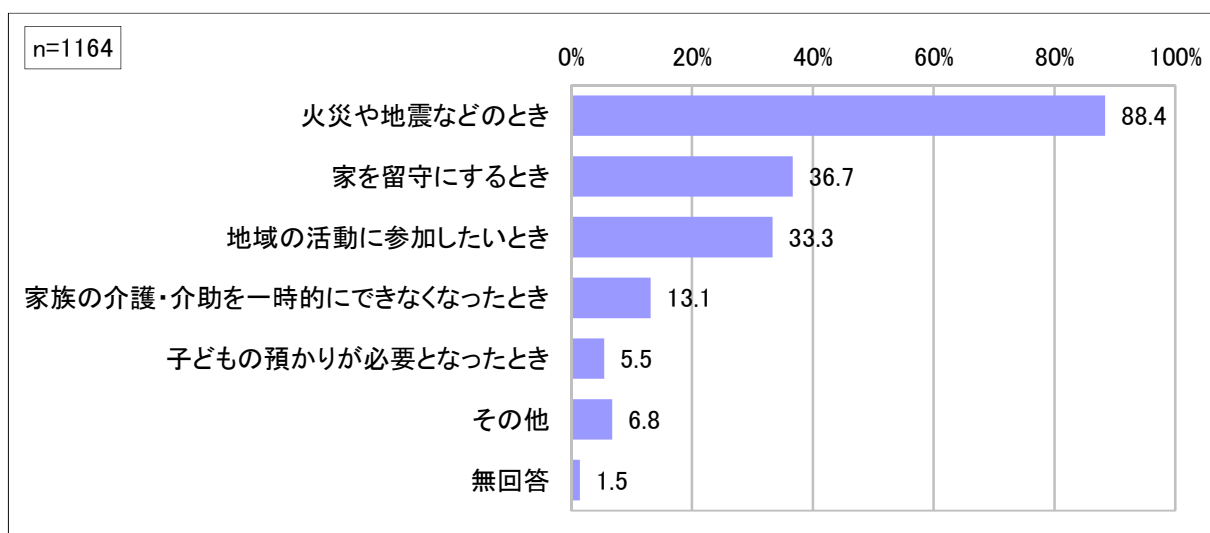
問15: ご近所の方とお付き合いは必要だと思いますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	必要だと思う	462	35.8
2	多少は必要だと思う	702	54.3
3	あまり必要だとは思わない	80	6.2
4	必要ない	18	1.4
5	分からない	18	1.4
	無回答	12	0.9



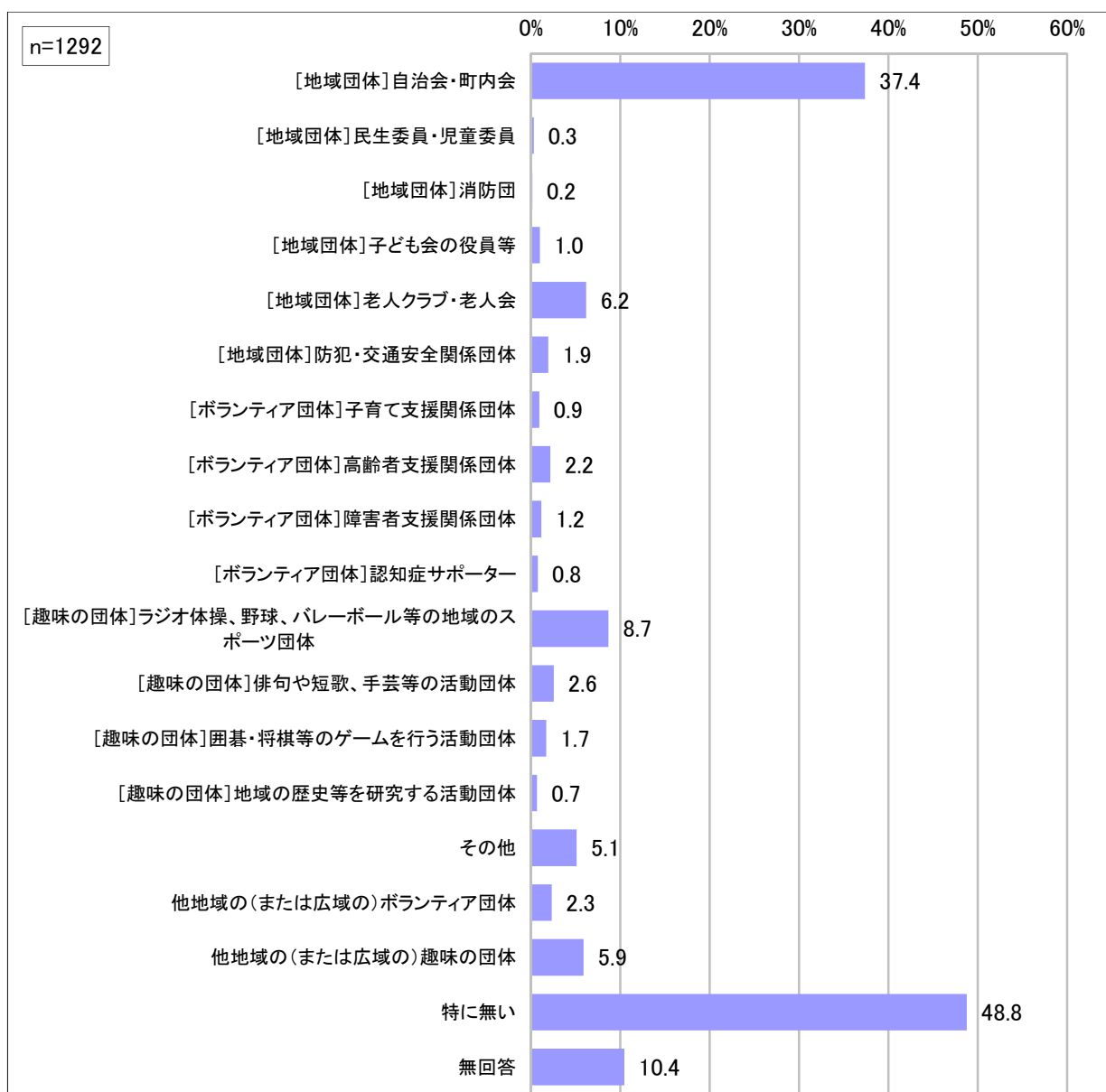
問16: 【問15で「1.必要だと思う」、「2.多少は必要だと思う」と回答の方】どのような時にご近所とお付き合いが必要だと感じますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	1164	100.0
1	火災や地震などのとき	1029	88.4
2	家を留守にするとき	427	36.7
3	地域の活動に参加したいとき	388	33.3
4	家族の介護・介助を一時的にできなくなったとき	153	13.1
5	子どもの預かりが必要となったとき	64	5.5
6	その他	79	6.8
	無回答	17	1.5



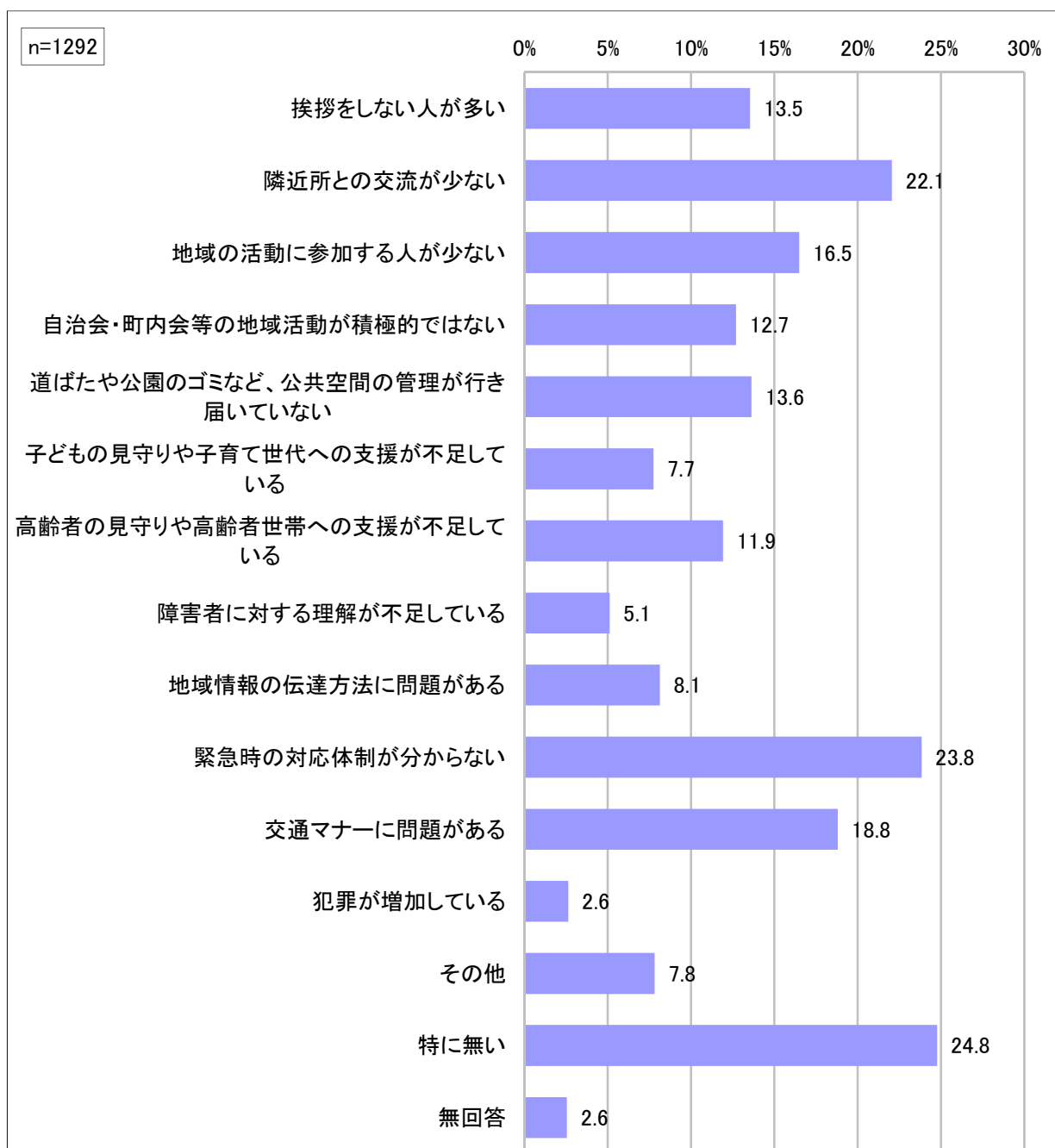
問17: あなたは地域で何らかの団体等に所属していますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	[地域団体] 自治会・町内会	483	37.4
2	[地域団体] 民生委員・児童委員	4	0.3
3	[地域団体] 消防団	2	0.2
4	[地域団体] 子ども会の役員等	13	1.0
5	[地域団体] 老人クラブ・老人会	80	6.2
6	[地域団体] 防犯・交通安全関係団体	25	1.9
7	[ボランティア団体] 子育て支援関係団体	12	0.9
8	[ボランティア団体] 高齢者支援関係団体	28	2.2
9	[ボランティア団体] 障害者支援関係団体	15	1.2
10	[ボランティア団体] 認知症サポーター	10	0.8
11	[趣味の団体] ラジオ体操、野球、バレーボール等の地域のスポーツ団体	112	8.7
12	[趣味の団体] 俳句や短歌、手芸等の活動団体	33	2.6
13	[趣味の団体] 囲碁・将棋等のゲームを行う活動団体	22	1.7
14	[趣味の団体] 地域の歴史等を研究する活動団体	9	0.7
15	その他	66	5.1
16	他地域の(または広域の)ボランティア団体	30	2.3
17	他地域の(または広域の)趣味の団体	76	5.9
18	特に無い	630	48.8
	無回答	135	10.4



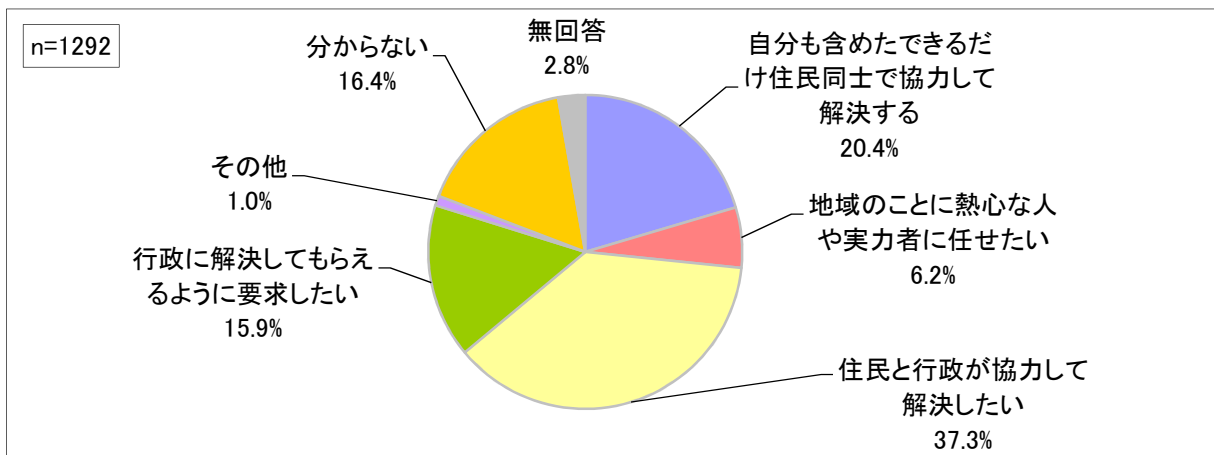
問18: あなたの住んでいる地域では、現在どのような問題があると感じていますか。当てはまる選択肢3つ以内に○を付けてください。（MA）

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	挨拶をしない人が多い	175	13.5
2	隣近所との交流が少ない	285	22.1
3	地域の活動に参加する人が少ない	213	16.5
4	自治会・町内会等の地域活動が積極的ではない	164	12.7
5	道ばたや公園のゴミなど、公共空間の管理が行き届いていない	176	13.6
6	子どもの見守りや子育て世代への支援が不足している	100	7.7
7	高齢者の見守りや高齢者世帯への支援が不足している	154	11.9
8	障害者に対する理解が不足している	66	5.1
9	地域情報の伝達方法に問題がある	105	8.1
10	緊急時の対応体制が分からない	308	23.8
11	交通マナーに問題がある	243	18.8
12	犯罪が増加している	34	2.6
13	その他	101	7.8
14	特に無い	320	24.8
	無回答	33	2.6



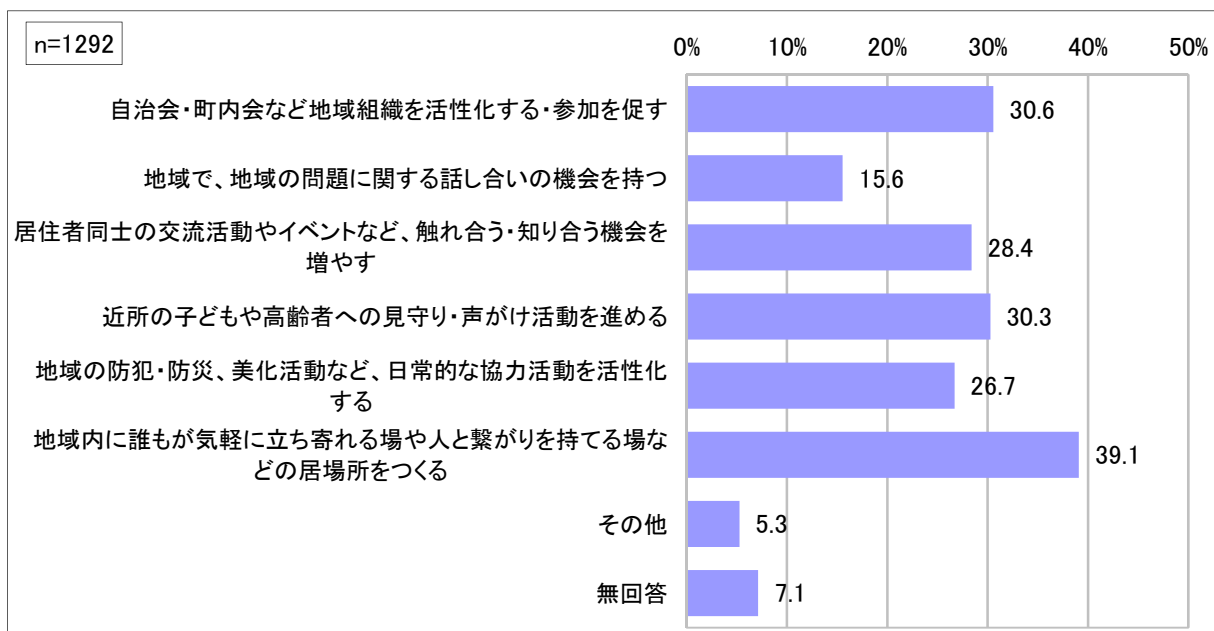
問19: 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	自分も含めたできるだけ住民同士で協力して解決する	264	20.4
2	地域のことに熱心な人や実力者に任せたい	80	6.2
3	住民と行政が協力して解決したい	482	37.3
4	行政に解決してもらえるように要求したい	205	15.9
5	その他	13	1.0
6	分からない	212	16.4
	無回答	36	2.8



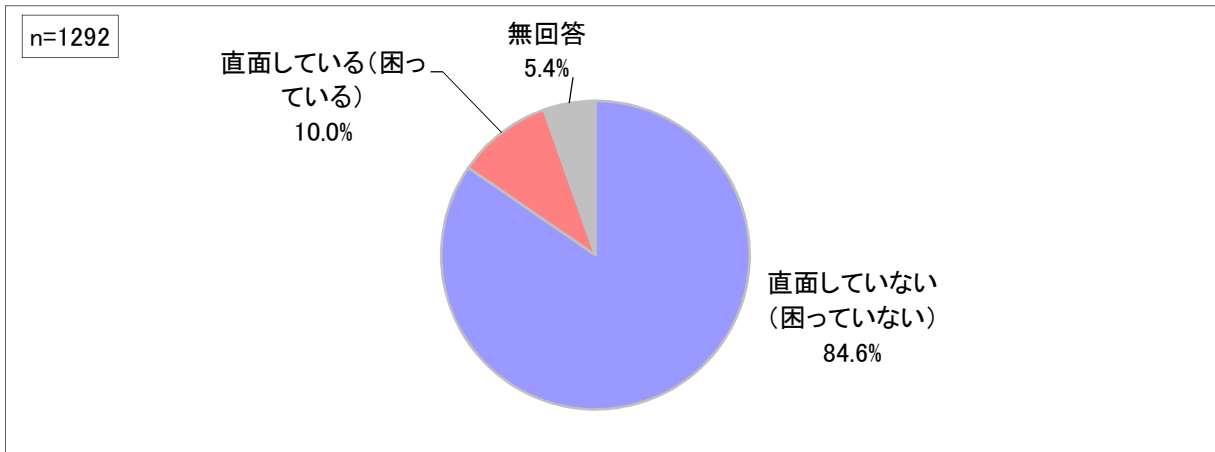
問20: あなたは地域の人々がお互いの支え合いを進めるためには、何が必要だと思いますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	自治会・町内会など地域組織を活性化する・参加を促す	395	30.6
2	地域で、地域の問題に関する話し合いの機会を持つ	201	15.6
3	居住者同士の交流活動やイベントなど、触れ合う・知り合う機会を増やす	367	28.4
4	近所の子どもや高齢者への見守り・声がけ活動を進める	391	30.3
5	地域の防犯・防災、美化活動など、日常的な協力活動を活性化	345	26.7
6	地域内に誰もが気軽に立ち寄れる場や人と繋がりを持てる場などの居場所をつくる	505	39.1
7	その他	68	5.3
	無回答	92	7.1



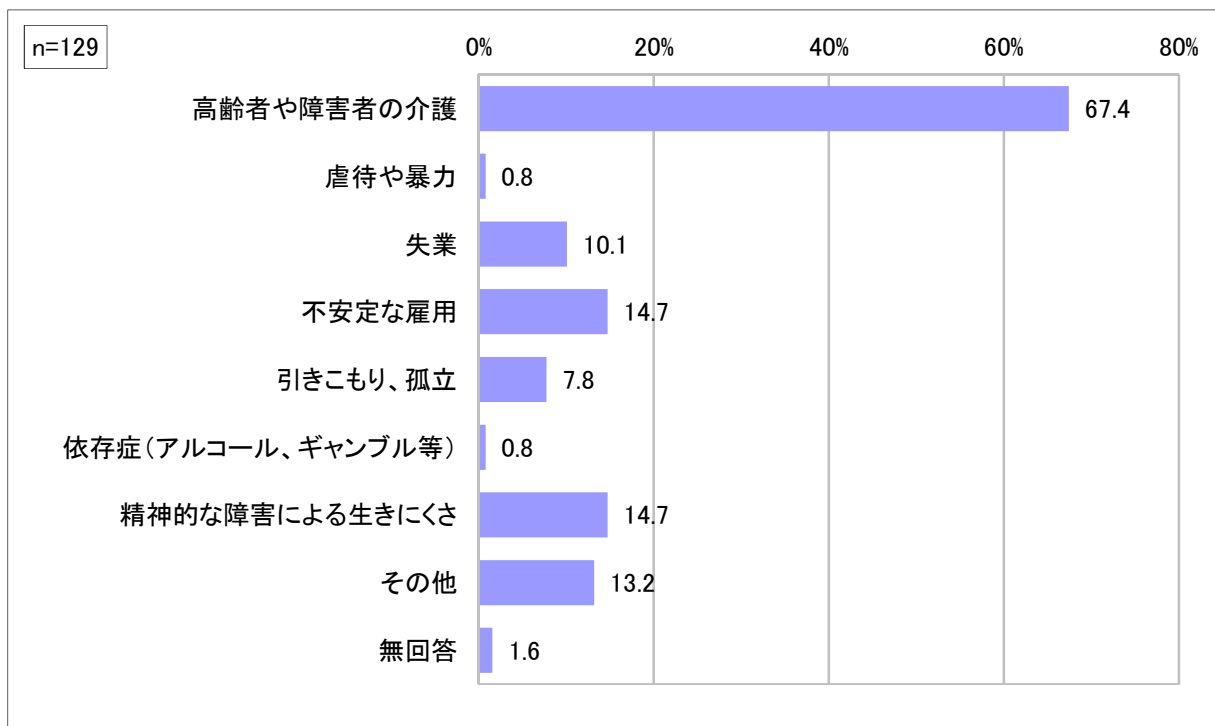
問21: 現在、あなたやご家族は、福祉に関する困りごとに直面していますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	直面していない(困っていない)	1093	84.6
2	直面している(困っている)	129	10.0
	無回答	70	5.4



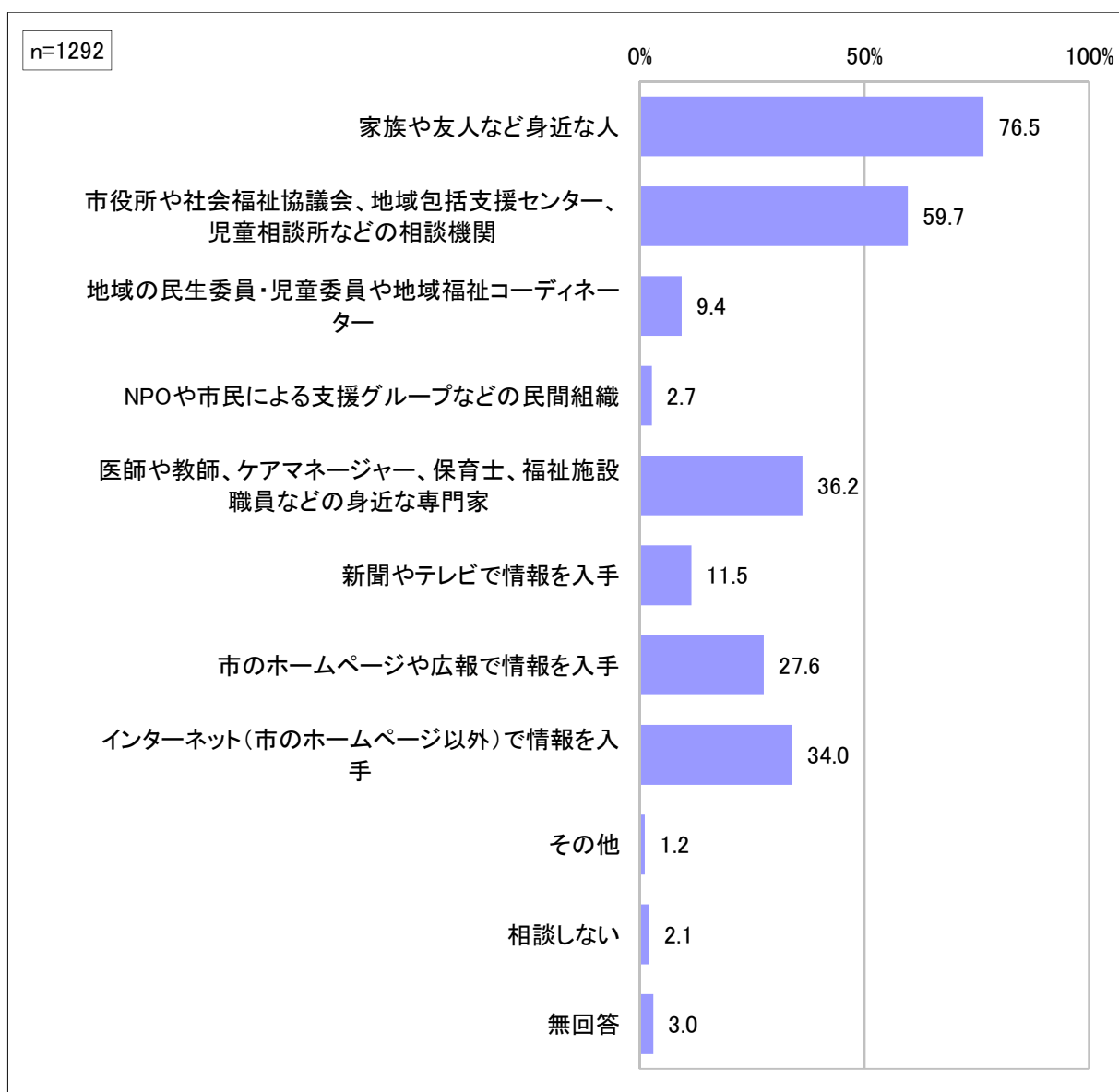
問22: 【問21で「2.直面している(困っている)」と回答の方】現在直面している福祉に関する困り事の内容は何ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けて下さい。(MA)

		回答数	%
	全体	129	100.0
1	高齢者や障害者の介護	87	67.4
2	虐待や暴力	1	0.8
3	失業	13	10.1
4	不安定な雇用	19	14.7
5	引きこもり、孤立	10	7.8
6	依存症(アルコール、ギャンブル等)	1	0.8
7	精神的な障害による生きにくさ	19	14.7
8	その他	17	13.2
	無回答	2	1.6



問23: あなたは、あなた自身や家族に福祉に関する困り事が起きた場合、誰に相談しますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

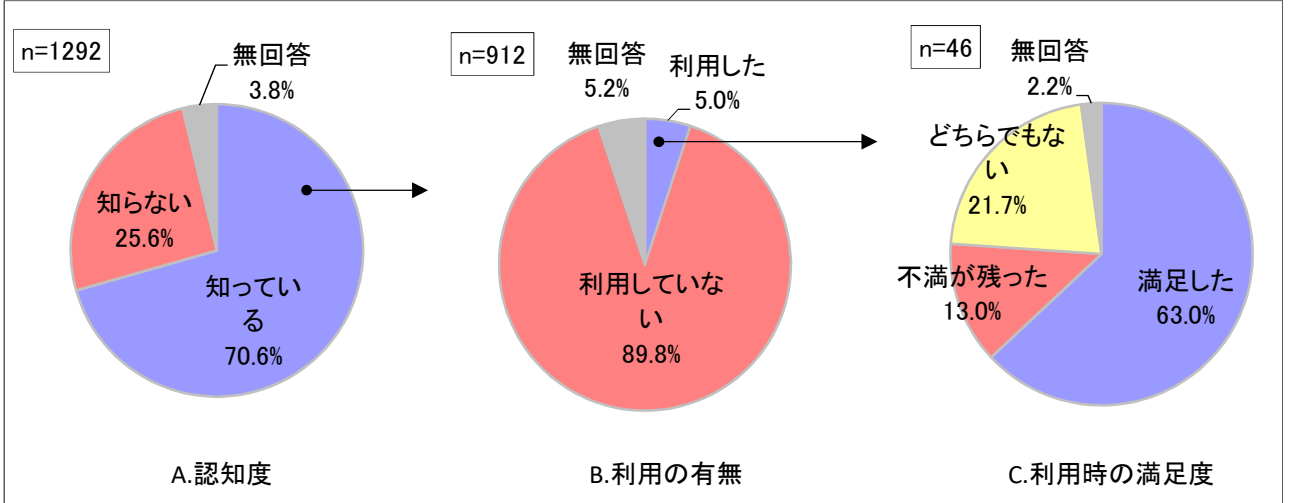
		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	家族や友人など身近な人	988	76.5
2	市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所などの相談機関	771	59.7
3	地域の民生委員・児童委員や地域福祉コーディネーター	121	9.4
4	NPOや市民による支援グループなどの民間組織	35	2.7
5	医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員などの身近な専門家	468	36.2
6	新聞やテレビで情報を入手	149	11.5
7	市のホームページや広報で情報を入手	357	27.6
8	インターネット(市のホームページ以外)で情報を入手	439	34.0
9	その他	15	1.2
10	相談しない	27	2.1
	無回答	39	3.0



問24: 昭島市には、さまざまな分野の困りごと相談窓口があることをご存知でしたか。「A.認知度」「B.利用の有無」「C.利用時の満足度」について、それぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

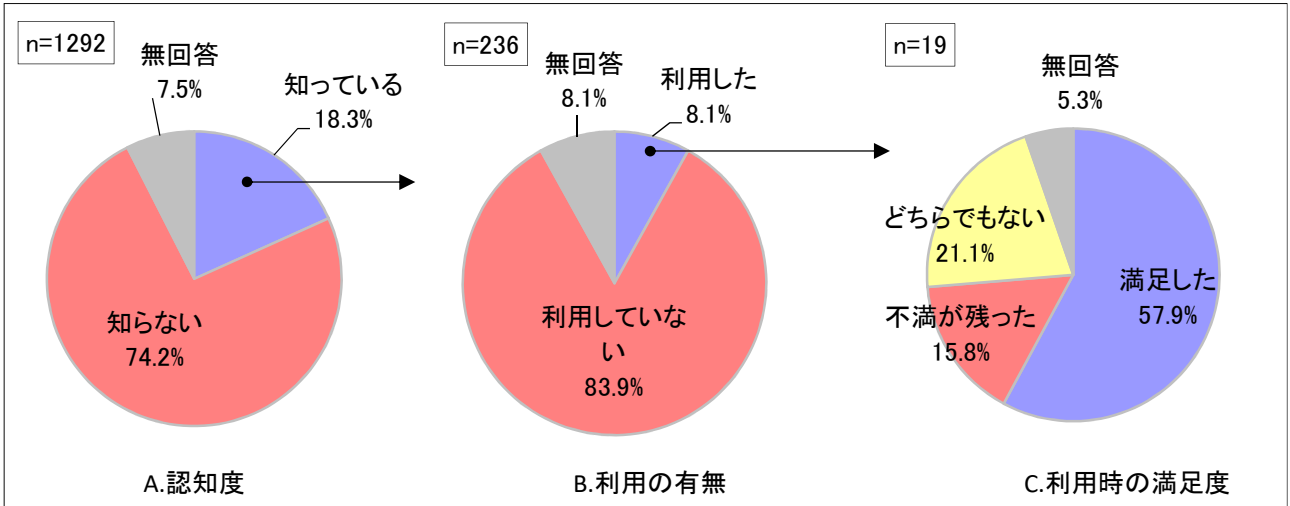
① 民生委員・児童委員

<認知度>			<利用の有無>			<満足度>		
	回答数	%		回答数	%		回答数	%
全体	1292	100.0	全体	912	100.0	全体	46	100.0
1 知っている	912	70.6	1 利用した	46	5.0	1 満足した	29	63.0
2 知らない	331	25.6	2 利用していない	819	89.8	2 不満が残った	6	13.0
無回答	49	3.8	無回答	47	5.2	3 どちらでもない	10	21.7
						無回答	1	2.2



② 地域福祉コーディネーター

<認知度>			<利用の有無>			<満足度>		
	回答数	%		回答数	%		回答数	%
全体	1292	100.0	全体	236	100.0	全体	19	100.0
1 知っている	236	18.3	1 利用した	19	8.1	1 満足した	11	57.9
2 知らない	959	74.2	2 利用していない	198	83.9	2 不満が残った	3	15.8
無回答	97	7.5	無回答	19	8.1	3 どちらでもない	4	21.1
						無回答	1	5.3

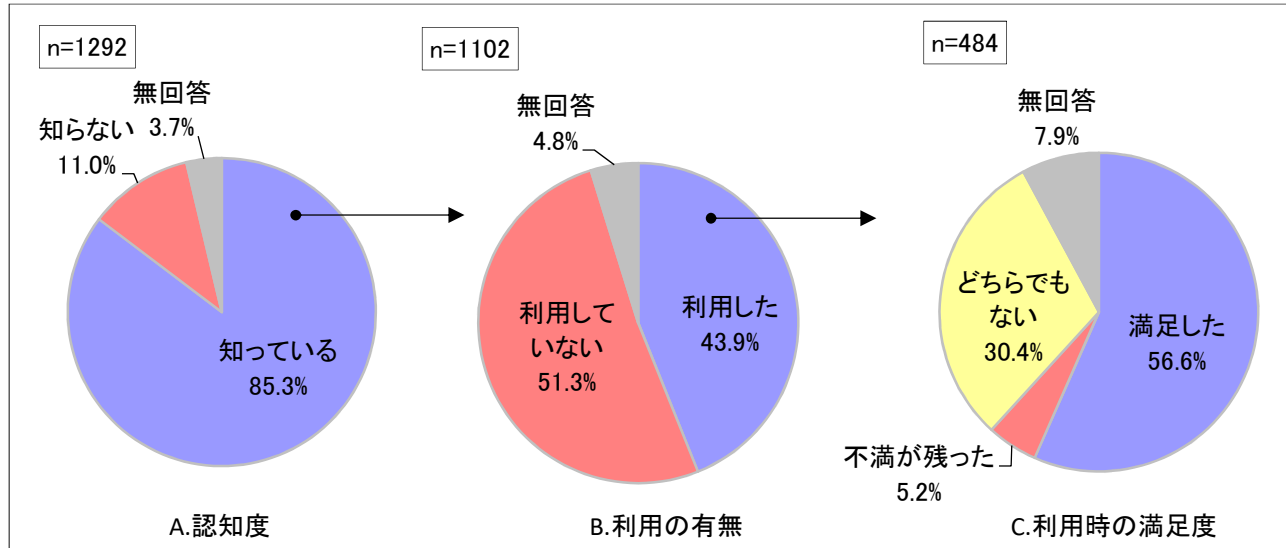


③保健福祉センター(あいぽっく)

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	1102	85.3
2	知らない	142	11.0
	無回答	48	3.7

<利用の有無>		回答数	%
全体		1102	100.0
1	利用した	484	43.9
2	利用していない	565	51.3
	無回答	53	4.8

<満足度>		回答数	%
全体		484	100.0
1	満足した	274	56.6
2	不満が残った	25	5.2
3	どちらでもない	147	30.4
	無回答	38	7.9

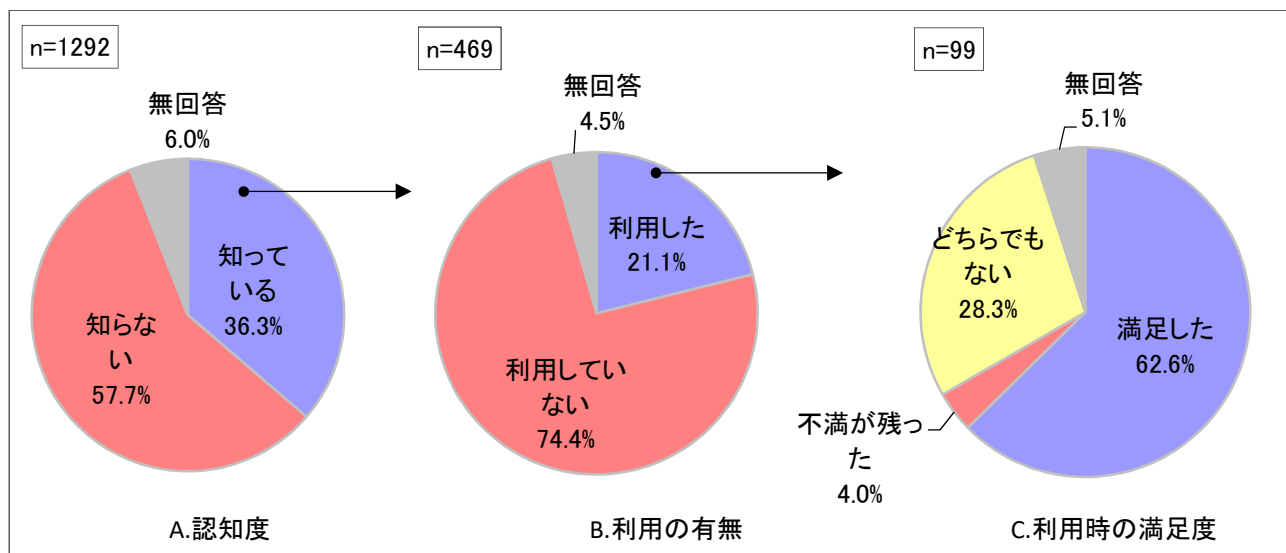


④地域包括支援センター

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	469	36.3
2	知らない	745	57.7
	無回答	78	6.0

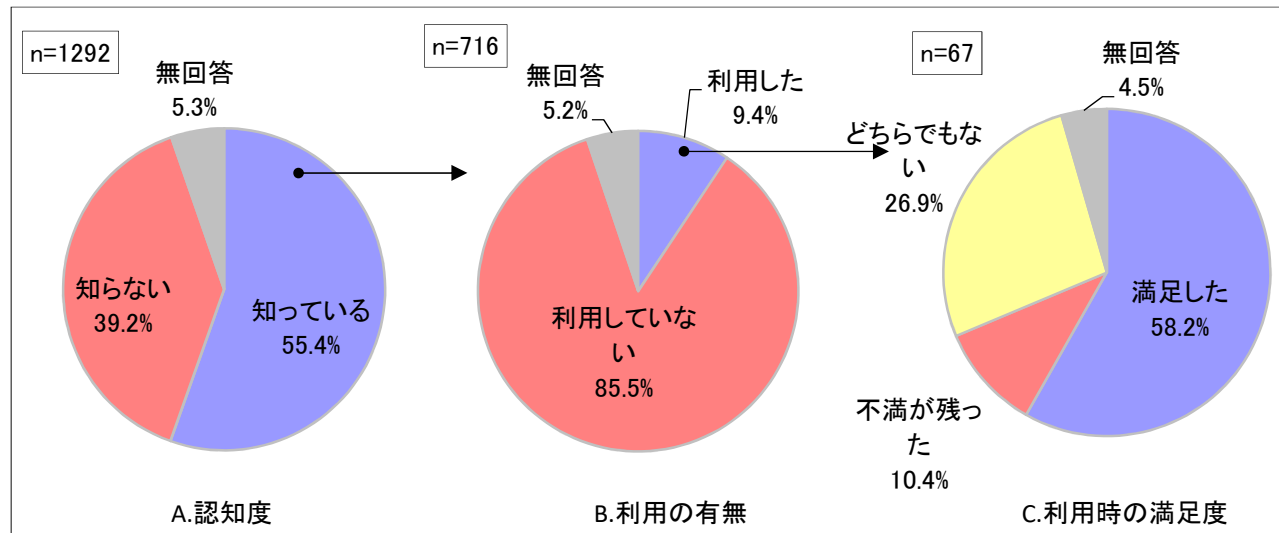
<利用の有無>		回答数	%
全体		469	100.0
1	利用した	99	21.1
2	利用していない	349	74.4
	無回答	21	4.5

<満足度>		回答数	%
全体		99	100.0
1	満足した	62	62.6
2	不満が残った	4	4.0
3	どちらでもない	28	28.3
	無回答	5	5.1



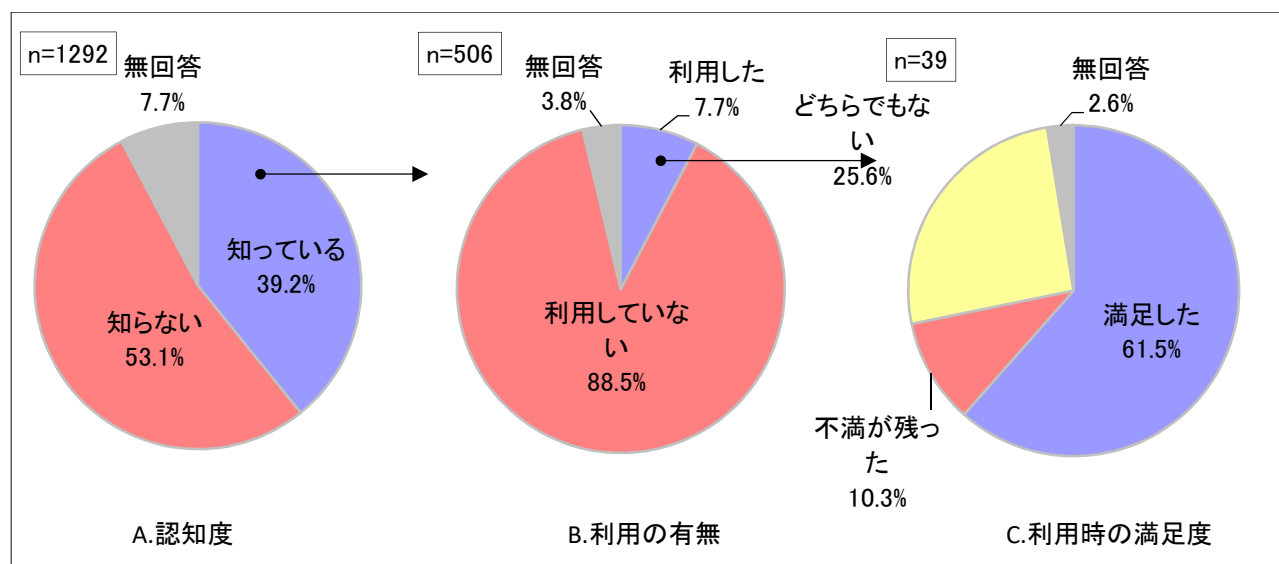
⑤社会福祉協議会

<認知度>			<利用の有無>			<満足度>		
	回答数	%		回答数	%		回答数	%
全体	1292	100.0	全体	716	100.0	全体	67	100.0
1 知っている	716	55.4	1 利用した	67	9.4	1 満足した	39	58.2
2 知らない	507	39.2	2 利用していない	612	85.5	2 不満が残った	7	10.4
無回答	69	5.3	無回答	37	5.2	3 どちらでもない	18	26.9
						無回答	3	4.5



⑥子ども家庭支援センター

<認知度>			<利用の有無>			<満足度>		
	回答数	%		回答数	%		回答数	%
全体	1292	100.0	全体	506	100.0	全体	39	100.0
1 知っている	506	39.2	1 利用した	39	7.7	1 満足した	24	61.5
2 知らない	686	53.1	2 利用していない	448	88.5	2 不満が残った	4	10.3
無回答	100	7.7	無回答	19	3.8	3 どちらでもない	10	25.6
						無回答	1	2.6

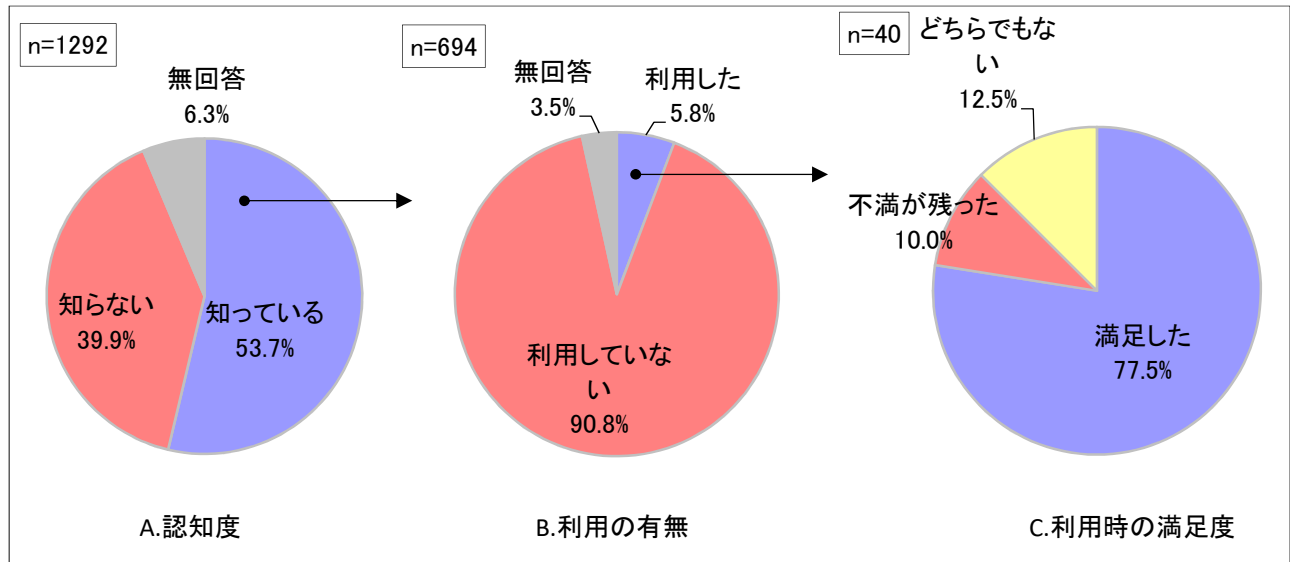


⑦消費生活センター

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	694	53.7
2	知らない	516	39.9
	無回答	82	6.3

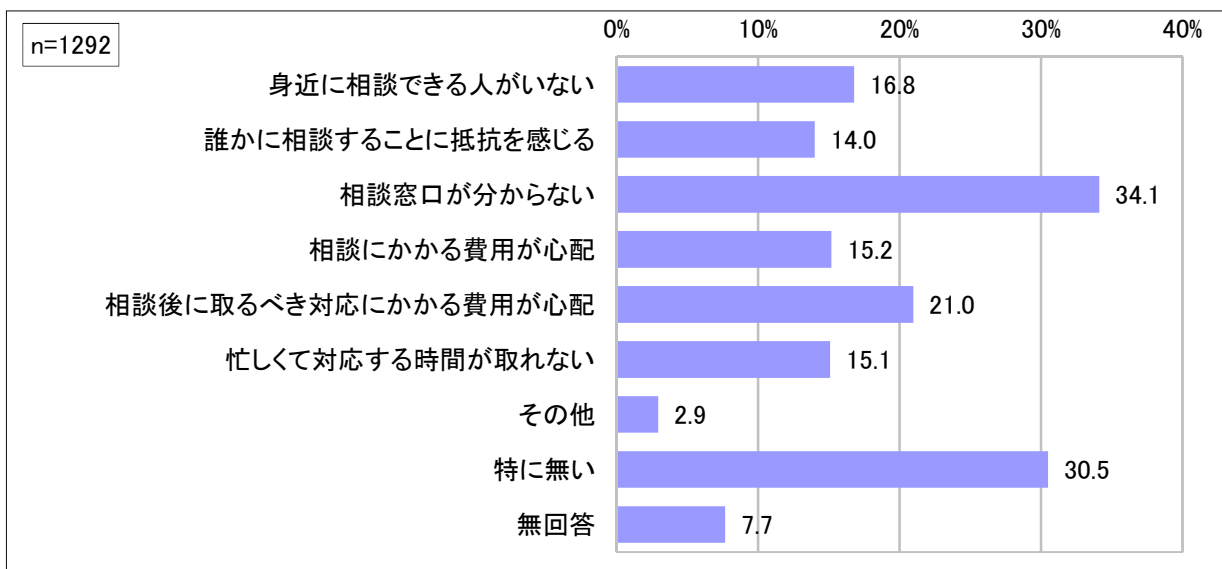
<利用の有無>		回答数	%
全体		694	100.0
1	利用した	40	5.8
2	利用していない	630	90.8
	無回答	24	3.5

<満足度>		回答数	%
全体		40	100.0
1	満足した	31	77.5
2	不満が残った	4	10.0
3	どちらでもない	5	12.5



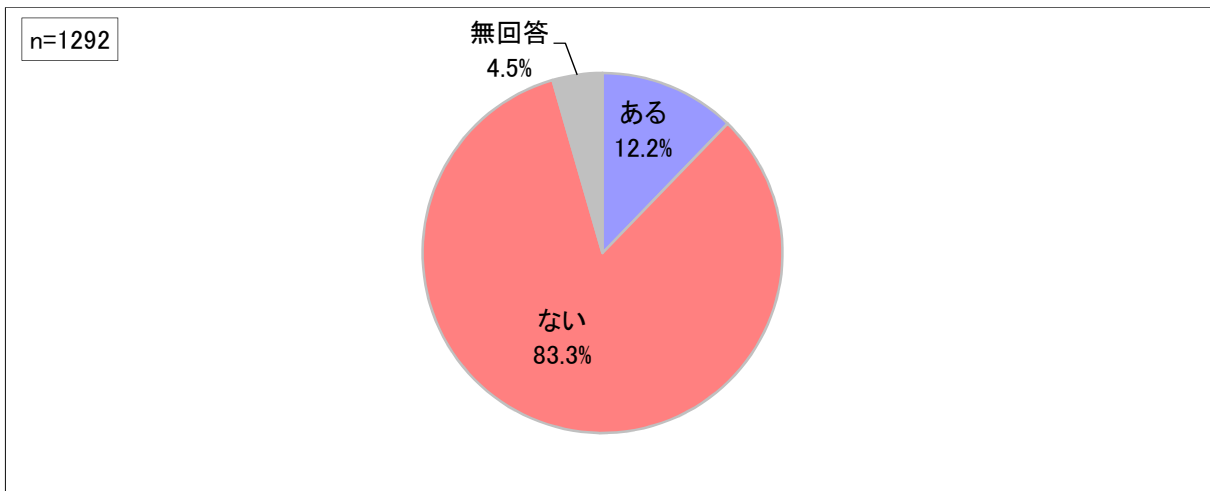
問25: 福祉に関する相談をしようとするとき、困ったこと、困りそうなことは何ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	身近に相談できる人がいない	217	16.8
2	誰かに相談することに抵抗を感じる	181	14.0
3	相談窓口が分からない	441	34.1
4	相談にかかる費用が心配	196	15.2
5	相談後に取りべき対応にかかる費用が心配	271	21.0
6	忙しくて対応する時間が取れない	195	15.1
7	その他	38	2.9
8	特に無い	394	30.5
	無回答	99	7.7



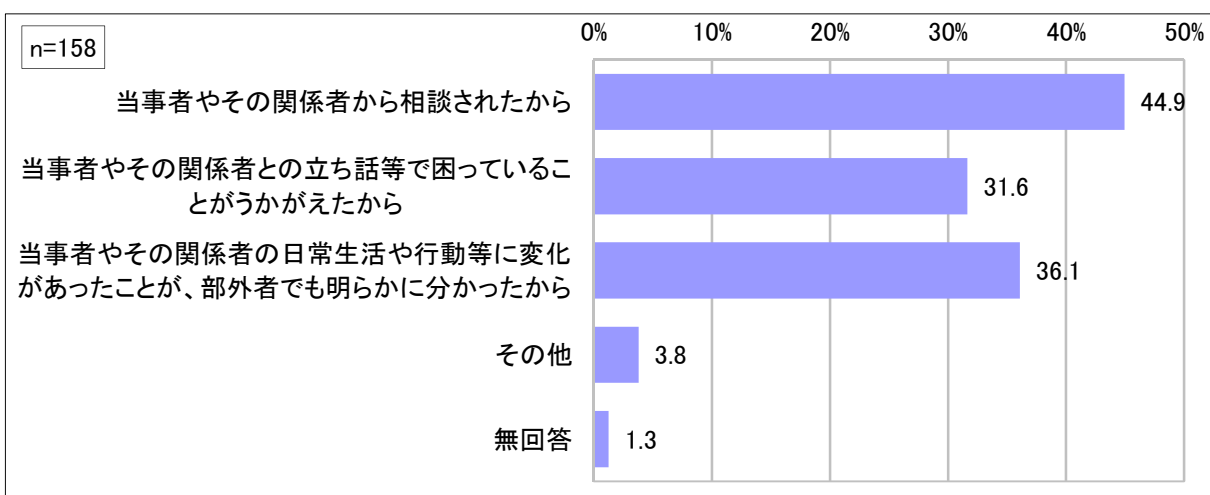
問26: あなたは今までに、ご近所の方が困っている事に気づかれたことはありますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	ある	158	12.2
2	ない	1076	83.3
	無回答	58	4.5



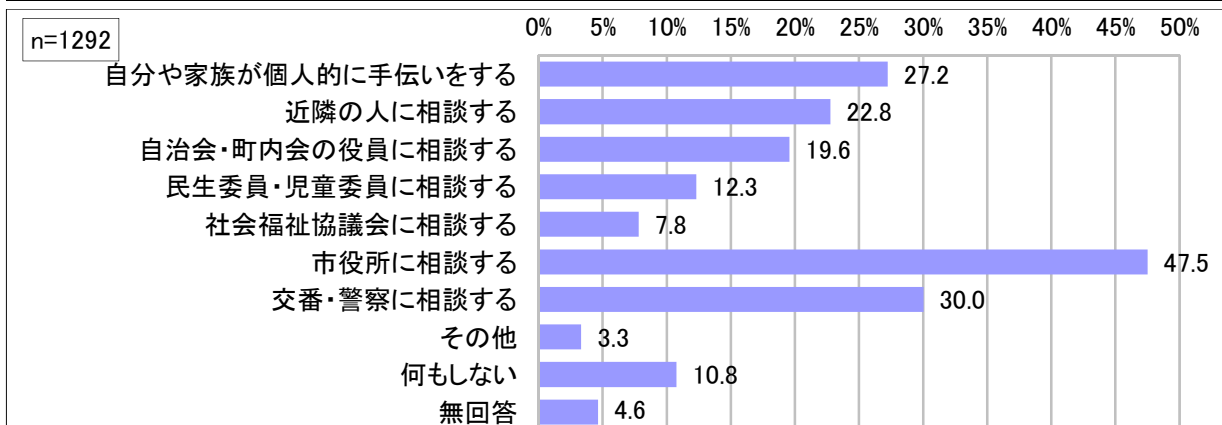
問27: 【問26で「1.ある」と回答の方】ご近所の方が困っていることをどのようにして知りましたか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	158	100.0
1	当事者やその関係者から相談されたから	71	44.9
2	当事者やその関係者との立ち話等で困っていることがうかがえたから	50	31.6
3	当事者やその関係者の日常生活や行動等に変化があったことが、部外者でも明らかに分かったから	57	36.1
4	その他	6	3.8
	無回答	2	1.3



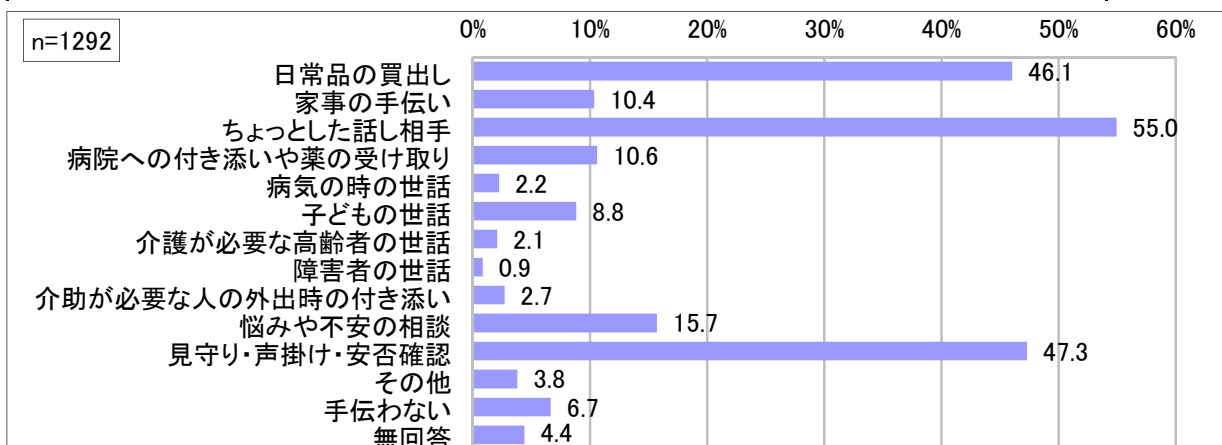
問28:ご近所の方が困り事を抱えていることがわかった場合、あなたはどのようにしますか。当てはまる選択肢3つ以内に○を付けてください。(MA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	自分や家族が個人的に手伝いをする	352	27.2
2	近隣の人に相談する	294	22.8
3	自治会・町内会の役員に相談する	253	19.6
4	民生委員・児童委員に相談する	159	12.3
5	社会福祉協議会に相談する	101	7.8
6	市役所に相談する	614	47.5
7	交番・警察に相談する	388	30.0
8	その他	43	3.3
9	何もしない	139	10.8
	無回答	60	4.6



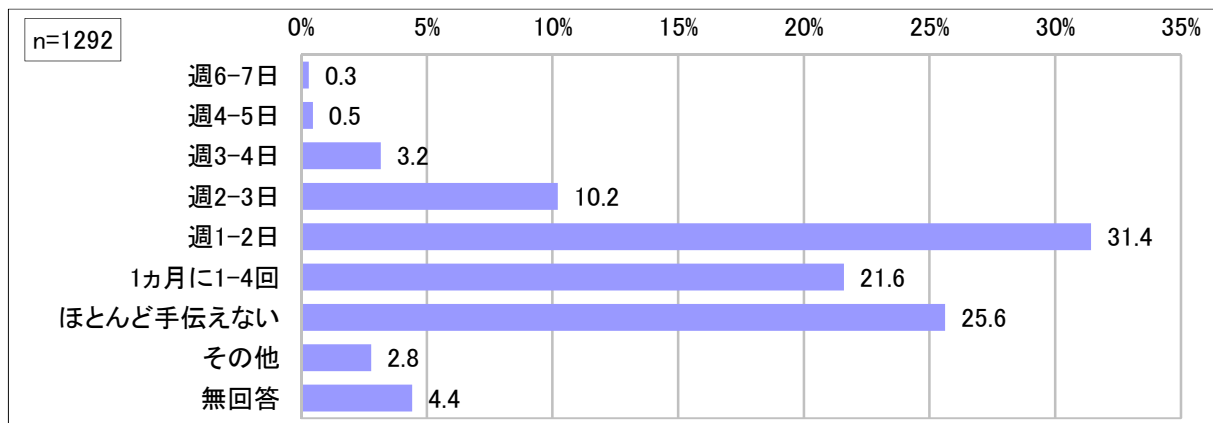
問29:ご近所の方からお手伝いをお願いされた場合、あなたが手伝えると思う範囲について当てはまるものは何ですか。当てはまる選択肢3つ以内に○を付けてください。(MA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	日常品の買出し	595	46.1
2	家事の手伝い	134	10.4
3	ちょっとした話し相手	710	55.0
4	病院への付き添いや薬の受け取り	137	10.6
5	病気の時の世話	29	2.2
6	子どもの世話	114	8.8
7	介護が必要な高齢者の世話	27	2.1
8	障害者の世話	11	0.9
9	介助が必要な人の外出時の付き添い	35	2.7
10	悩みや不安の相談	203	15.7
11	見守り・声掛け・安否確認	611	47.3
12	その他	49	3.8
13	手伝わない	86	6.7
	無回答	57	4.4



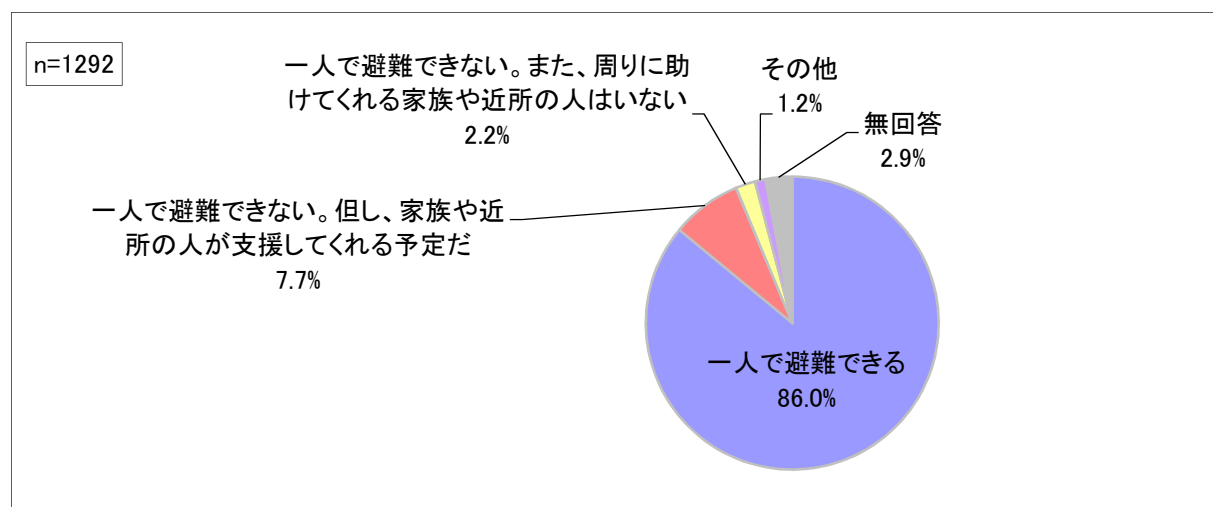
問30: ご近所の方からお手伝いをお願いされた場合、あなたが手伝えると思う頻度について当てはまるものは何ですか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	週6-7日	4	0.3
2	週4-5日	6	0.5
3	週3-4日	41	3.2
4	週2-3日	132	10.2
5	週1-2日	406	31.4
6	1ヵ月に1-4回	279	21.6
7	ほとんど手伝えない	331	25.6
8	その他	36	2.8
	無回答	57	4.4



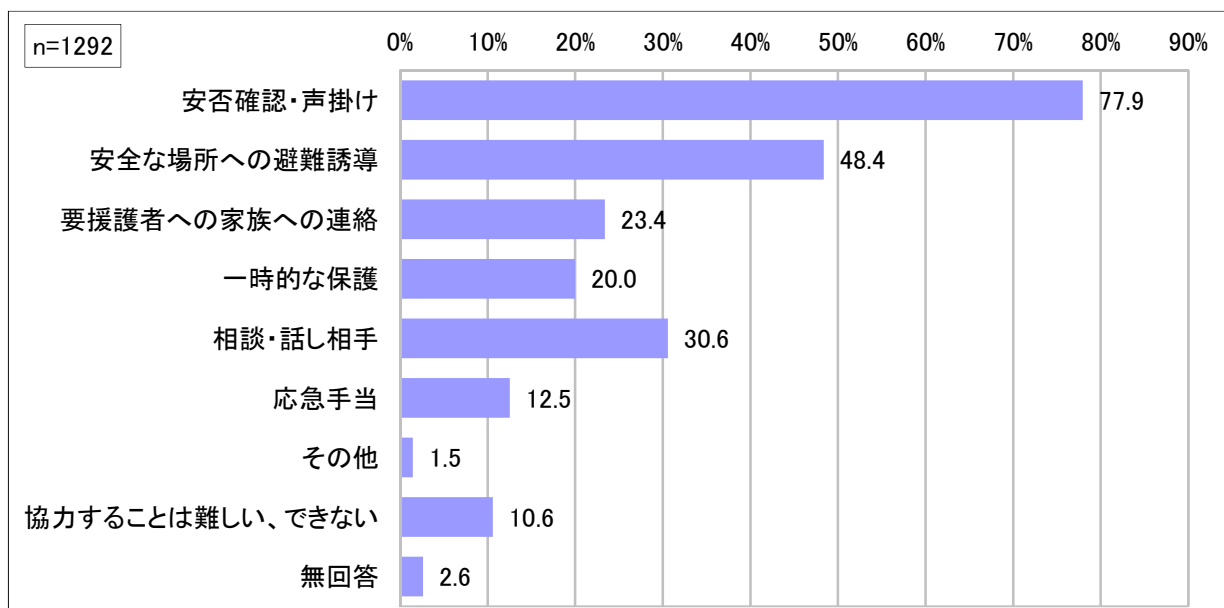
問31: あなたは、災害が発生した時に一人で避難できますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

		回答数	%
全体		1292	100.0
1	一人で避難できる	1111	86.0
2	一人で避難できない。但し、家族や近所の人々が支援してくれる予定だ	100	7.7
3	一人で避難できない。また、周りに助けてくれる家族や近所の人はいない	28	2.2
4	その他	15	1.2
	無回答	38	2.9



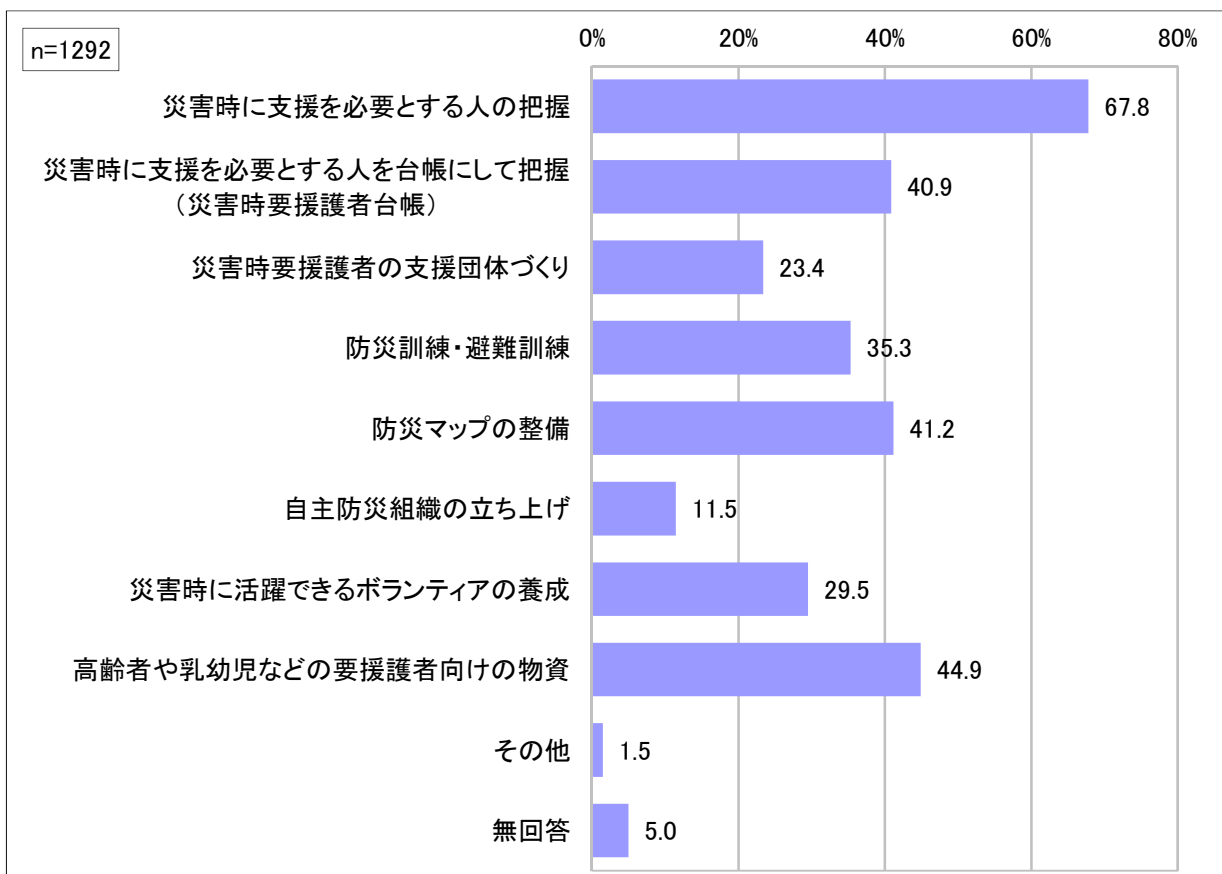
問32: 災害が発生した時に、ご近所にお住まいで地域の介助や手助け等の支援を必要とする方のためにあなたがしてあげられることはありますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	安否確認・声掛け	1007	77.9
2	安全な場所への避難誘導	625	48.4
3	要援護者への家族への連絡	302	23.4
4	一時的な保護	258	20.0
5	相談・話し相手	395	30.6
6	応急手当	162	12.5
7	その他	19	1.5
8	協力することは難しい、できない	137	10.6
	無回答	34	2.6



問33: 災害時に支援を必要とする人への支援策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。(MA)

		回答数	%
	全体	1292	100.0
1	災害時に支援を必要とする人の把握	876	67.8
2	災害時に支援を必要とする人を台帳にして把握(災害時要援護者台帳)	528	40.9
3	災害時要援護者の支援団体づくり	302	23.4
4	防災訓練・避難訓練	456	35.3
5	防災マップの整備	532	41.2
6	自主防災組織の立ち上げ	148	11.5
7	災害時に活躍できるボランティアの養成	381	29.5
8	高齢者や乳幼児などの要援護者向けの物資	580	44.9
9	その他	19	1.5
	無回答	64	5.0

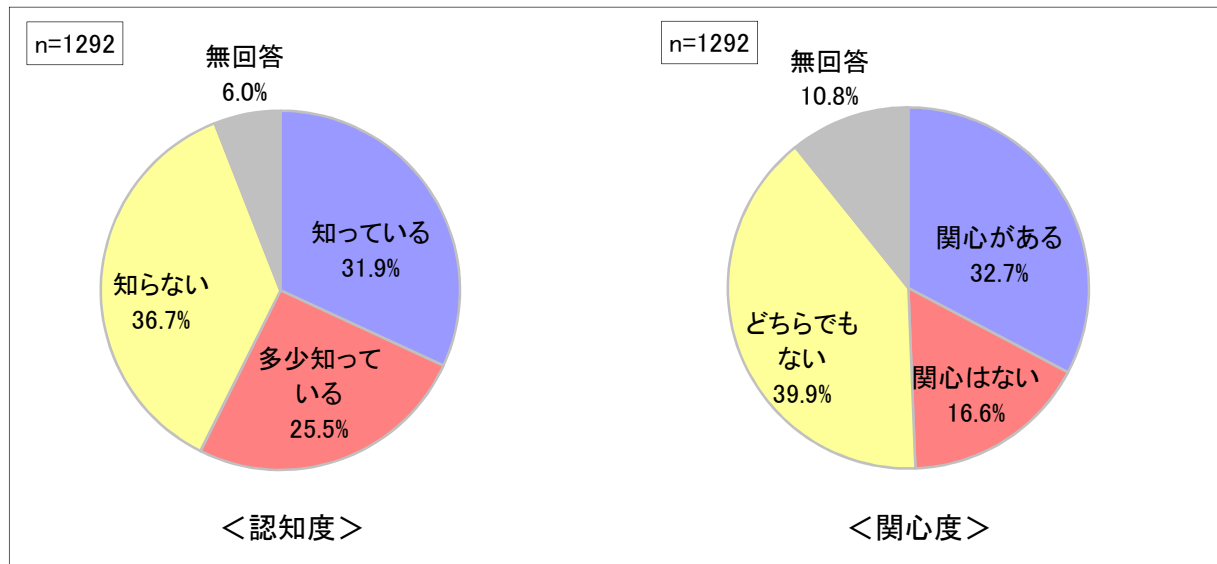


問35-A.1:市が取り組んでいる下記の1～14の施策の「A.認知度」について、それぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(SA)

①【健康・医療】健康づくりの推進

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	412	31.9
2	多少知っている	329	25.5
3	知らない	474	36.7
	無回答	77	6.0

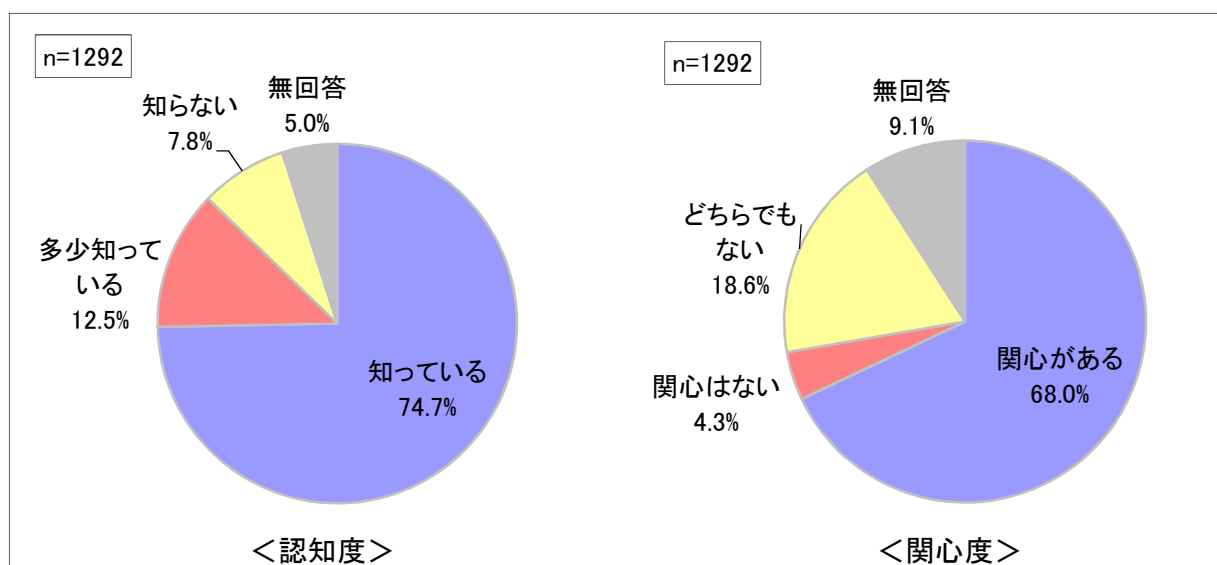
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	423	32.7
2	関心はない	215	16.6
3	どちらでもない	515	39.9
	無回答	139	10.8



②【健康・医療】保健・予防対策の推進

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	965	74.7
2	多少知っている	162	12.5
3	知らない	101	7.8
	無回答	64	5.0

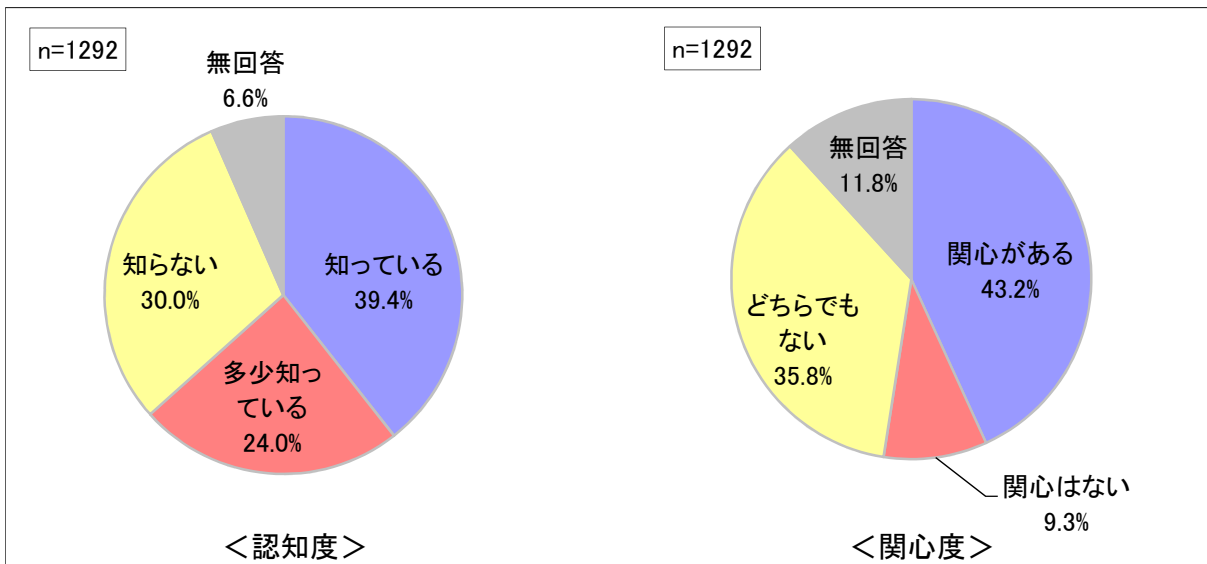
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	878	68.0
2	関心はない	56	4.3
3	どちらでもない	240	18.6
	無回答	118	9.1



③【健康・医療】医療体制の整備

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	509	39.4
2	多少知っている	310	24.0
3	知らない	388	30.0
	無回答	85	6.6

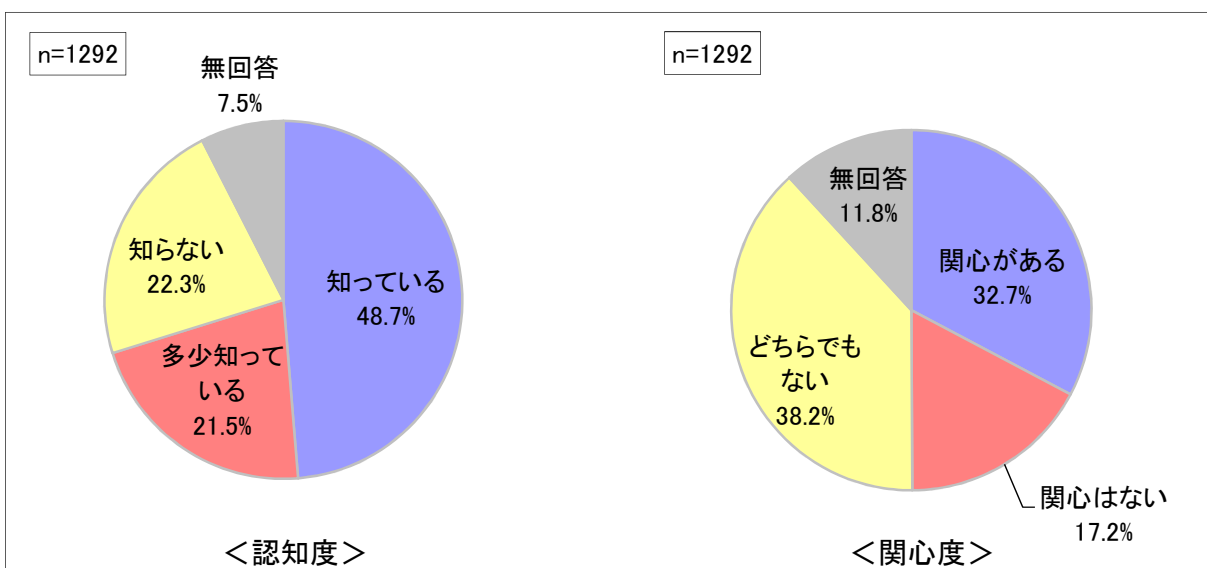
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	558	43.2
2	関心はない	120	9.3
3	どちらでもない	462	35.8
	無回答	152	11.8



④【児童福祉】子育て家庭への支援

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	629	48.7
2	多少知っている	278	21.5
3	知らない	288	22.3
	無回答	97	7.5

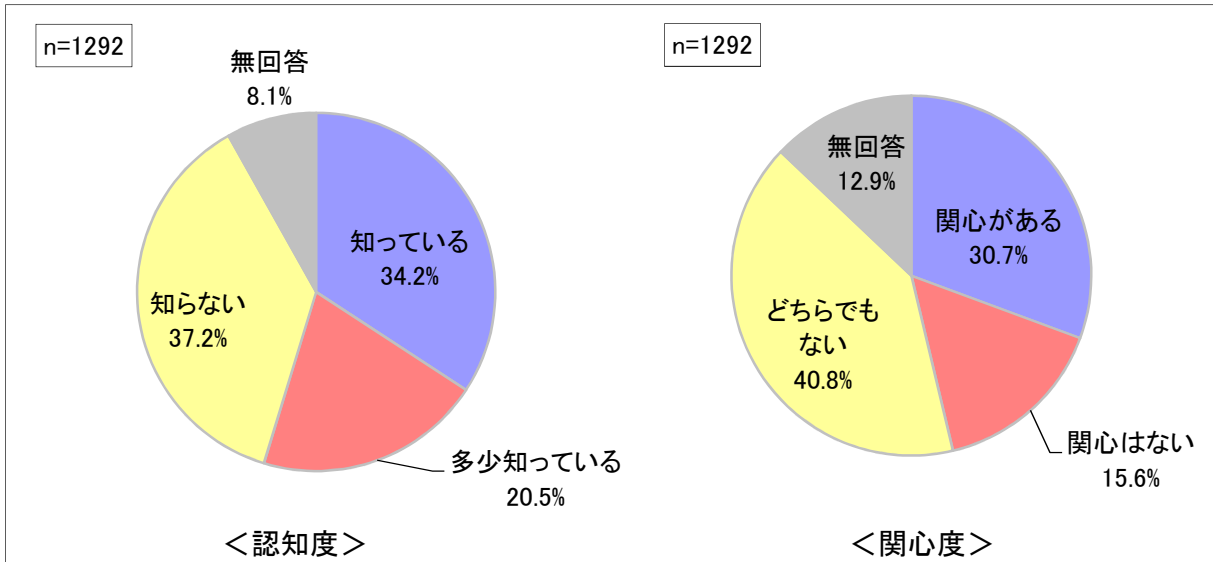
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	423	32.7
2	関心はない	222	17.2
3	どちらでもない	494	38.2
	無回答	153	11.8



⑤【児童福祉】児童の健全育成

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	442	34.2
2	多少知っている	265	20.5
3	知らない	480	37.2
	無回答	105	8.1

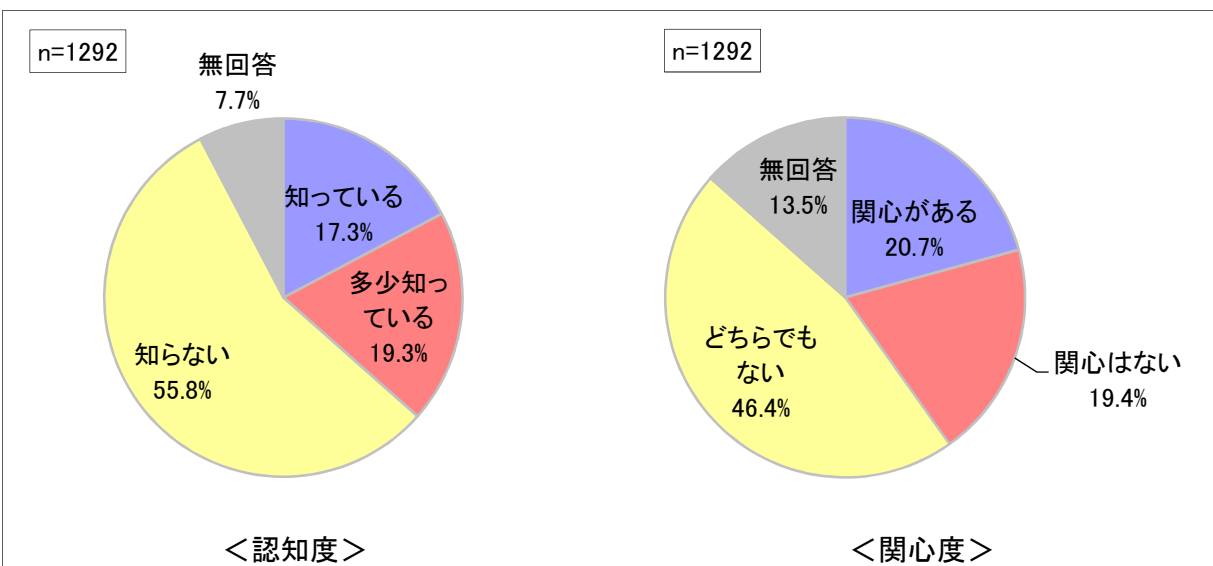
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	396	30.7
2	関心はない	202	15.6
3	どちらでもない	527	40.8
	無回答	167	12.9



⑥【児童福祉】ひとり親家庭への自立支援

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	223	17.3
2	多少知っている	249	19.3
3	知らない	721	55.8
	無回答	99	7.7

<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	268	20.7
2	関心はない	251	19.4
3	どちらでもない	599	46.4
	無回答	174	13.5

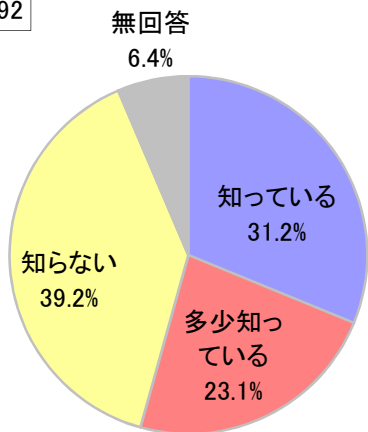


⑦【高齢者福祉】介護保険事業

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	403	31.2
2	多少知っている	299	23.1
3	知らない	507	39.2
	無回答	83	6.4

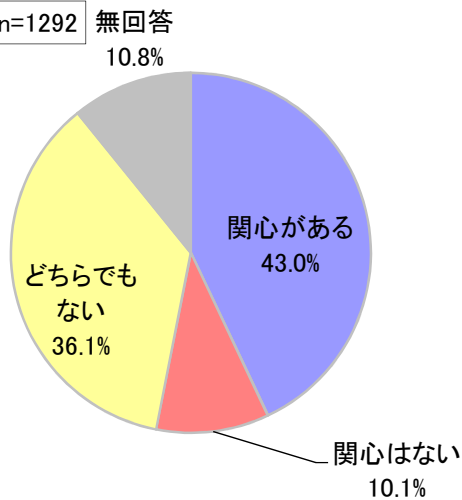
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	555	43.0
2	関心はない	131	10.1
3	どちらでもない	466	36.1
	無回答	140	10.8

n=1292



<認知度>

n=1292



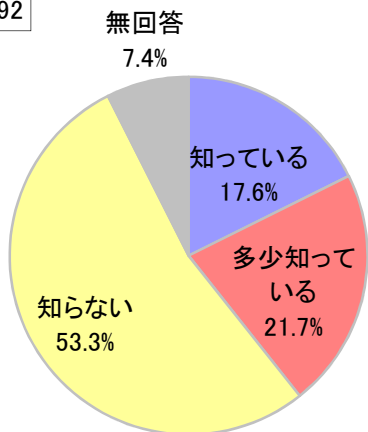
<関心度>

⑧【高齢者福祉】社会参加への支援

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	228	17.6
2	多少知っている	280	21.7
3	知らない	688	53.3
	無回答	96	7.4

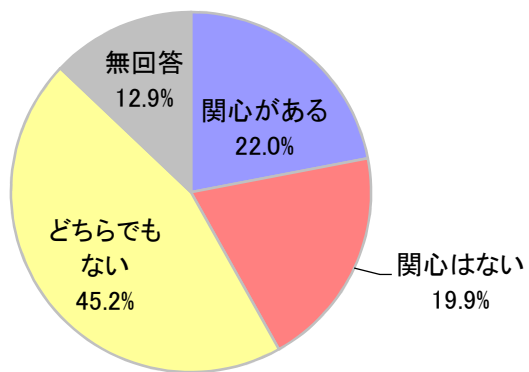
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	284	22.0
2	関心はない	257	19.9
3	どちらでもない	584	45.2
	無回答	167	12.9

n=1292



<認知度>

n=1292



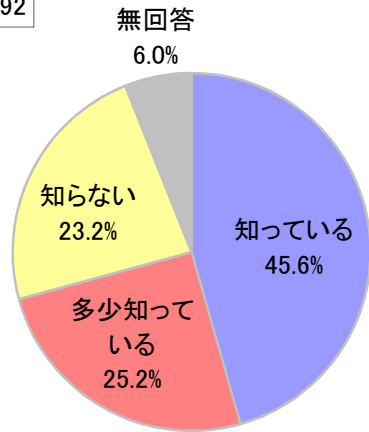
<関心度>

⑨【高齢者福祉】尊厳ある暮らしへの支援

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	589	45.6
2	多少知っている	325	25.2
3	知らない	300	23.2
	無回答	78	6.0

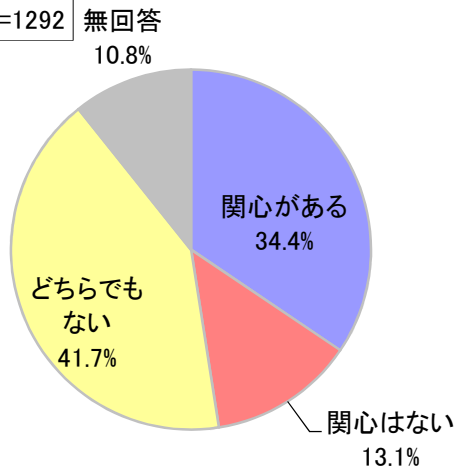
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	445	34.4
2	関心はない	169	13.1
3	どちらでもない	539	41.7
	無回答	139	10.8

n=1292



<認知度>

n=1292



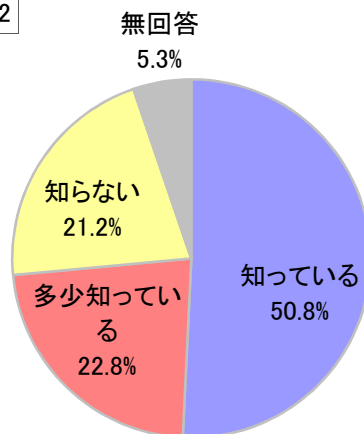
<関心度>

⑩【高齢者福祉】高齢者福祉サービスの充実

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	656	50.8
2	多少知っている	294	22.8
3	知らない	274	21.2
	無回答	68	5.3

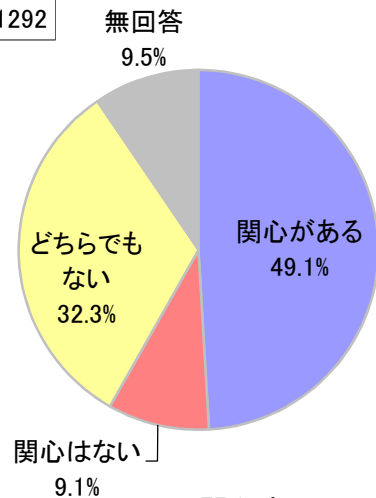
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	634	49.1
2	関心はない	118	9.1
3	どちらでもない	417	32.3
	無回答	123	9.5

n=1292



<認知度>

n=1292

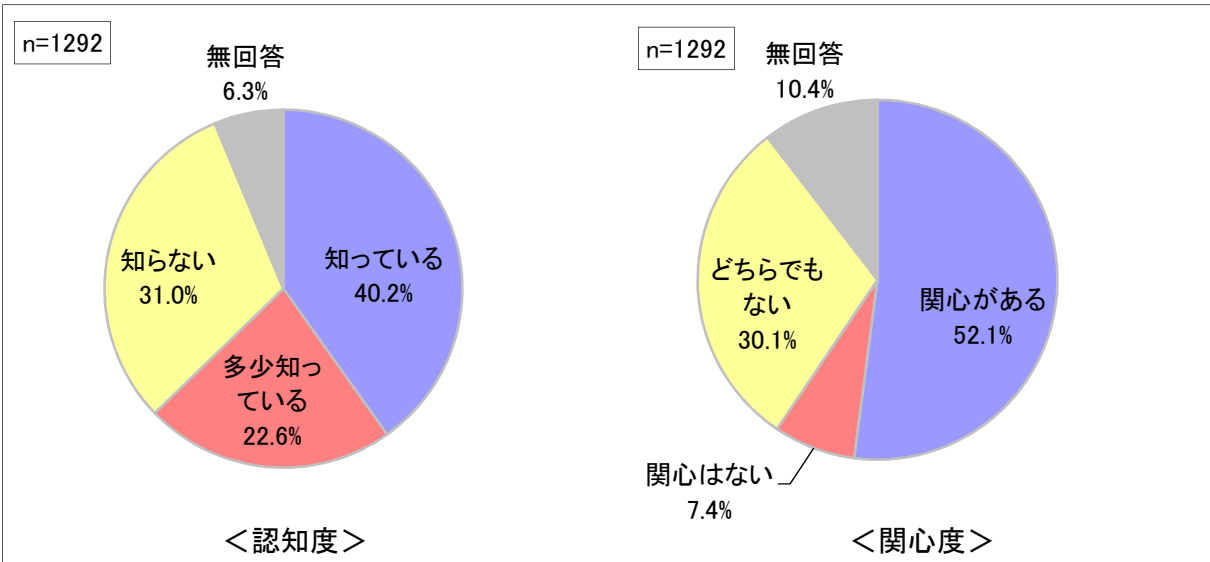


<関心度>

⑪【障害者福祉】保健医療の充実

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	519	40.2
2	多少知っている	292	22.6
3	知らない	400	31.0
	無回答	81	6.3

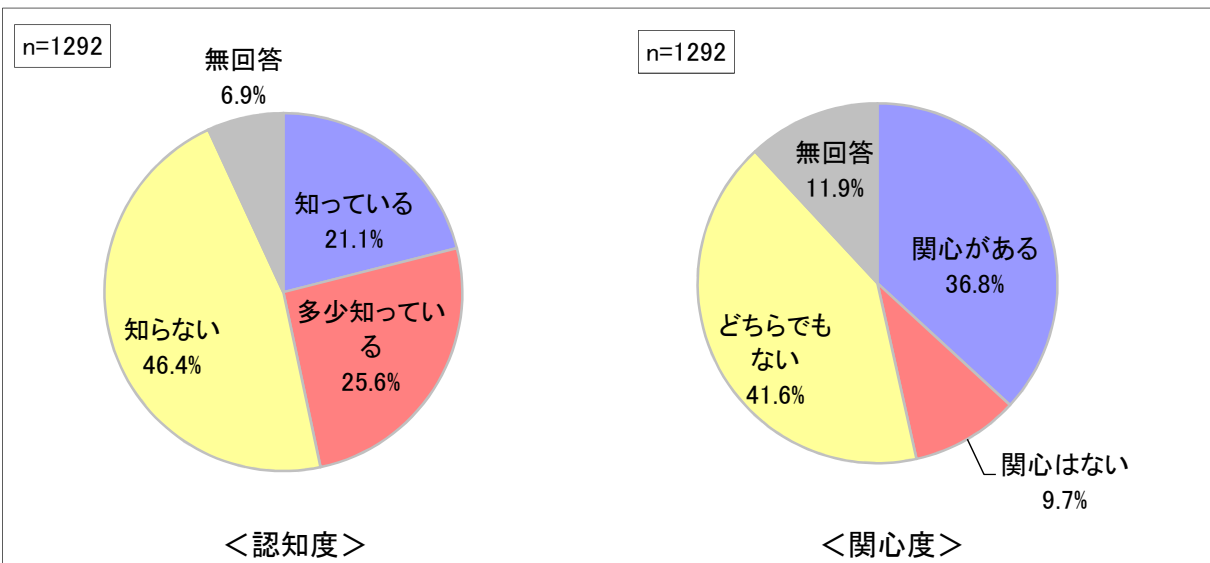
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	673	52.1
2	関心はない	95	7.4
3	どちらでもない	389	30.1
	無回答	135	10.4



⑫【障害者福祉】社会的自立への支援

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	272	21.1
2	多少知っている	331	25.6
3	知らない	600	46.4
	無回答	89	6.9

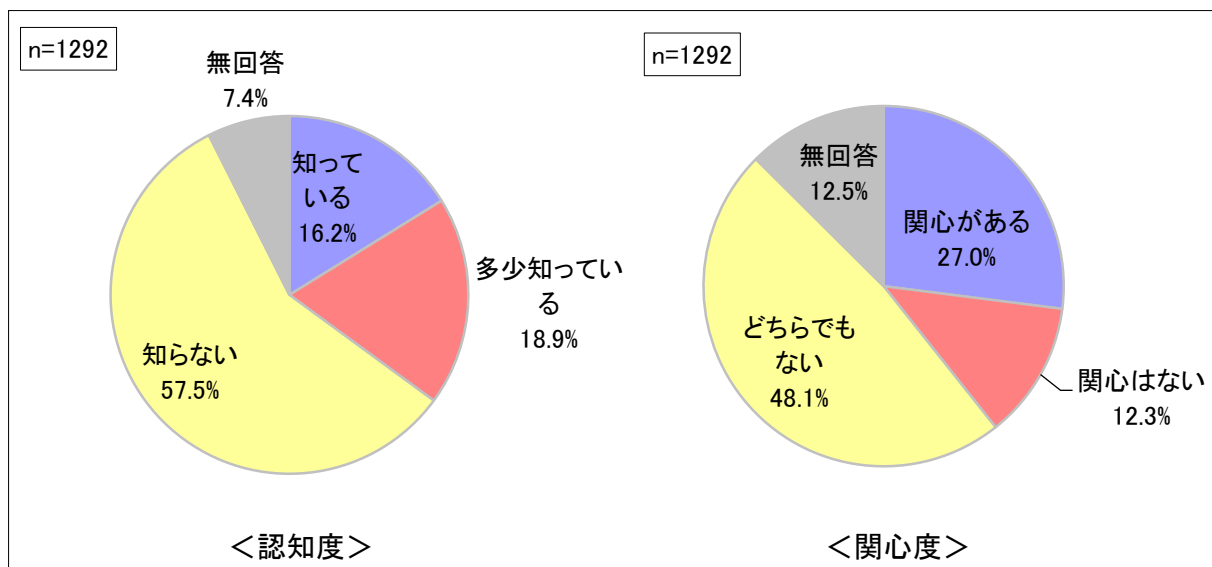
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	476	36.8
2	関心はない	125	9.7
3	どちらでもない	537	41.6
	無回答	154	11.9



⑬【障害者福祉】自立に向けた基盤の整備

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	209	16.2
2	多少知っている	244	18.9
3	知らない	743	57.5
	無回答	96	7.4

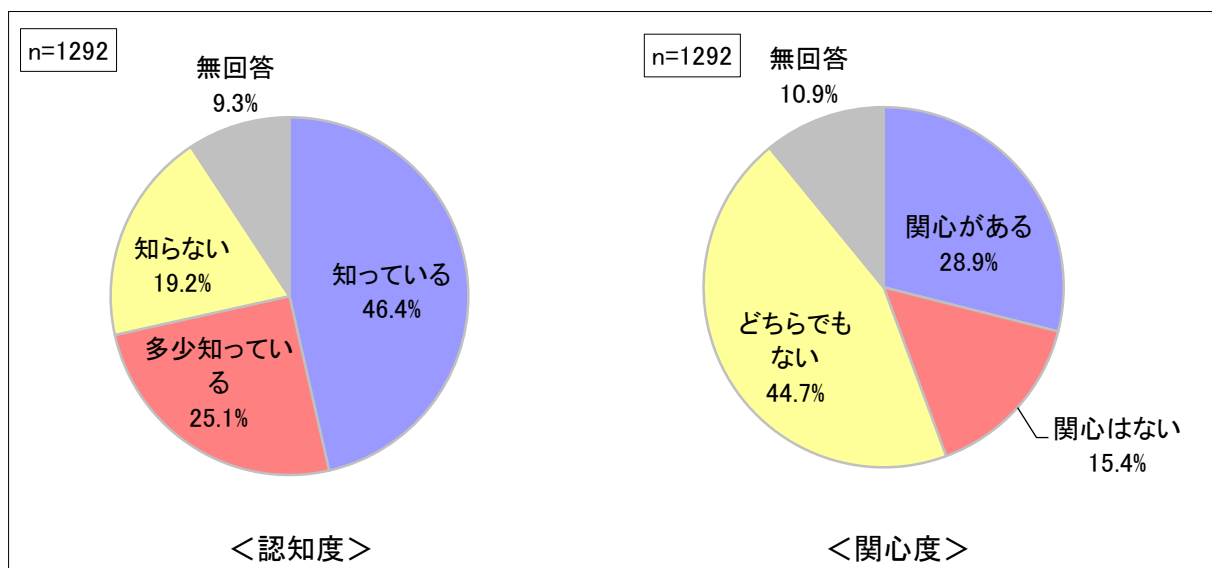
<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	349	27.0
2	関心はない	159	12.3
3	どちらでもない	622	48.1
	無回答	162	12.5



⑭生活の支援・保護

<認知度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	知っている	600	46.4
2	多少知っている	324	25.1
3	知らない	248	19.2
	無回答	120	9.3

<関心度>		回答数	%
全体		1292	100.0
1	関心がある	374	28.9
2	関心はない	199	15.4
3	どちらでもない	578	44.7
	無回答	141	10.9



4. 調査票

「昭島市地域福祉計画」策定に向けた 地域福祉に関する市民アンケート

日頃から市政へのご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

市では、このたび平成 29 年度から 2 ヶ年で「昭島市地域福祉計画」を策定することとなりました。

地域福祉計画とは、高齢者や障害者、子育て世帯も含めた市民の皆様が日頃から住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民同士でお互いに助け合い・支え合うと共に、市民と福祉関係者、行政がお互いに協力し合い地域の課題を解決していくための取組や体制について定める計画です。

このため、本計画の策定に先立ち、市民の皆様の地域福祉に関する意向を把握することを目的とした調査を、アンケート形式により実施いたします。このアンケート調査の対象者は、住民基本台帳に登録された満 18 歳以上の市民の方から、3,000 名を無作為に抽出しております。いただいた回答の結果は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。

つきましてはご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、各設問内容にご回答の上、**平成 29 年 10 月 16 日（月）**までに、同封の返信用封筒にてお近くの郵便ポストにご投函くださいますようお願い申し上げます。

ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

平成 29 年 9 月

昭島市長 臼 井 伸 介

■連絡・お問い合わせ先■

昭島市 保健福祉部 生活福祉課 地域福祉計画担当
電話：042-544-5111 内線 2125 Fax：042-546-8855

■ご記入にあたってのお願い■

1. ご回答は、このアンケートのあて名のご本人がご記入ください。
何らかの理由であて名のご本人が記入できない場合は、ご家族や介護者等の代理の方が、ご本人の意思に沿うよう代筆いただいても構いません。
2. 回答はわかる範囲でこの冊子に直接ご記入ください。
回答方法は、それぞれの設問の文末に記入しています。
(例：当てはまる選択肢 1 つに○をつけてください)
3. 回答欄に書ききれない場合は、1 2 ページの自由意見欄に記入してください。
4. ご回答いただく上で不明な点や質問等がございましたら、前ページの
■連絡・お問い合わせ先■までお問い合わせください。

■本調査は、パソコンやスマートフォンからも回答できます■

パソコンやスマートフォンから回答する場合

- ・ 下記 URL、または QR コードからアクセスいただくと、WEB 版からの回答が可能です。表示に従って回答を入力してください。
- ・ 途中保存はできません。回答には 20 分程度かかりますので、できればお時間の余裕がある際にご回答ください。
- ・ WEB 版からご回答された方は、本調査票を郵送していただく必要はございません。

WEB 版の URL

https://questant.jp/q/akishima_chiiki-fukushi

QR コード



1. 回答者ご本人についてお聞きします

問1：あなたの性別について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2：あなたの年齢について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～34歳 |
| 3. 35～44歳 | 4. 45～54歳 |
| 5. 55～64歳 | 6. 65～74歳 |
| 7. 75～84歳 | 8. 85歳以上 |

問3：あなたの職業について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自営業・家族従業 | 2. 会社員・団体職員・公務員 |
| 3. アルバイト・パートタイマー | 4. 学生 |
| 5. 無職（主婦・主夫）を含む | 6. 年金生活者 |
| 7. その他（具体的に： | ） |

問4：あなたが同居する家族の構成について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ |
| 3. 夫婦と子（未成年） | 4. 夫婦と子（成人） |
| 5. ひとり親と子（未成年） | 6. ひとり親と子（成人） |
| 7. 3世代（親・子・孫） | 8. 兄弟、もしくは親・子以外の親族 |
| 9. その他（具体的に： | ） |

問5：昭島市での居住年数について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 7. 30年以上 | 8. 生まれてからずっと |

問6：昭島市での今後の定住意向について、当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. どちらかといえは住み続けたい |
| 3. 市内で転居したい | 4. 市外へ転出したい |
| 5. わからない | |

2. 地域での日常生活についてお聞きします

■外出先や頻度についてお聞きします■

問7：普段、買物や散歩、通勤通学を含め、外出はどの程度していますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 週6－7日 | 2. 週4－5日 |
| 3. 週3－4日 | 4. 週2－3日 |
| 5. 週1－2日 | 6. 1ヶ月に1－4回 |
| 7. ほとんど外出しない | |
| 8. その他（具体的に： | ） |

問 8 : 外出先としてよく行く場所はどこですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 職場・学校 | 2. 市内の商店・スーパー |
| 3. 市外の商店・スーパー | 4. 病院・診療所 |
| 5. 図書館やスポーツセンター等の公共施設 | 6. 公共施設以外で趣味等の活動を行う場 |
| 7. 別居の家族の家 | 8. 友人の家 |
| 9. その他（具体的に： | ） |

問 9 : 市内を移動する時によく利用する交通手段はなんですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自家用車（自分で運転する） |
| 5. 自家用車（家族の車にのせてもらう） | 6. 自家用車（友人の車にのせてもらう） |
| 7. タクシー | 8. バス |
| 9. 電車 | 10. 福祉移送サービス |
| 11. その他（具体的： | ） |

問 10 : あなたは、外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。当てはまる選択肢 1つ に○を付けてください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 外出を諦めたことはない（困りごとはない） | → 問 13 にお進み下さい |
| 2. 外出を諦めたことがある | → |



問 11 : 問 10 で「2. 外出を諦めたことがある」と答えた方にお聞きします。
外出を諦めたのはどのような理由ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. ベビーベッド、ベビーチェア等の乳幼児向けの設備が少ないから | |
| 2. 車椅子利用者等に対応している多目的トイレが少ないから | |
| 3. 目的地までの移動手段が無いから | |
| 4. 階段などの段差が多く、移動が難しいから | |
| 5. ベンチや公園など、一休みできる場所が少ないから | |
| 6. 外出のための交通費や入場料等の費用がかかり負担とを感じるから | |
| 7. 自分にとって心理的に気軽に外かけることができる場所が無いから | |
| 8. でかける機会やきっかけが無いから | |
| 9. 人目が気になるから | |
| 10. その他（具体的に： | ） |

問 12 : 問 10 で「2. 外出を諦めたことがある」と答えた方にお聞きします。
諦めた外出先が具体的にありましたら、下記の枠内にご記入下さい。

■ご近所づきあいについてお聞きします■

「ご近所づきあい」の範囲は、おおよそ自治会・町内会程度の範囲を想定してご回答下さい。

問 13：ご近所づきあいで、次のような方はいますか。下記のA－Dでそれぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------|
| A. 親しく交流する人----- | 1. いる | 2. いない |
| B. 世間話をするくらいの交流のある人----- | 1. いる | 2. いない |
| C. 顔を合わせれば挨拶するくらいの人----- | 1. いる | 2. いない |
| D. 交流は無いが顔を見れば近所に住んでいると分かる人--- | 1. いる | 2. いない |

問 14：ご近所の方との今後のおつきあいについて、どのようにお考えですか。下記のA－Dでそれぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

A. 親しく交流する人

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. もっと増やしたい | 2. 現状のままで良い |
| 3. もっと減らしたい | 4. お付き合いはしたくない |
| 5. わからない | |

B. 世間話をするくらいの交流のある人

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. もっと増やしたい | 2. 現状のままで良い |
| 3. もっと減らしたい | 4. お付き合いはしたくない |
| 5. わからない | |

C. 顔を合わせれば挨拶するくらいの人

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. もっと増やしたい | 2. 現状のままで良い |
| 3. もっと減らしたい | 4. お付き合いはしたくない |
| 5. わからない | |

D. 交流は無いが顔を見れば近所に住んでいると分かる人

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. もっと増やしたい | 2. 現状のままで良い |
| 3. もっと減らしたい | 4. お付き合いはしたくない |
| 5. わからない | |

問 15：ご近所の方とのお付き合いは必要だと思いますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

1. 必要だと思う 2. 多少は必要だと思う

-----> 問 16 にお進み下さい

3. あまり必要だとは思わない 4. 必要ない 5. 分からない

↓

問 17 にお進み下さい

問 16 : 問 15 で「1. 必要だと思う」「2. 多少は必要だと思う」と答えた方にお聞きします。どのような時にご近所とのお付き合いが必要だと感じますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

1. 火災や地震などのとき
2. 家を留守にするとき
3. 地域の活動に参加したいとき
4. 家族の介護・介助を一時的にできなくなったとき
5. 子どもの預かりが必要となったとき
6. その他（具体的に： _____）

3. 地域活動や地域での問題・課題についてお聞きします

■あなたが参加する地域活動やボランティア活動等についてお聞きします■

問 17 : あなたは地域で何らかの団体等に所属していますか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

【地域団体】

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 自治会・町内会 | 2. 民生委員・児童委員 |
| 3. 消防団 | 4. 子ども会の役員等 |
| 5. 老人クラブ・老人会 | 6. 防犯・交通安全関係団体 |

【ボランティア団体】

- | | |
|--------------|--------------|
| 7. 子育て支援関係団体 | 8. 高齢者支援関係団体 |
| 9. 障害者支援関係団体 | 10. 認知症サポーター |

【趣味の団体】

11. ラジオ体操、野球、バレーボール等の地域のスポーツ団体
12. 俳句や短歌、手芸等の活動団体
13. 囲碁・将棋等のゲームを行う活動団体
14. 地域の歴史等を研究する活動団体

【その他】

15. その他（具体的に： _____）
16. 他地域の（または広域の）ボランティア団体
18. 他地域の（または広域の）趣味の団体
19. 特に無い

■地域での問題課題やその解決方法等についてお聞きします■

問 18：あなたの住んでいる地域では、現在どのような問題があると感じていますか。当てはまる
選択肢3つ以内に○を付けてください。

1. 挨拶をしない人が多い
2. 隣近所との交流が少ない
3. 地域の活動に参加する人が少ない
4. 自治会・町内会等の地域活動が積極的ではない
5. 道ばたや公園のゴミなど、公共空間の管理が行き届いていない
6. 子どもの見守りや子育て世代への支援が不足している
7. 高齢者の見守りや高齢者世帯への支援が不足している
8. 障害者に対する理解が不足している
9. 地域情報の伝達方法に問題がある
10. 緊急時の対応体制が分からない
11. 交通マナーに問題がある
12. 犯罪が増加している
13. その他（具体的に： _____）
14. 特に無い

問 19：日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。
当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

1. 自分も含めたできるだけ住民同士で協力して解決する
2. 地域のことに熱心な人や実力者に任せたい
3. 住民と行政が協力して解決したい
4. 行政に解決してもらえるように要求したい
5. その他（具体的に： _____）
6. 分からない

問 20：あなたは地域の人々がお互いの支え合いを進めるためには、何が必要だと思いますか。当
てはまる選択肢全てに○を付けてください。

1. 自治会・町内会など地域組織を活性化する・参加を促す
2. 地域で、地域の問題に関する話し合いの機会を持つ
3. 居住者同士の交流活動やイベントなど、触れ合う・知り合う機会を増やす
4. 近所の子どもや高齢者への見守り・声かけ活動を進める
5. 地域の防犯・防災、美化活動など、日常的な協力活動を活性化する
6. 地域内に誰もが気軽に立ち寄れる場や人と繋がりを持てる場などの居場所をつくる
7. その他（具体的に： _____）

4. 福祉に関して自分やご近所の方が困ったときの対応についてお聞きします

■あなた自身が困ったときの対応についてお聞きします■

問 21：現在、あなたやご家族は、福祉に関する困りごとに直面していますか。当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

1. 直面していない (困っていない) 一一→ 問 23 にお進み下さい
2. 直面している (困っている) 一一



問 22：問 21 で「2. 直面している（困っている）」と回答された方にお聞きします。現在直面している福祉に関する困り事の内容は何ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けて下さい。

1. 高齢者や障害者の介護
2. 虐待や暴力
3. 失業
4. 不安定な雇用
5. 引きこもり、孤立
6. 依存症（アルコール、ギャンブル等）
7. 精神的な障害による生きにくさ
8. その他（具体的に：

問 23：あなたは、あなた自身や家族に福祉に関する困り事が起きた場合、誰に相談しますか。当
てはまる選択肢全てに○を付けてください。

1. 家族や友人など身近な人
2. 市役所や社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童相談所などの相談機関
3. 地域の民生委員・児童委員や地域福祉コーディネーター
4. NPO や市民による支援グループなどの民間組織
5. 医師や教師、ケアマネージャー、保育士、福祉施設職員などの身近な専門家
6. 新聞やテレビで情報を入手
7. 市のホームページや広報で情報を入手
8. インターネット（市のホームページ以外）で情報を入手
9. その他（具体的に： _____）
10. 相談しない

問 24：昭島市には、さまざまな分野の困りごとの相談窓口があることをご存知でしたか。「A：認知度」「B：利用の有無」「C：利用時の満足度」について、それぞれ当てはまる選択肢1つに○を付けてください。

	A：認知度	B：利用の有無	C：利用時の満足度
1. 民生委員・児童委員	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない
2. 地域福祉 コーディネーター	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない
3. 保健福祉センター (あいぽっく)	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない
4. 地域包括支援 センター	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない
5. 社会福祉協議会	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない
6. 子ども家庭支援 センター	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない
7. 消費生活センター	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用した 2. 利用していない	1. 満足した 2. 不満が残った -- 3. どちらでもない

上記の窓口を利用して不満が残った方は、何故不満が残ったのかを差し支えない範囲で←
下記にご記入下さい

問 25：福祉に関する相談をしようとするとき、困ったこと、困りそうなことは何ですか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 身近に相談できる人がいない | 2. 誰かに相談することに抵抗を感じる |
| 3. 相談窓口が分からない | 4. 相談にかかる費用が心配 |
| 5. 相談後取るべき対応にかかる費用が心配 | 6. 忙しくて対応する時間が取れない |
| 7. その他（具体的に： | ） |
| 8. 特に無い | |

■ご近所の方の困り事についてお聞きします■

ここでお聞きする「ご近所の方の困り事」とは、孤立や虐待（子ども、高齢者、障害者等）、失業や不安定な雇用等により生活に困窮している等の状態を指しています。

問 26：あなたは今までに、ご近所の方が困っている事に気づかれたことはありますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。

1. ある

2. ない

――→ 問 28 にお進み下さい

↓

問 27：問 26 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。ご近所の方が困っていることをどのようにして知りましたか。当てはまる選択肢全てに○を付けてください。

1. 当事者やその関係者から相談されたから
2. 当事者やその関係者との立ち話等で困っていることがうかがえたから
3. 当事者やその関係者の日常生活や行動等に変化があったことが、部外者でも明らかに分かったから
4. その他（具体的に： _____）

問 28：ご近所の方が困り事を抱えていることがわかった場合、あなたはどうしますか。当てはまる選択肢 3 つ以内に○を付けてください。

1. 自分や家族が個人的に手伝いをする
2. 近隣の人に相談する
3. 自治会・町内会の役員に相談する
4. 民生委員・児童委員に相談する
5. 社会福祉協議会に相談する
6. 市役所に相談する
7. 交番・警察に相談する
8. その他（具体的に： _____）
9. 何もしない

問 29：ご近所の方からお手伝いをお願いされた場合、あなたが手伝えると思う範囲について当てはまるものは何ですか。当てはまる選択肢 3 つ以内に○を付けてください。

1. 日常品の買出し
2. 家事の手伝い
3. ちょっとした話し相手
4. 病院への付き添いや薬の受け取り
5. 病気の時の世話
6. 子どもの世話
7. 介護が必要な高齢者の世話
8. 障害者の世話
9. 介助が必要な人の外出時の付き添い
10. 悩みや不安の相談
11. 見守り・声掛け・安否確認
12. その他（具体的に： _____）
13. 手伝わない

問 30：ご近所の方からお手伝いをお願いされた場合、あなたが手伝えると思う頻度について当てはまるものは何ですか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。

1. 週 6－7 日
2. 週 4－5 日
3. 週 3－4 日
4. 週 2－3 日
5. 週 1－2 日
6. 1 ヶ月に 1－4 回
7. ほとんど手伝えない
8. その他（具体的に： _____）

■災害が起こったときのことについてお聞きします■

問 31 : あなたは、災害が発生した時に一人で避難できますか。当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。

1. 一人で避難できる
2. 一人で避難できない。但し、家族や近所の人支援してくれる予定だ
3. 一人で避難できない。また、周りに助けてくれる家族や近所の人はいない
4. その他（具体的に： _____）

問 32 : 災害が発生した時に、ご近所にお住まいで地域の介助や手助け等の支援を必要とする方のためにあなたがしてあげられることはありますか。当てはまる選択肢 全 てに○を付けてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 安否確認・声掛け | 2. 安全な場所への避難誘導 |
| 3. 要援護者への家族への連絡 | 4. 一時的な保護 |
| 5. 相談・話し相手 | 6. 応急手当 |
| 7. その他（具体的に： _____） | |
| 8. 協力することは難しい、できない | |

問 33 : 災害時に支援を必要とする人への支援策として、地域でどのような備えをしておくことが必要だと思いますか。当てはまる選択肢 全 てに○を付けてください。

1. 災害時に支援を必要とする人の把握
2. 災害時に支援を必要とする人を台帳にして把握（災害時要援護者台帳）
3. 災害時要援護者の支援団体づくり
4. 防災訓練・避難訓練
5. 防災マップの整備
6. 自主防災組織の立ち上げ
7. 災害時に活躍できるボランティアの養成
8. 高齢者や乳幼児などの要援護者向けの物資
9. その他（具体的に： _____）

問 34 : 地域福祉に関してご意見等がありましたら、下記にご記入ください。

次ページに続きます。

5. 市の福祉に関する取組についてお聞きします

問 35 : 市が取り組んでいる下記の 1～15 の施策の「A : 認知度」「B : 関心度」について、それぞれ当てはまる選択肢 1 つに○を付けてください。

	分野	項目	主な事業内容	A : 認知度	B : 関心度
1	健康・医療	健康づくりの推進	・リフレッシュ運動教室 ・いきいき元気教室 ・健康相談	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
2		保健・予防対策の推進	・がん検診 ・予防接種 ・母子健康診査	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
3		医療体制の整備	・献血運動 ・かかりつけ医(歯科医、薬局)づくり	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
4	児童福祉	子育て家庭への支援	・保育園や保育サービス ・学童クラブ ・幼稚園における預かり保育	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
5		児童の健全育成	・放課後子ども教室 ・公園や児童遊園の維持管理	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
6		ひとり親家庭への自立支援	・ひとり親家庭ホームヘルプサービス ・ひとり親家庭等医療費助成	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
7	高齢者福祉	介護保険事業	・地域包括支援センターにおける各種事業の運営 ・在宅サービスの提供	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
8		社会参加への支援	・アクティブシルバー体操教室 ・生涯学習講座	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
9		尊厳ある暮らしへの支援	・シルバー人材センター ・高齢者の虐待防止に関する各種取組	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
10		高齢者福祉サービスの充実	・訪問介護、訪問看護 ・デイケア、デイサービス	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
11	障害者福祉	保健医療の充実	・医療費助成制度	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
12		社会的自立への支援	・公共施設等におけるバリアフリーの推進 ・地域生活支援事業	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
13		自立に向けた基盤の整備	・各種給付(自立訓練、就労移行支援、就労継続、共同生活援助)	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない
14	生活の支援・保護		・生活保護 ・生活困窮者自立支援事業(相談支援、住居確保給付金)	1. 知っている 2. 多少知っている 3. 知らない	1. 関心がある 2. 関心はない 3. どちらでもない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

「昭島市地域福祉計画」策定に向けた
地域福祉に関するアンケート
報告書

平成３０年３月 発行

発行：昭島市保健福祉部生活福祉課
東京都昭島市田中町１－１７－１

調査協力：株式会社 地域総合計画研究所
東京都港区南青山５－１－２５北村ビル
電話０３－３４００－４９５２